
平成 29 年度
裾野市市民意識調査報告書



裾野市

■目次

■調査概要	1
1) 調査目的	1
2) 調査方法	1
3) 回収状況	1
■調査結果	3
回答者の属性	3
① 性別	3
② 年齢	3
③ 結婚の有無	3
④ 子どもの段階（一番下の子どもの年齢）	4
⑤ 世帯状況	4
⑥ 居住地区	5
⑦ 居住歴	5
裾野市の市政全般について	6
(1) 裾野市の政策全体について	6
(2) 裾野市が行っている取り組みや生活環境に対する満足度・重要度について	8
(3) これからも裾野市に住み続けたいか	38
(4) ワークライフバランスについて	40
(5) 自分の健康に対する感覚について	42
(6) スポーツや運動を行う頻度について	44
市役所各フロアの改善効果について	46
(7) 各フロアの改善について ① 1階	46
(7) 各フロアの改善について ② 2階	48
(7) 各フロアの改善について ③ 3階	50
(8) 理想的だと思われるフロア	52
スマートフォン（スマホ）について	54
(9) スマートフォン（スマホ）の利用について	54
(10) 主に使用しているスマートフォン（スマホ）について	55
(11) スマートフォン（スマホ）の主な使用目的について	56

裾野市へのシビックプライド（郷土愛）について	57
(12) 裾野市への愛着や誇りについて	57
(13) 裾野市の愛着や誇りを感じるところについて	58
(14) 裾野市の愛着や誇りを感じる所を市外の人に PR できるか	59
(15) 裾野市に愛着や誇りを感じていない理由について	60
(16) 裾野市に愛着や誇りを持つために、満足度を上げるべき点について	61
(17) 「シビックプライド」という言葉を知っているか	63
(18) 地域活動や N P O 等の活動への参加について	64
(19) 地域活動や N P O 等の活動に参加していない理由について	65
(20) 「まちづくり」に参加したいか	67
(21) どのような形で「まちづくり」に参加したいか	68
市民協働によるまちづくりについて	69
(22) 「協働」という言葉を知っているか	69
(23) 協働によるまちづくりを進める上で重要な主体について	70
(24) 協働して取り組む必要性の高い分野について	72
(25) 協働によるまちづくりのために市民ができることについて	74
(26) 協働によるまちづくりのために区（自治会）ができることについて	76
(27) 協働によるまちづくりのために行政がすべきことについて	78
J R 裾野駅・J R 岩波駅について	80
(28) 裾野駅の利用について	80
(29) 裾野駅のエレベーター設置について	81
(30) 岩波駅の利用について	82
(31) 岩波駅を便利に使うために必要なものについて	83
自殺対策について	85
(32) 自殺したいと考えた経験について	85
(33) 最近 1 年以内に自殺したいと考えた経験について	86
(34) 自殺したいと考えた時の乗り越え方について	87
(35) 身近な人から「死にたい」と打ち明けられた時の対応について	89
(36) 「うつ病のサイン」に気づいたときに利用したい専門の相談窓口について	91
(37) 専門の相談窓口を利用しない理由について	92
設問中のその他の回答	94
自由意見	105
平成 29 年度裾野市市民意識調査 調査票	123

■調査概要

1) 調査目的

裾野市民の市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、その結果を分析して、市政運営や施策立案に反映させ、現状の市の取り組みを検証することを目的とする。

2) 調査方法

- ・調査地域：裾野市全域
- ・調査対象：裾野市内在住の20歳以上の男女
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布、郵送回収又はインターネット回収
- ・調査期間：平成29年7月21日(金)～平成29年8月4日(金)
- ・発送数：1,000人

3) 回収状況

発送数	有効回収数	有効回収率（昨年度調査）
1,000 票	540 票(うちインターネット回収 60 票)	54.0% (44.3%)

※回収数 543 票のうち無効票（白票）3 票（うちインターネット回収 1 票）

◎ 留意事項

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。
- 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、構成比合計が100%にならないことがある。
- 設問には、1つの質問に1つの選択肢を回答できる“単一回答”の設問と、1つの質問に2つ以上の選択肢を回答できる“複数回答可”の設問がある。“複数回答可”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 図表中の構成比「0.0」は四捨五入の結果（構成比が0.05未満）か、回答者が皆無であることを表している。
- 選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。
- サンプル数が少ないものについては、コメントを割愛している。

◎ クロス集計各種について

○設問の内容に応じて、属性別クロス集計結果を掲載している。

○クロス集計で使用する分析軸は、「性別」、「年代別」、「居住地区別」、属性④の回答を反映させた「家族形成期別」、属性⑦の回答を反映させた「定住度別」の全5種類である。各分析軸についての説明は以下の通りである。

性別……………回答者を、男性・女性の2種類に分類し、回答の傾向を比較したもの。

年代別……………回答者を、20代・30代・40代・50代・60代・70代以上の6種類の年代に分類し、回答の傾向を比較したもの。

居住地区別……………回答者を、居住地区に応じて、「東地区」・「西地区」・「富岡地区」・「須山地区」・「深良地区」の5種類に分類し、回答の傾向を比較したもの。また、「富岡地区」に住む回答者は、「富岡地区（企業団地）」・「富岡地区（千福が丘）」・「富岡地区（その他）」にさらに分類し、「富岡地区（全体）」と「富岡地区（企業団地）」・「富岡地区（千福が丘）」に属する回答者の回答を掲載。

家族形成期別……………回答者を、【④子どもの年齢】の回答に応じて、“就学前家族”・“就学中家族”・“就学後家族”の3種類に分類し、回答の傾向を比較したもの。分類は以下の表の通りに行った。

家族形成期	回答
“就学前家族”	「1. 子どもはいない」・「2. 小学校入学前」
“就学中家族”	「3. 小学校」・「4. 中学校」・「5. 高校生」 「6. 専門学校・短大・大学・大学院に在学」
“就学後家族”	「7. 学校教育終了」・「8. その他」

定住度別……………回答者を、【⑦居住歴】の回答に応じて、「生まれてからずっと住んでいる」・「生まれは市内だが、一時、転出したことがある」・「県内の他市町から転入してきた」・「県外から転入してきた」の4種類に分類したもの。

○“複数回答可”の設問にて掲載しているクロス集計の集計表では、

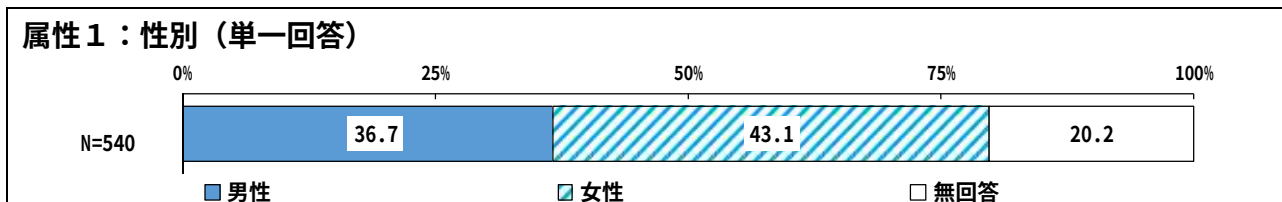
最も多かった回答を **77.7**、2番目に多かった回答を **77.7** のようにマーカーで識別して表示した。

■調査結果

回答者の属性

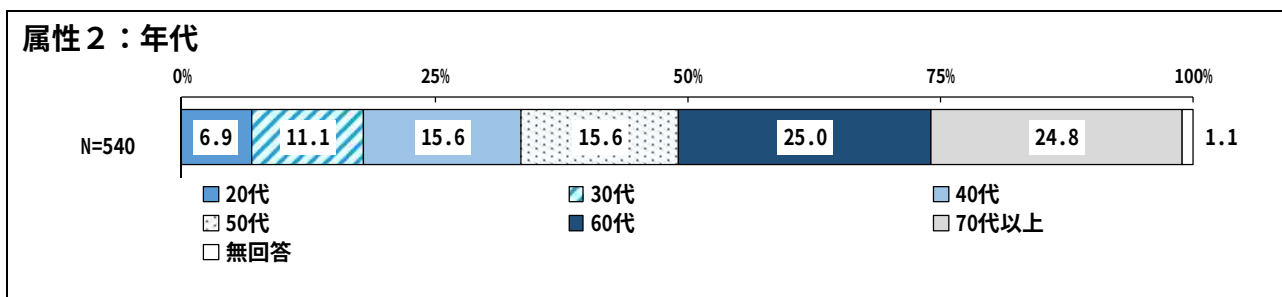
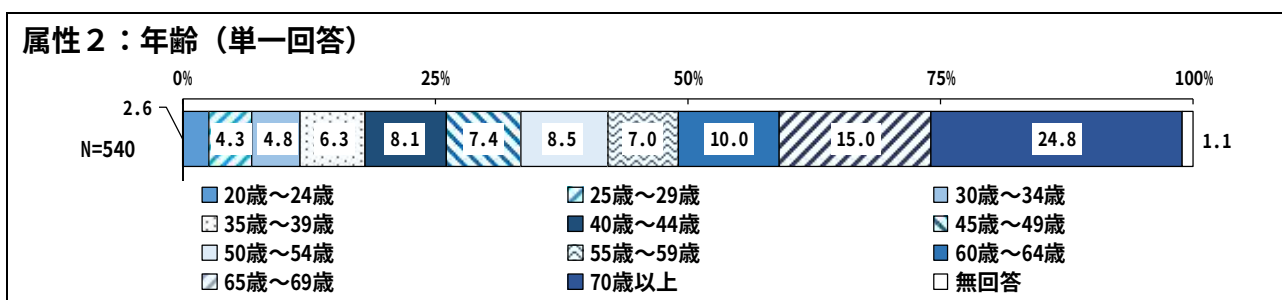
① 性別

男女構成は、「男性」36.7%、「女性」43.1%だった。



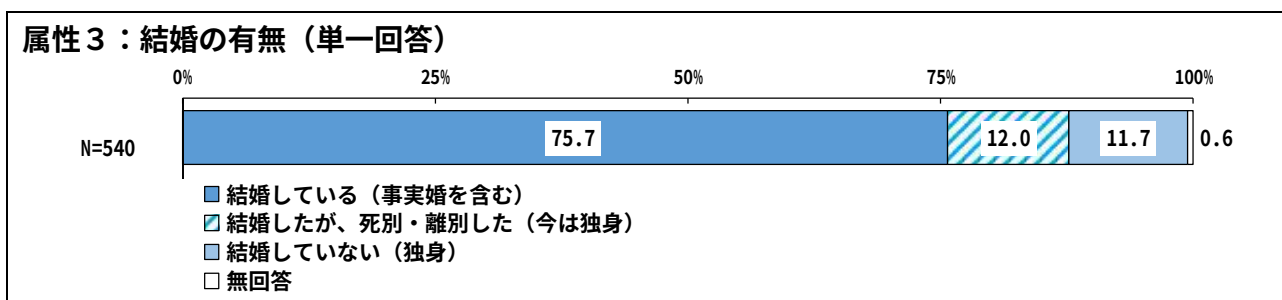
② 年齢

年齢構成は、「70歳以上」が24.8%で最も多く、以下、「65歳～69歳」の15.0%、「60歳～64歳」の10.0%、「50歳～54歳」の8.5%と続いた。年代では“60代”が25.0%で最も多い。



③ 結婚の有無

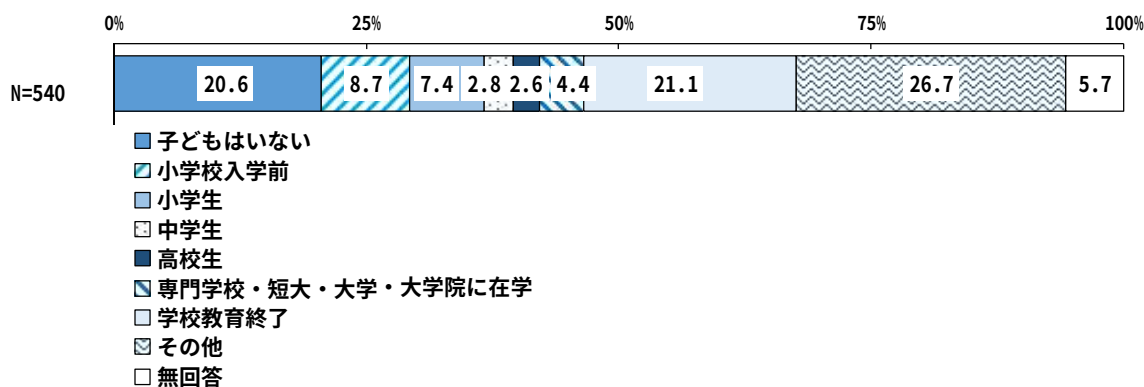
結婚の有無は、「結婚している（事実婚を含む）」が75.7%で最も多く、全体の4分の3を占めた。



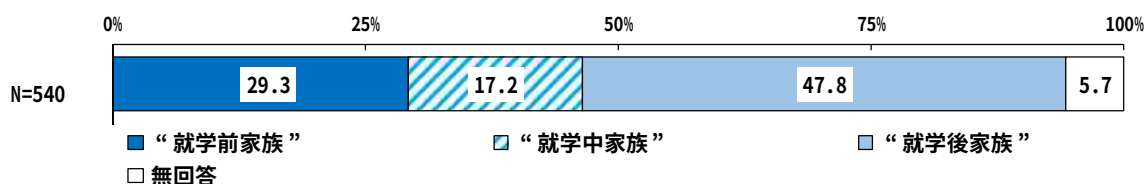
④ 子どもの段階（一番下の子どもの年齢）

子どもの段階・家族形成期は、「学校教育終了」と「その他」を合わせた“就学後家族”47.8%が最も多かった。以下、“就学前家族”29.3%、“就学中家族”17.2%と続いた。

属性4：子どもの段階（一番下の子どもの年齢）（単一回答）



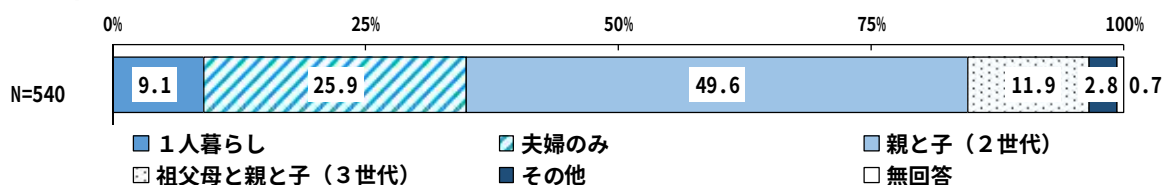
属性4：家族形成期



⑤ 世帯状況

世帯状況は、「親と子（2世代）」49.6%が最も多く、以下、「夫婦のみ」25.9%が多かった。

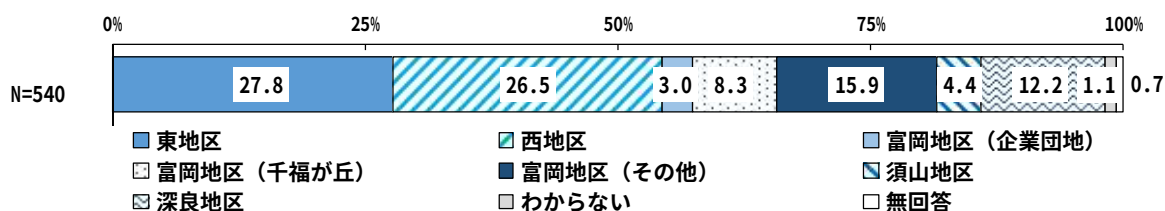
属性5：世帯状況（単一回答）



⑥ 居住地区

回答者の居住地区は、「東地区」27.8%、「西地区」26.5%、「富岡地区（その他）」15.9%、「深良地区」12.2%、「富岡地区（千福が丘）」8.3%、「須山地区」4.4%、「富岡地区（企業団地）」3.0%だった。

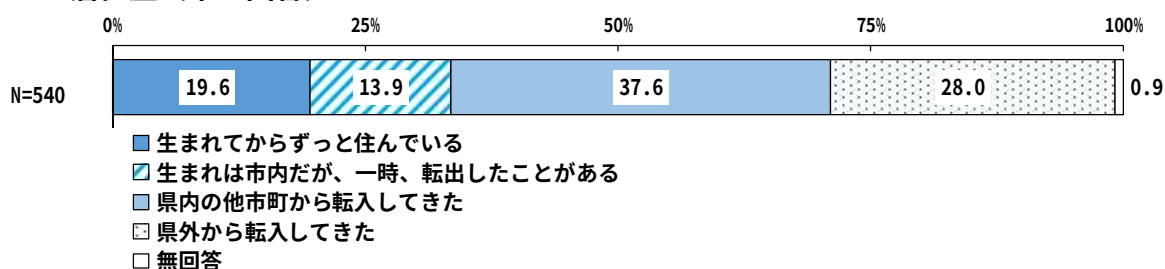
属性6：居住地区（単一回答）



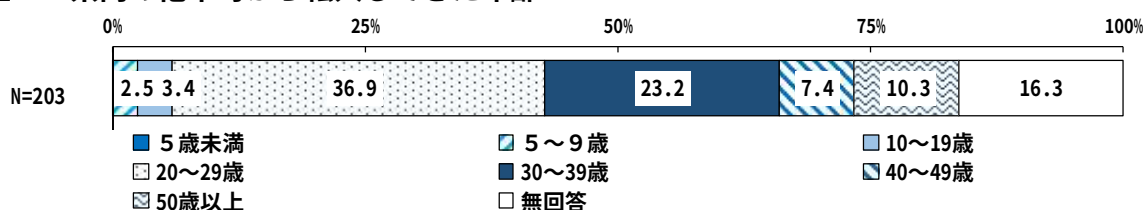
⑦ 居住歴

回答者の居住歴は、「県内の他市町から転入してきた」37.6%が最も多く、次いで「県外から転入してきた」28.0%が多かった。“転入してきた”と回答した方が転入してきた年齢の割合は以下の図の通りである。

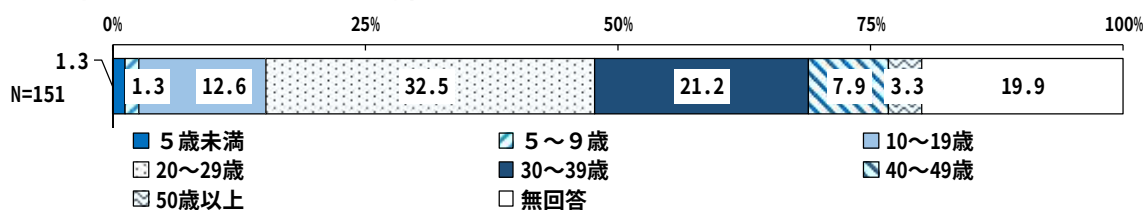
属性7：居住歴（単一回答）



属性7：県内の他市町から転入してきた年齢



属性7：県外から転入してきた年齢



裾野市の市政全般について

(1) 裾野市の政策全体について

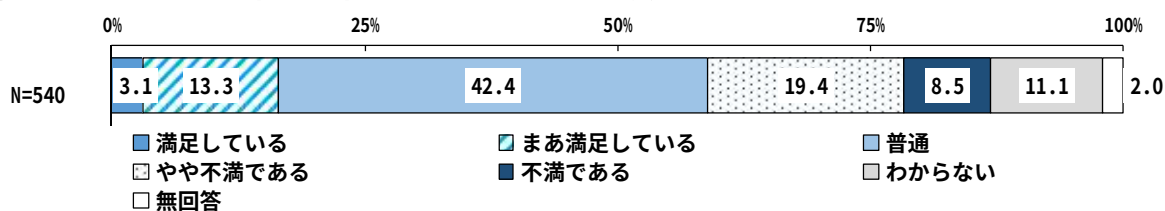
「普通」が42.4%と最も多かった。「満足している」3.1%と「まあ満足している」13.3%を合計した“満足”は16.4%、「やや不満である」19.4%と「不満である」8.5%を合計した“不満”は27.9%だった。

平成28年度と比較して、“満足”は13.6ポイント減少し、“不満”は8.7ポイント増加した。

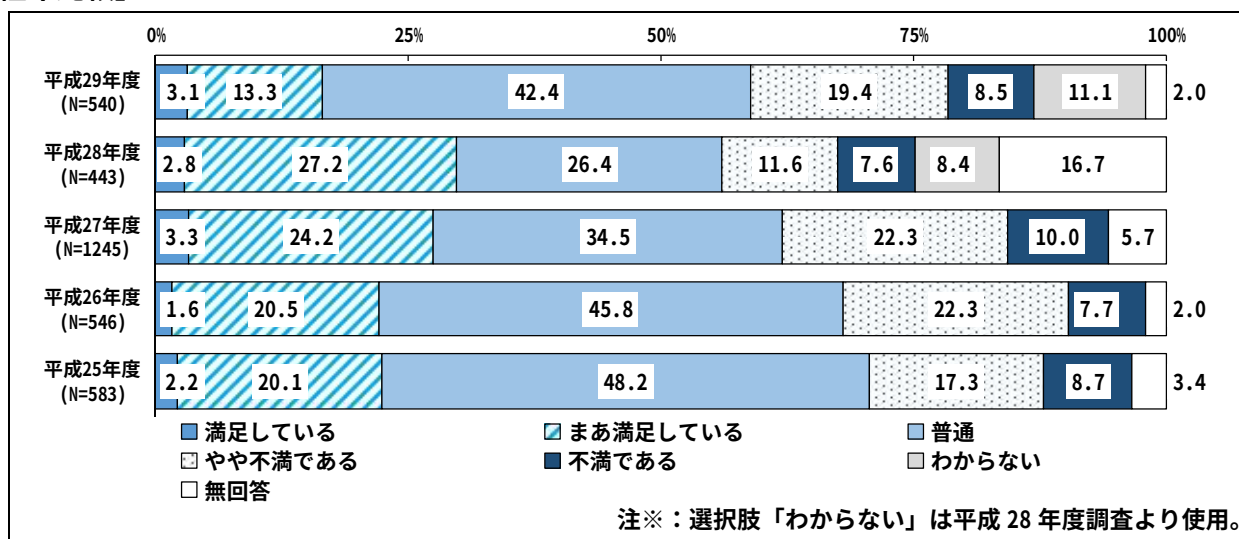
年代別で見ると、“満足”が最も多いのは30代だった。60代は“満足”が最も少なく、逆に“不満”が最も多かった。

家族形成期別で見ると、“就学前家族”から“就学後家族”にかけて、“満足”が少なくなっている。

問1：あなたは裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。(単一回答)

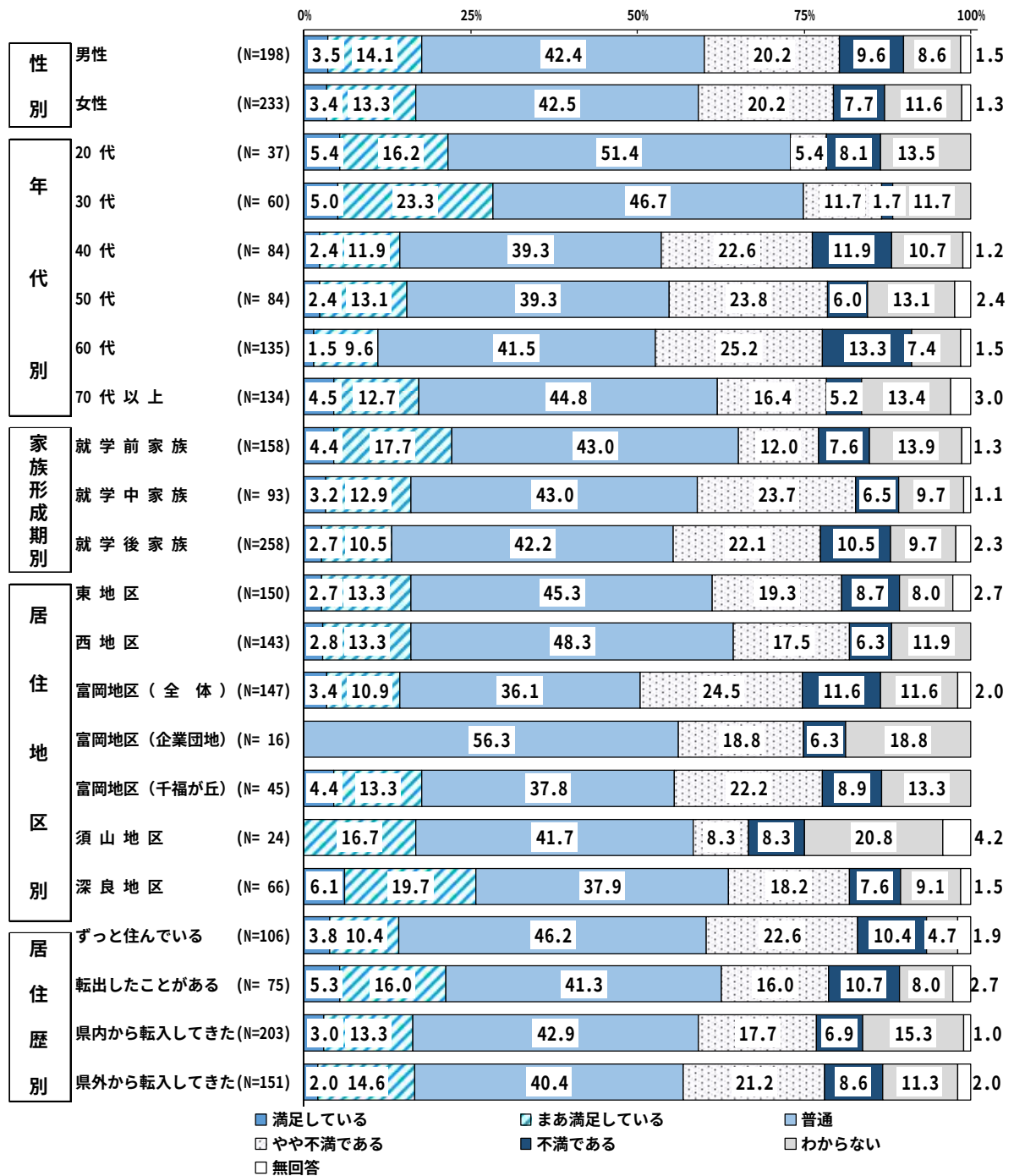


【経年比較】



【クロス集計】

問1：あなたは裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。（単一回答）



※「居住歴別」の各項目の正式名称は「生まれてからずっと住んでいる」、「生まれは市内だが、一時、転出したことがある」、「県内の他市町から転入してきた」、「県外から転入してきた」。

(2) 裾野市が行っている取り組みや生活環境に対する満足度・重要度について

問2：あなたは裾野市が行っている取り組みや生活環境についてどのように感じていますか。
あなたの生活における「満足度」と「重要度」それぞれについてお答えください。

裾野市が行っている取り組みや、裾野市の生活環境全 26 項目を、客観的に評価する分析手法として、満足度・重要度に関する回答をそれぞれ得点化し、比較した。

満足度・重要度の各選択肢の得点は下表に示す通りである。なお、無回答は算定外とした。

満足度の各回答の得点

回答	点 数
満足	2 点
まあ満足	1 点
普通	0 点
やや不満	－ 1 点
不満	－ 2 点

重要度の各回答の得点

回答	点 数
とても重要	2 点
重要	1 点
それほどでもない	0 点

上記の通り得点化した回答を、それぞれの選択回答者数による加重平均により、算出した。

◎満足度・重要度の高い項目上位5項目

最も満足度が高かったのは、『5 空気や河川の水のきれいさ』の0.45点だった。以下、『6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ』0.44点、『25 身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ』0.38点、『4 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境』0.33点、『14 市の行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」』0.16点、『21 安心・安全で快適な住環境』0.16点と続いた。

最も重要度が高かったのは、『20 病院、かかりつけ医による医療』1.45点だった。以下、『21 安心・安全で快適な住環境』1.39点、『5 空気や河川の水のきれいさ』1.35点、『6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ』1.33点、『17 幹線道路や生活道路の整備』1.33点と続いた。

問2：満足度・重要度の高い項目上位5項目

満足度			重要度		
順位	項目名	得点	順位	項目名	得点
1	5 空気や河川の水のきれいさ	0.45	1	20 病院、かかりつけ医による医療	1.45
2	6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	0.44	2	21 安心・安全で快適な住環境	1.39
3	25 身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.38	3	5 空気や河川の水のきれいさ	1.35
4	4 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境	0.33	4	6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	1.33
5	14 市の行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.16		17 幹線道路や生活道路の整備	1.33
	21 安心・安全で快適な住環境	0.16			

※26項目中、満足度・重要度の高い項目上位5項目を掲載。

◎満足度・重要度の点数差が大きい項目上位5項目

最も満足度と重要度の点数差が大きかったのは、『2 鉄道やバスの便利さ』の-2.11点で、以下、『19 バス路線や便数』-2.04点、『17 幹線道路や生活道路の整備』-1.66点、『8 市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち』-1.61点、『15 厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化』-1.59点と続いた。道路や公共交通に関する項目が、上位を占める結果となった。

問2：満足度・重要度の点数差が大きい項目上位5項目

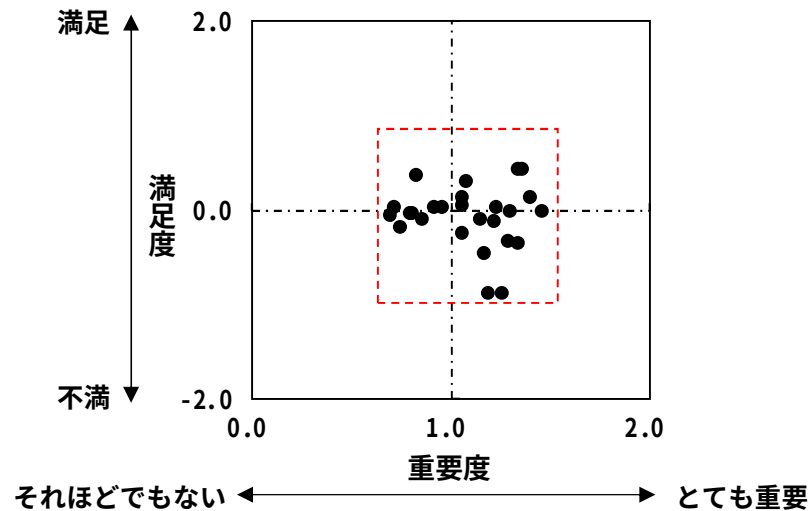
現状の満足度・重要度の点数差が大きい項目				
順位	項目名	満足度	重要度	点数差(※)
1	2 鉄道やバスの便利さ	-0.86	1.25	-2.11
2	19 バス路線や便数	-0.86	1.18	-2.04
3	17 幹線道路や生活道路の整備	-0.33	1.33	-1.66
4	8 市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち	-0.45	1.16	-1.61
5	15 厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化	-0.31	1.28	-1.59

※点数差＝（満足度－重要度）。満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討すべき項目を数値化したもの。

◎散布図

取り組み・生活環境の全 26 項目について、算出した満足度と重要度の得点をもとに、各項目の満足度と重要度の関係を、散布図上に反映させた。

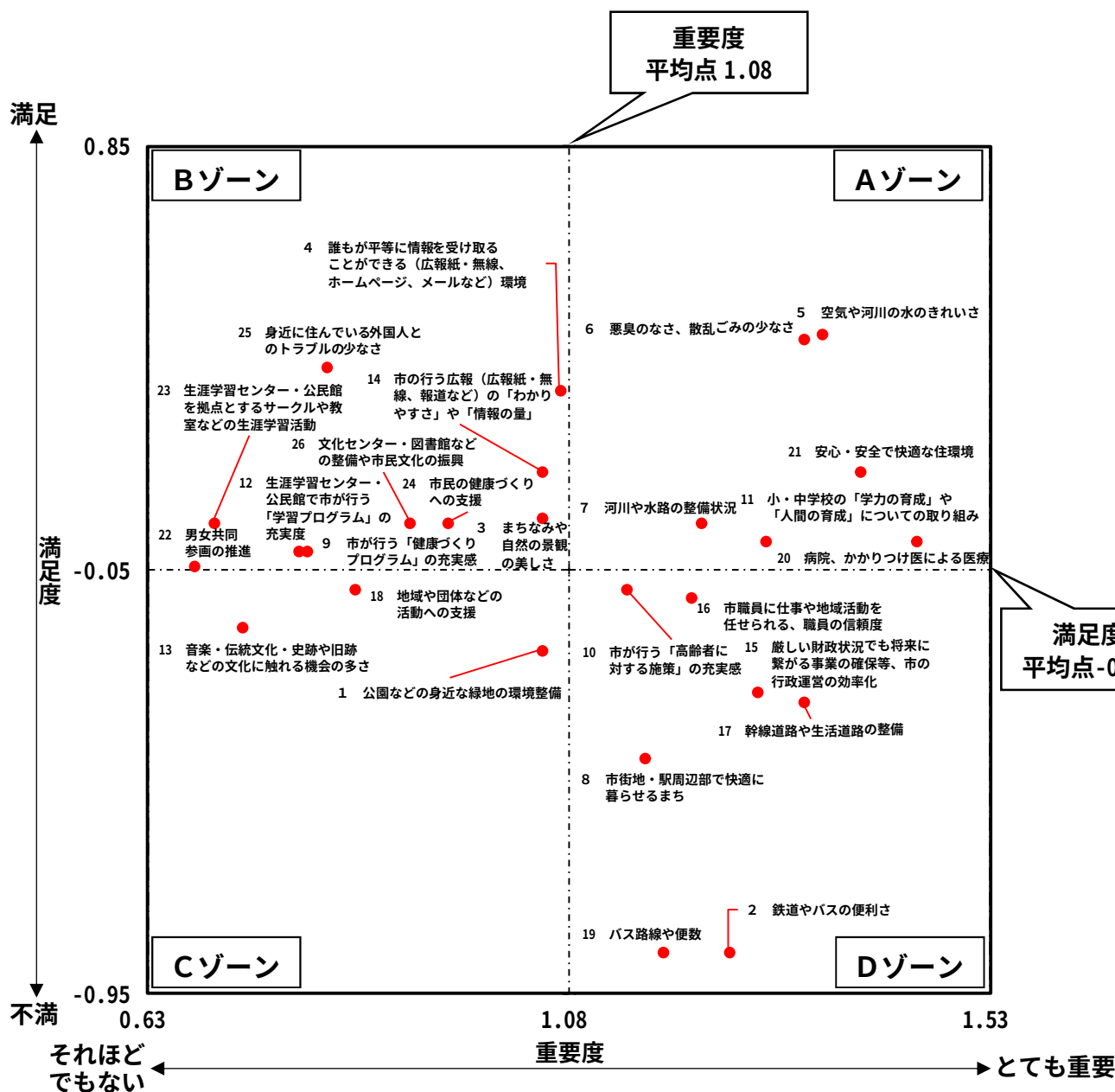
今回の調査の結果、得点全体における各項目の散布図は以下の図のようになった。



そして、この散布図の点線部分を拡大したものが、次ページの図である。

各項目の評価に関する、散布図を4分割した各ゾーンの評価の目安は以下の通りである。

- ・ 散布図右上・Aゾーン…満足度・重要度が共に高い項目。
- ・ 散布図左上・Bゾーン…重要度は高くないが、満足度は高い項目。
- ・ 散布図左下・Cゾーン…重要度は高くなく、満足度が低い項目。
- ・ 散布図右下・Dゾーン…重要度が高いが、満足度が低い項目。



散布図右上・Aゾーンの、満足度も重要度も高い項目は、『5 空気や河川の水のきれいさ』・『6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ』・『21 安心・安全で快適な住環境』などである。一方、散布図右下・Dゾーンの、重要度が高く、満足度が低い項目は、『2 鉄道やバスの便利さ』・『19 バス路線や便数』・『8 市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち』などである。

① Aゾーン…満足度・重要度が共に高い項目

項目名	満足度	重要度
5 空気や河川の水のきれいさ	0.45	1.35
6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	0.44	1.33
21 安心・安全で快適な住環境	0.16	1.39
7 河川や水路の整備状況	0.05	1.22
20 病院、かかりつけ医による医療	0.01	1.45
11 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	0.01	1.29

② Bゾーン…重要度は高くないが、満足度は高い項目

項目名	満足度	重要度
25 身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.38	0.82
4 誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ホームページ、メールなど) 環境	0.33	1.07
14 市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.16	1.05
3 まちなみや自然の景観の美しさ	0.06	1.05
24 市民の健康づくりへの支援	0.05	0.95
26 文化センター・図書館などの整備や市民文化の振興	0.05	0.91
23 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	0.05	0.70
9 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	-0.01	0.80
12 生涯学習センター・公民館で市が行う「学習プログラム」の充実度	-0.01	0.79
22 男女共同参画の推進	-0.04	0.68

③ Cゾーン…重要度は高くなく、満足度が低い項目

項目名	満足度	重要度
1 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.22	1.05
13 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	-0.17	0.73
18 地域や団体などの活動への支援	-0.09	0.85

④ Dゾーン…重要度が高いが、満足度が低い項目

項目名	満足度	重要度
2 鉄道やバスの便利さ	-0.86	1.25
19 バス路線や便数	-0.86	1.18
8 市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち	-0.45	1.16
17 幹線道路や生活道路の整備	-0.33	1.33
15 厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化	-0.31	1.28
16 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度	-0.11	1.21
10 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	-0.09	1.14

◎全 26 項目の満足度・重要度の順位

裾野市の取り組み・生活環境の全 26 項目を満足度・重要度の高い順にそれぞれ並べ替えた結果は以下の通りである。

※得点の高い項目順に、小数点第 2 位までを掲載。

問 2：全 26 項目の満足度・重要度の順位

満足度		順位	重要度	
項目名	得点		得点	項目名
5 空気や河川の水のきれいさ	0.45	1	1.45	20 病院、かかりつけ医による医療
6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	0.44	2	1.39	21 安心・安全で快適な住環境
25 身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.38	3	1.35	5 空気や河川の水のきれいさ
4 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境	0.33	4	1.33	6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ
14 市が行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.16	5	1.33	17 幹線道路や生活道路の整備
21 安心・安全で快適な住環境	0.16	6	1.29	11 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み
3 まちなみや自然の景観の美しさ	0.06	7	1.28	15 厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化
7 河川や水路の整備状況	0.05	8	1.25	2 鉄道やバスの便利さ
23 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	0.05	9	1.22	7 河川や水路の整備状況
24 市民の健康づくりへの支援	0.05	10	1.21	16 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度
26 文化センター・図書館などの整備や市民文化の振興	0.05	11	1.18	19 バス路線や便数
11 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	0.01	12	1.16	8 市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち
20 病院、かかりつけ医による医療	0.01	13	1.14	10 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感
9 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	-0.01	14	1.07	4 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境
12 生涯学習センター・公民館で市が行う「学習プログラム」の充実度	-0.01	15	1.05	1 公園などの身近な緑地の環境整備
22 男女共同参画の推進	-0.04	16	1.05	3 まちなみや自然の景観の美しさ
10 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	-0.09	17	1.05	14 市が行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」
18 地域や団体などの活動への支援	-0.09	18	0.95	24 市民の健康づくりへの支援
16 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度	-0.11	19	0.91	26 文化センター・図書館などの整備や市民文化の振興
13 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	-0.17	20	0.85	18 地域や団体などの活動への支援
1 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.22	21	0.82	25 身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ
15 厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化	-0.31	22	0.80	9 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感
17 幹線道路や生活道路の整備	-0.33	23	0.79	12 生涯学習センター・公民館で市が行う「学習プログラム」の充実度
8 市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち	-0.45	24	0.73	13 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ
2 鉄道やバスの便利さ	-0.86	25	0.70	23 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動
19 バス路線や便数	-0.86	26	0.68	22 男女共同参画の推進

◎全 26 項目の満足度・重要度の点数差の順位

裾野市の取り組み・生活環境の全 26 項目を満足度と重要度の点数差が大きい順にそれぞれ並べ替えた表は以下の通りである。

※点数差の大きい項目順に、小数点第 2 位までを掲載。

問 2：全 26 項目の満足度と重要度の点数差の順位				
現状の満足度と、重要度の点数差が大きい項目				
順位	項目名	満足度	重要度	点数差
1	2 鉄道やバスの便利さ	-0.86	1.25	-2.11
2	19 バス路線や便数	-0.86	1.18	-2.04
3	17 幹線道路や生活道路の整備	-0.33	1.33	-1.66
4	8 市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち	-0.45	1.16	-1.61
5	15 厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化	-0.31	1.28	-1.59
6	20 病院、かかりつけ医による医療	0.01	1.45	-1.44
7	16 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度	-0.11	1.21	-1.32
8	11 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	0.01	1.29	-1.28
9	1 公園などの身近な緑地の環境整備	-0.22	1.05	-1.27
10	10 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	-0.09	1.14	-1.23
11	21 安心・安全で快適な住環境	0.16	1.39	-1.23
12	7 河川や水路の整備状況	0.05	1.22	-1.17
13	3 まちなみや自然の景観の美しさ	0.06	1.05	-0.99
14	18 地域や団体などの活動への支援	-0.09	0.85	-0.94
15	13 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	-0.17	0.73	-0.90
16	24 市民の健康づくりへの支援	0.05	0.95	-0.90
17	5 空気や河川の水のきれいさ	0.45	1.35	-0.90
18	14 市の行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.16	1.05	-0.89
19	6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	0.44	1.33	-0.89
20	26 文化センター・図書館などの整備や市民文化の振興	0.05	0.91	-0.86
21	9 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	-0.01	0.80	-0.81
22	12 生涯学習センター・公民館で市が行う「学習プログラム」の充実度	-0.01	0.79	-0.80
23	4 誰もが平等に情報を受け取ることができる（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）環境	0.33	1.07	-0.74
24	22 男女共同参画の推進	-0.04	0.68	-0.72
25	23 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	0.05	0.70	-0.65
26	25 身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.38	0.82	-0.44

◎満足度の経年比較（参考）

今回調査を行った全 26 項目の、経年比較を行った。

この経年比較は、今回の調査結果と、平成 26～28 年度に行った調査結果を比較することで、各取り組み・生活環境に対する市民の意識の変化を把握することを目的としたものである。

※留意事項

- この比較は、各項目の回答の割合を比較したものである。なお、No. 8・No.17～20・No.23・No.24・No.26 は、比較対象となる設問が、『満足している場合は○をつけなさい』というものであった。
- 調査項目は年度によって異なる為、各項目の比較対象は、平成 26～28 年度のうち、最も新しい調査結果である。
- 調査項目の項目名のうち、年度によって項目名に差異のあるものは、本年度の項目名の下部に、比較対象となる年度当時の項目名を括弧書きで表示している。
- 各設問の、最も多かった回答をマーカーで識別している。

集計表は次ページに掲載。

問 2：満足度の経年比較（参考）

単位：％

No.	項目名	年度	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
1	公園などの身近な緑地の環境整備	今回	1.9	16.3	46.1	24.8	8.1	2.8
		27年度	3.3	20.6	47.6	16.2	4.7	7.6
2	鉄道やバスの便利さ	今回	2.8	4.6	25.6	36.5	29.3	1.3
		27年度	1.2	8.5	30.4	31.9	20.1	7.9
3	まちなみや自然の景観の美しさ	今回	5.4	22.4	47.6	16.7	5.2	2.8
		27年度	1.8	14.3	53.3	15.6	5.1	10.0
4	誰もが平等に情報を受け取ることができる (広報紙・無線、ホームページ、メールなど) 環境	今回	7.0	27.0	56.5	6.1	1.5	1.9
		27年度	5.6	24.3	50.6	9.6	1.6	8.2
5	空気や河川の水のきれいさ	今回	12.2	33.0	41.9	8.5	2.2	2.2
		27年度	4.7	25.5	45.5	13.2	3.1	8.0
6	悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	今回	8.3	38.3	42.0	9.1	1.1	1.1
		27年度	8.1	33.2	39.4	10.5	2.8	5.9
7	河川や水路の整備状況	今回	3.9	20.9	53.3	14.8	4.4	2.6
		27年度	3.3	20.6	47.6	16.2	4.7	7.6
8	市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち (市街地の整備・駅周辺の整備)	今回	2.6	8.3	44.6	28.0	14.8	1.7
		27年度	7.55※					
9	市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	今回	2.0	10.6	73.0	9.3	3.0	2.2
		27年度	3.1	13.3	63.1	7.6	3.1	10.0
10	市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	今回	1.7	12.2	63.7	15.7	4.4	2.2
		27年度	3.6	14.6	58.8	11.2	3.0	8.8
11	小・中学校の「学力の育成」や 「人間の育成」についての取り組み	今回	2.4	9.6	71.1	8.3	2.8	5.7
		27年度	2.8	16.8	53.4	9.3	2.4	15.3
12	生涯学習センター・公民館で 市が行う「学習プログラム」の充実度 (市の行う「生涯学習プログラム」の充実度)	今回	1.1	10.7	72.0	10.2	1.7	4.3
		27年度	3.1	13.6	60.2	9.4	1.7	12.0
13	音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に 触れる機会の多さ	今回	1.5	6.5	64.3	20.6	2.8	4.4
		27年度	3.0	14.0	53.0	16.5	3.0	10.5

今回：N＝540、H27年度：N＝1245

※平成 27 年度調査の「市街地の整備」の回答率 8.0％と、「駅周辺の整備」の回答率 7.1％の中間にあたる数字 7.55％を比較対象に使用。

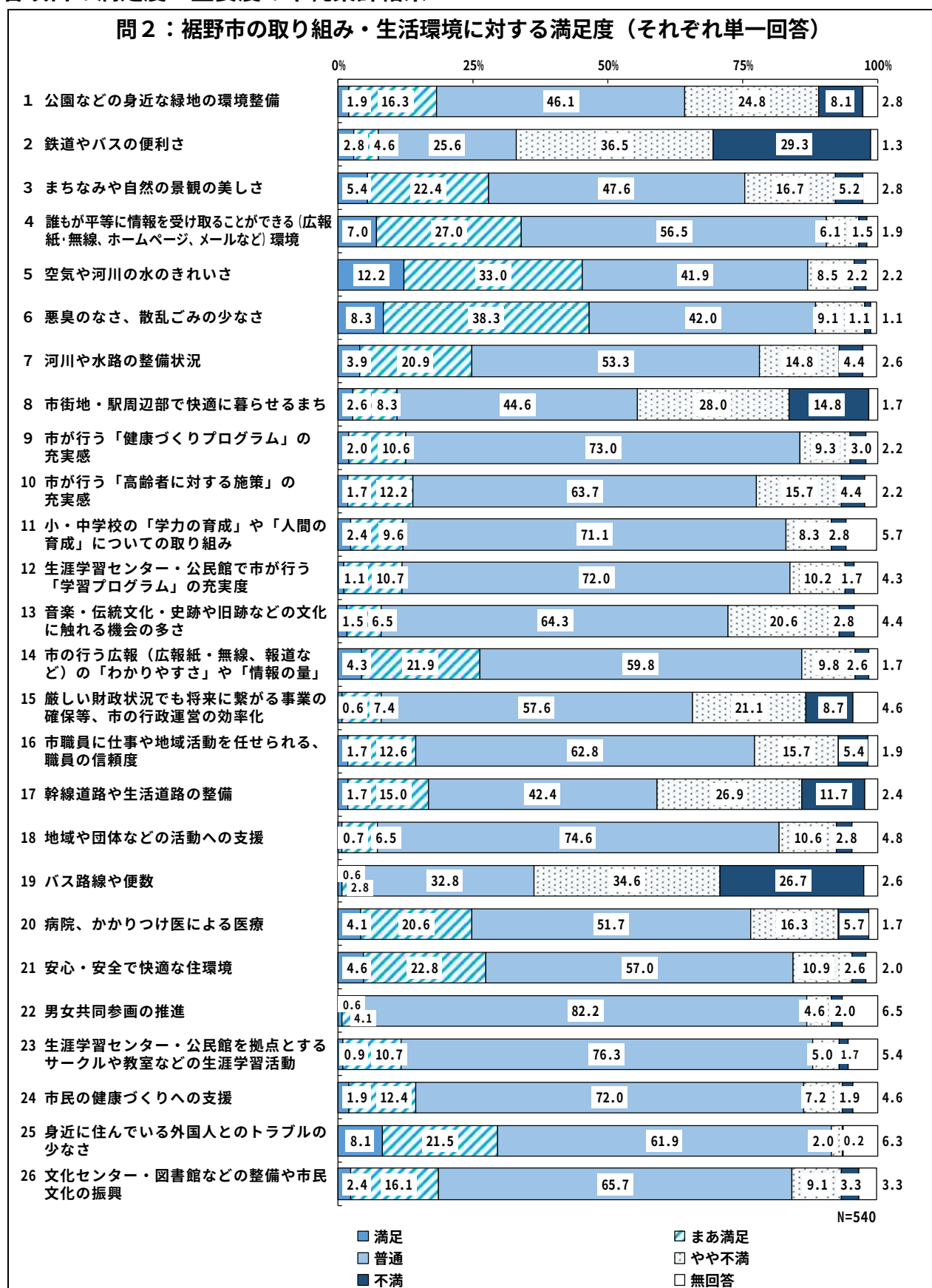
問 2：満足度の経年比較（参考）

単位：％

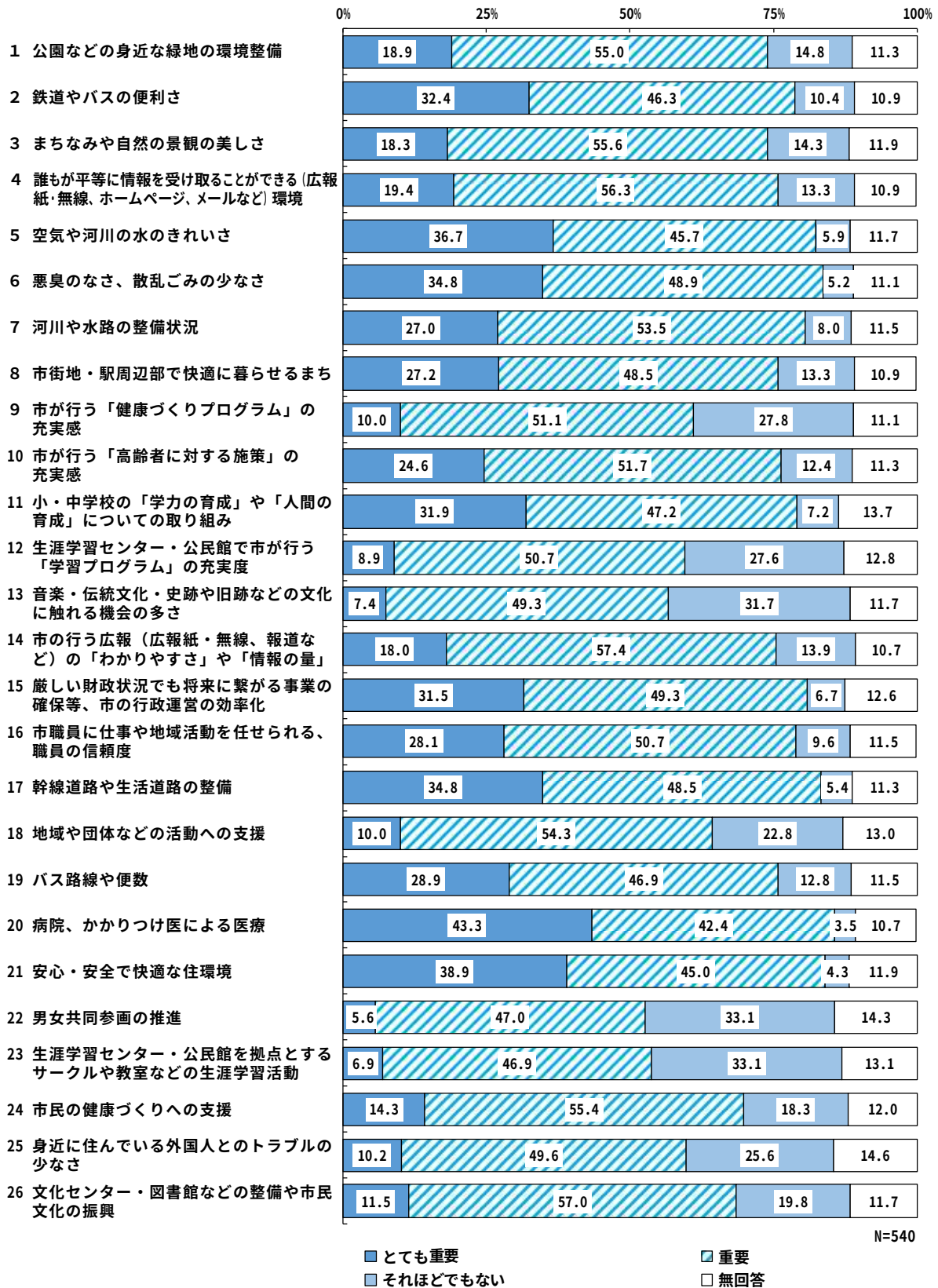
No.	項目名	年度	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
14	市が行う広報（広報紙・無線、報道など）の「わかりやすさ」や「情報の量」	今回	4.3	21.9	59.8	9.8	2.6	1.7
		27年度	5.3	22.3	53.0	10.1	2.8	6.4
15	厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化（市の効率的な行政運営）	今回	0.6	7.4	57.6	21.1	8.7	4.6
		27年度	0.7	8.0	57.3	16.9	5.2	11.9
16	市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度（各種手続きなど行政サービスに対応する市職員の対応・信頼度）	今回	1.7	12.6	62.8	15.7	5.4	1.9
		27年度	5.4	19.6	48.0	14.0	6.5	6.5
17	幹線道路や生活道路の整備	今回	1.7	15.0	42.4	26.9	11.7	2.4
		28年度	7.7					
18	地域や団体などの活動への支援	今回	0.7	6.5	74.6	10.6	2.8	4.8
		28年度	7.4					
19	バス路線や便数	今回	0.6	2.8	32.8	34.6	26.7	2.6
		28年度	5.2					
20	病院、かかりつけ医による医療	今回	4.1	20.6	51.7	16.3	5.7	1.7
		28年度	26.6					
21	安心・安全で快適な住環境	今回	4.6	22.8	57.0	10.9	2.6	2.0
		27年度	1.6	12.3	56.5	14.9	3.5	11.1
22	男女共同参画の推進（男女が共に活躍できる社会の実現）	今回	0.6	4.1	82.2	4.6	2.0	6.5
		27年度	1.9	10.0	60.2	9.4	1.7	16.8
23	生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	今回	0.9	10.7	76.3	5.0	1.7	5.4
		28年度	16.0					
24	市民の健康づくりへの支援	今回	1.9	12.4	72.0	7.2	1.9	4.6
		28年度	27.3					
25	身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ	今回	8.1	21.5	61.9	2.0	0.2	6.3
		26年度	13.2	23.8	58.2	0.9	0.2	3.7
26	文化センター・図書館などの整備や市民文化の振興	今回	2.4	16.1	65.7	9.1	3.3	3.3
		28年度	17.4					

今回：N＝540、H28年度：N＝443、H27年度：N＝1245

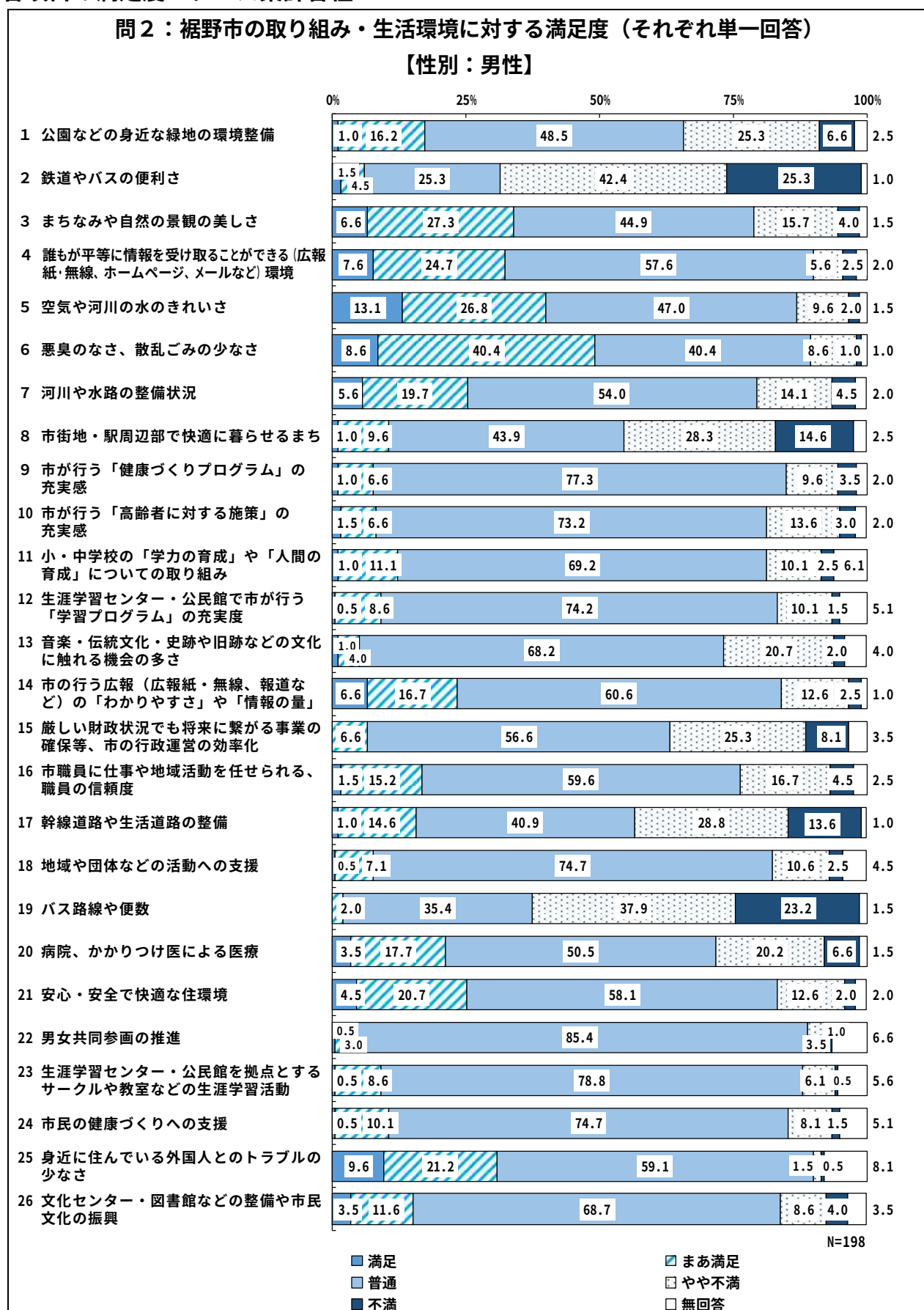
◎各項目の満足度・重要度の単純集計結果



問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する重要度（それぞれ単一回答）

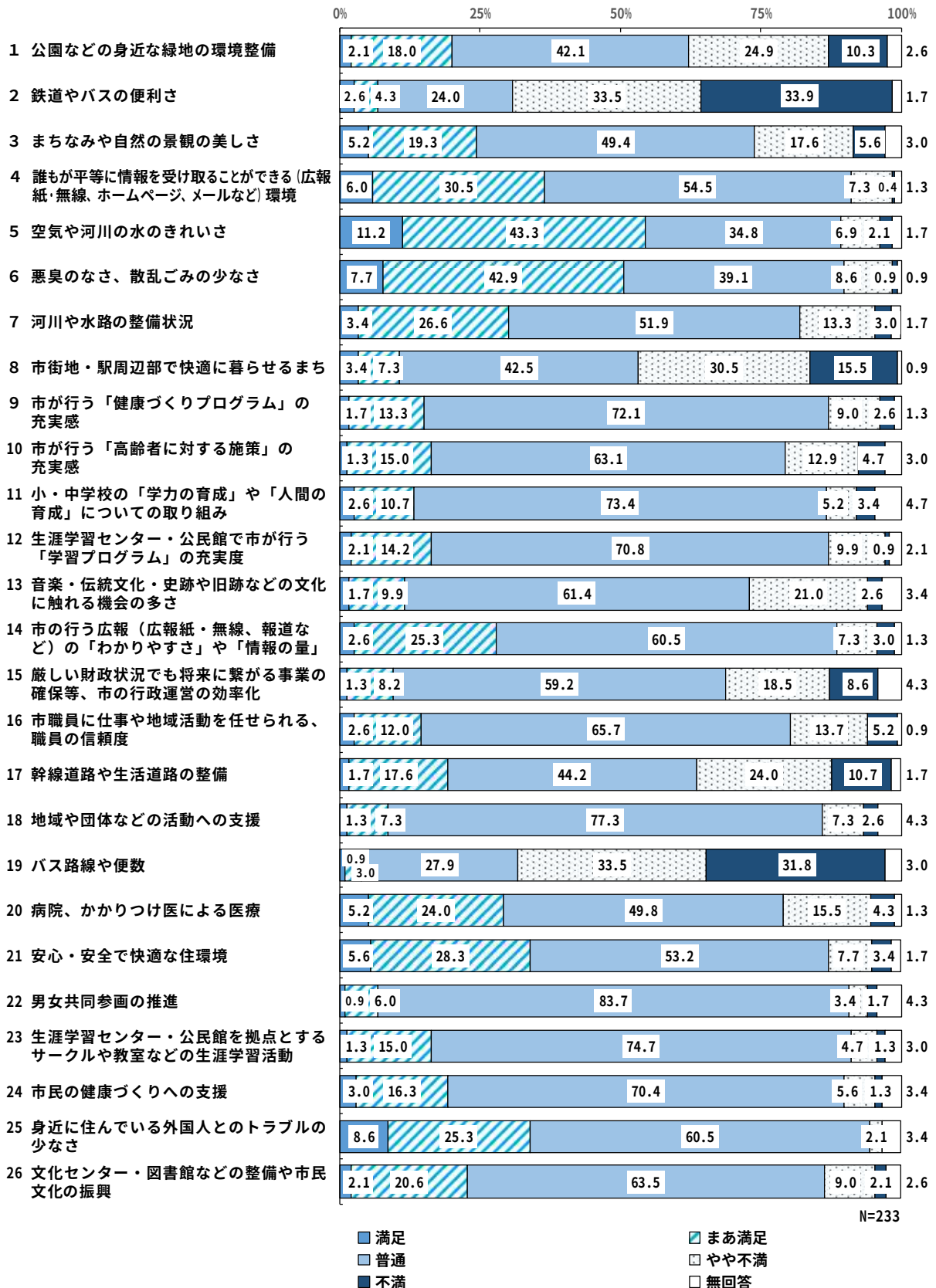


◎各項目の満足度・クロス集計各種



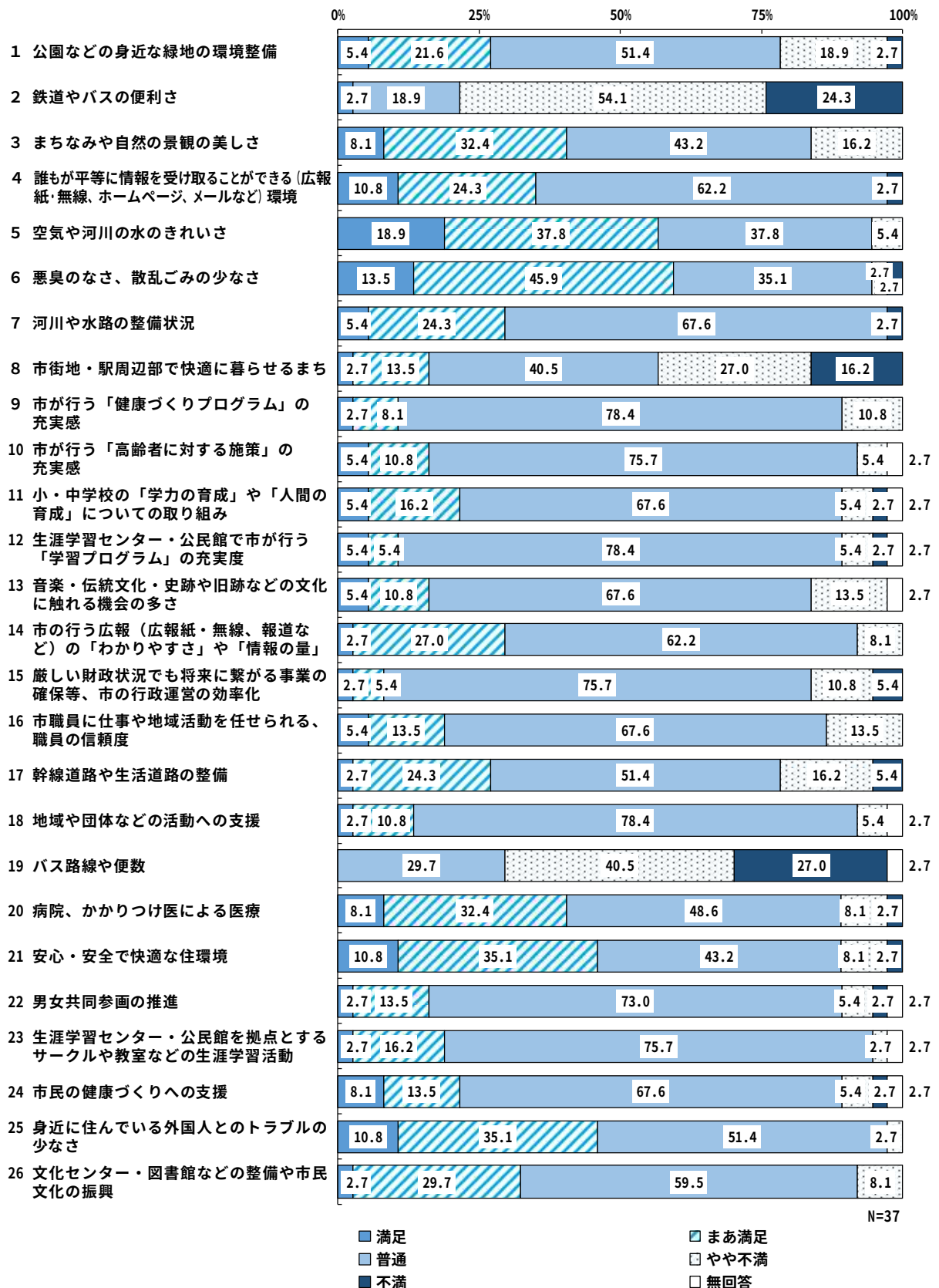
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【性別：女性】



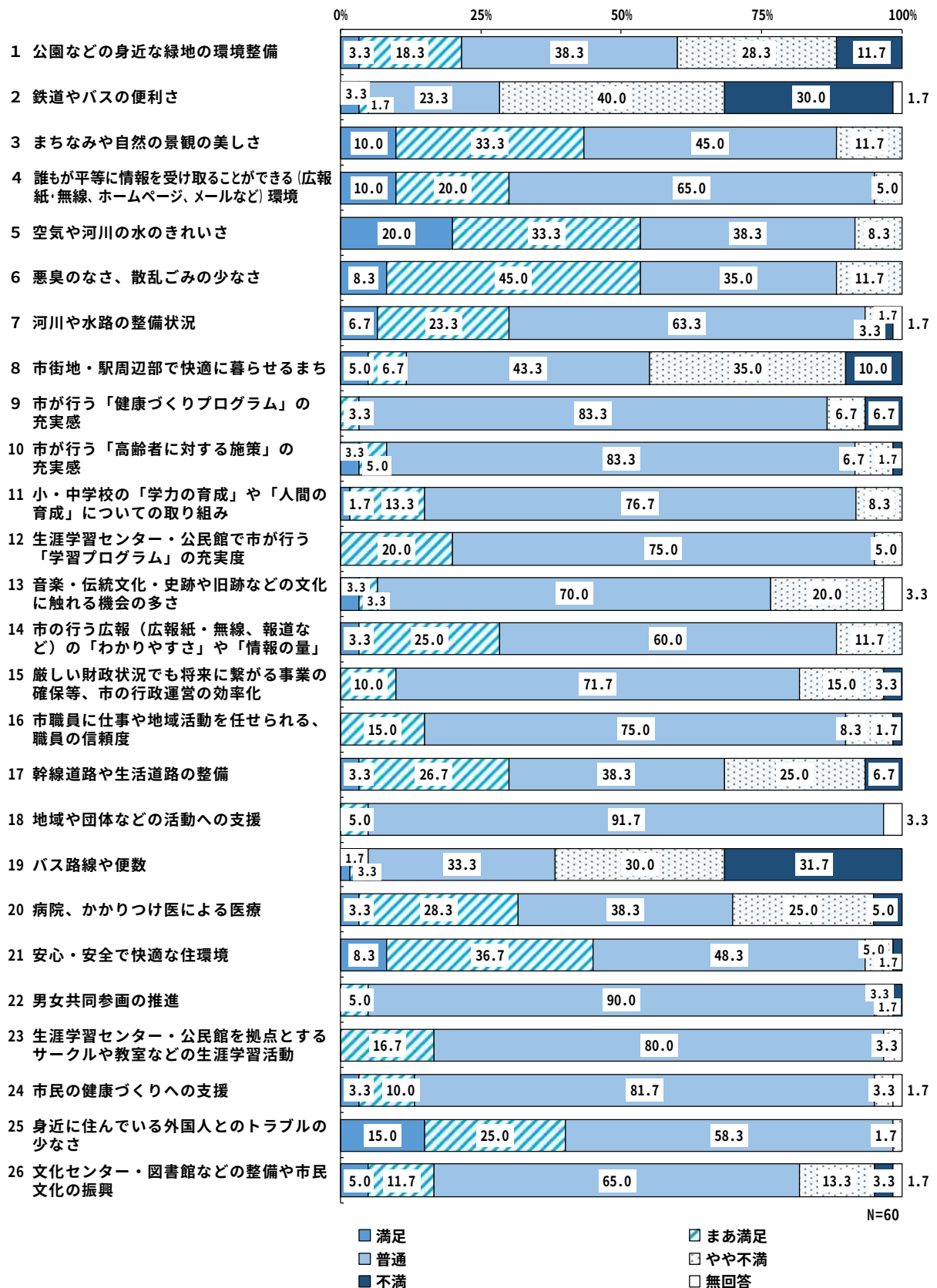
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【年代別：20代】



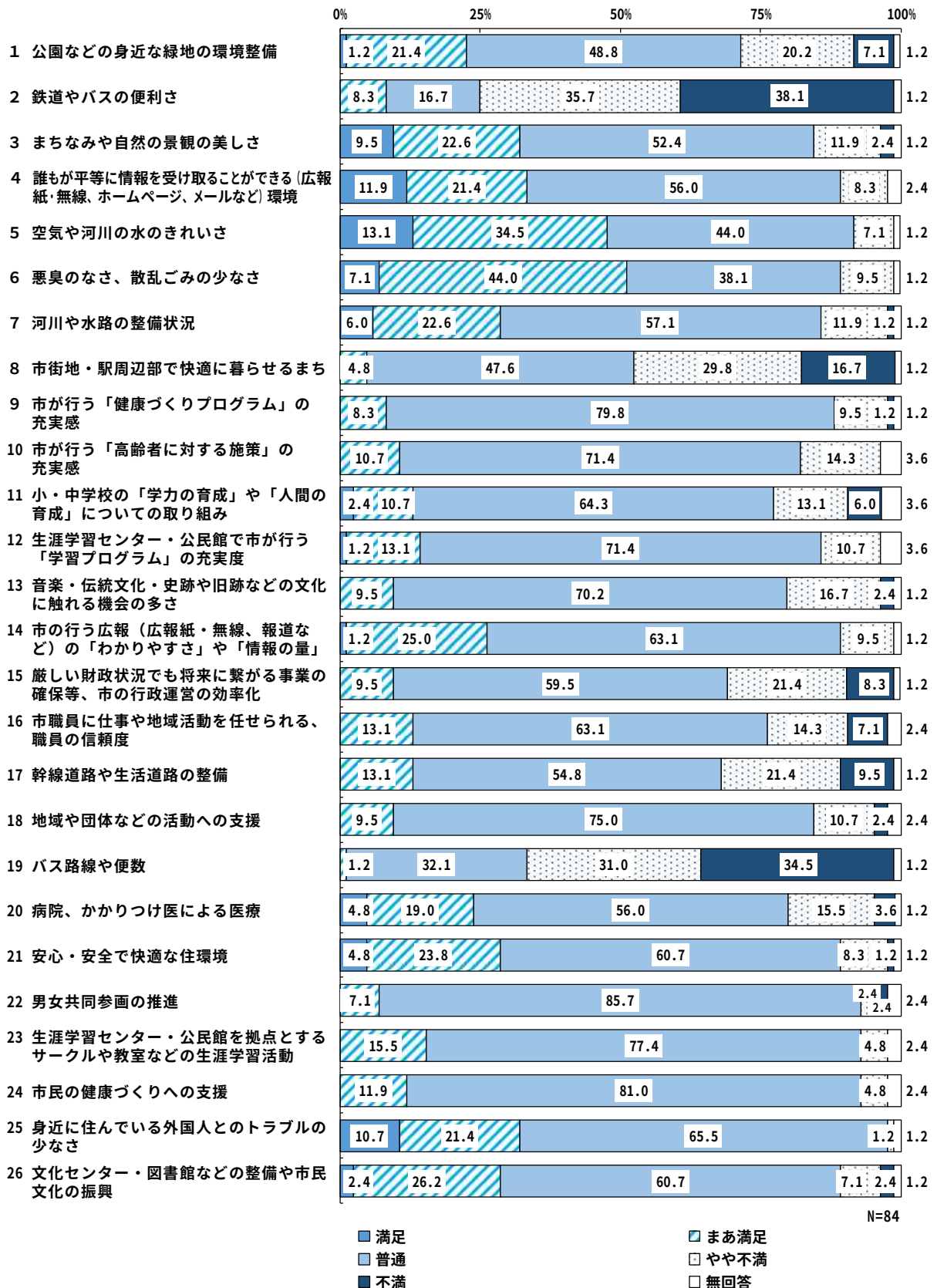
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【年代別：30代】



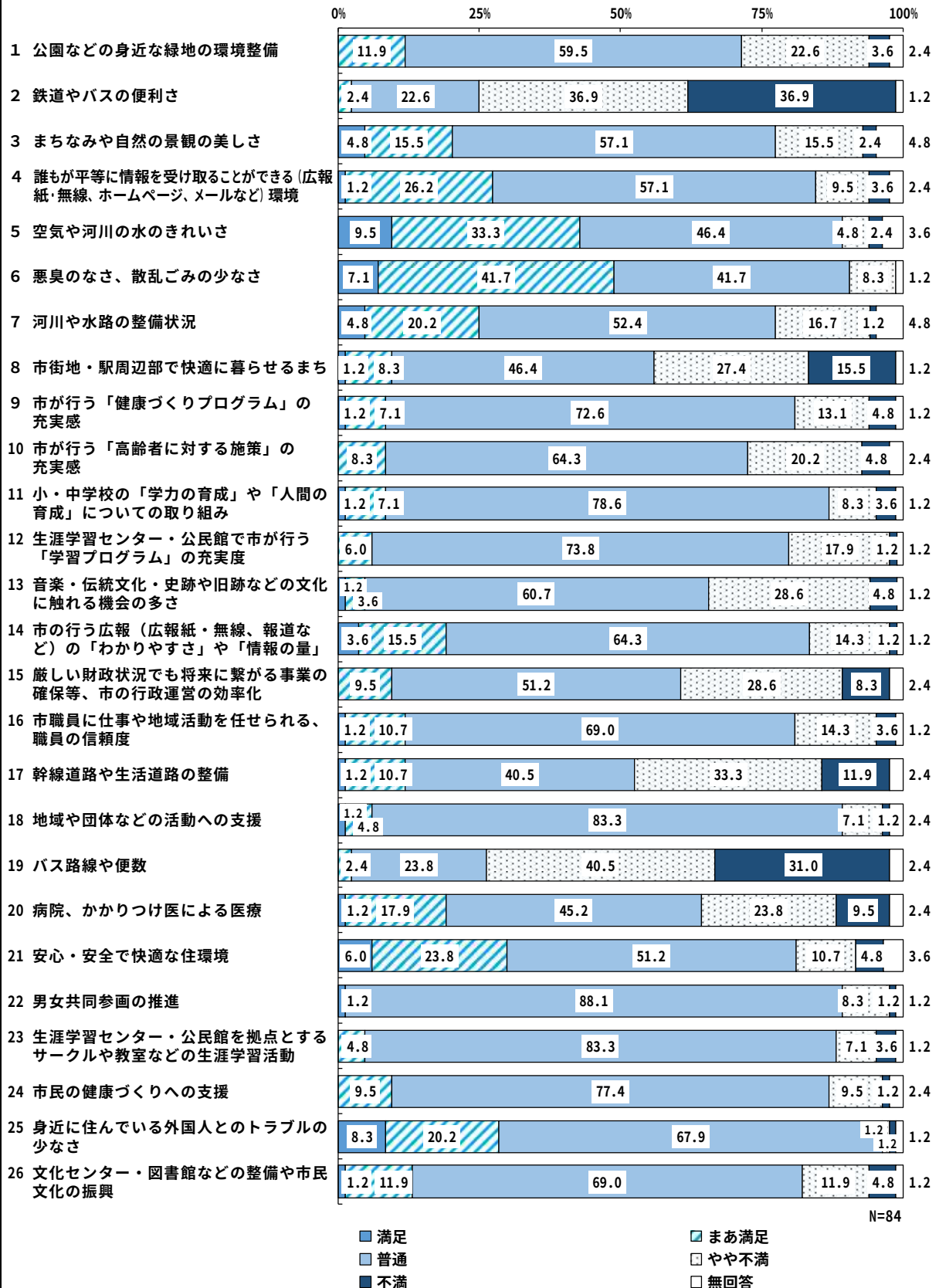
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【年代別：40代】



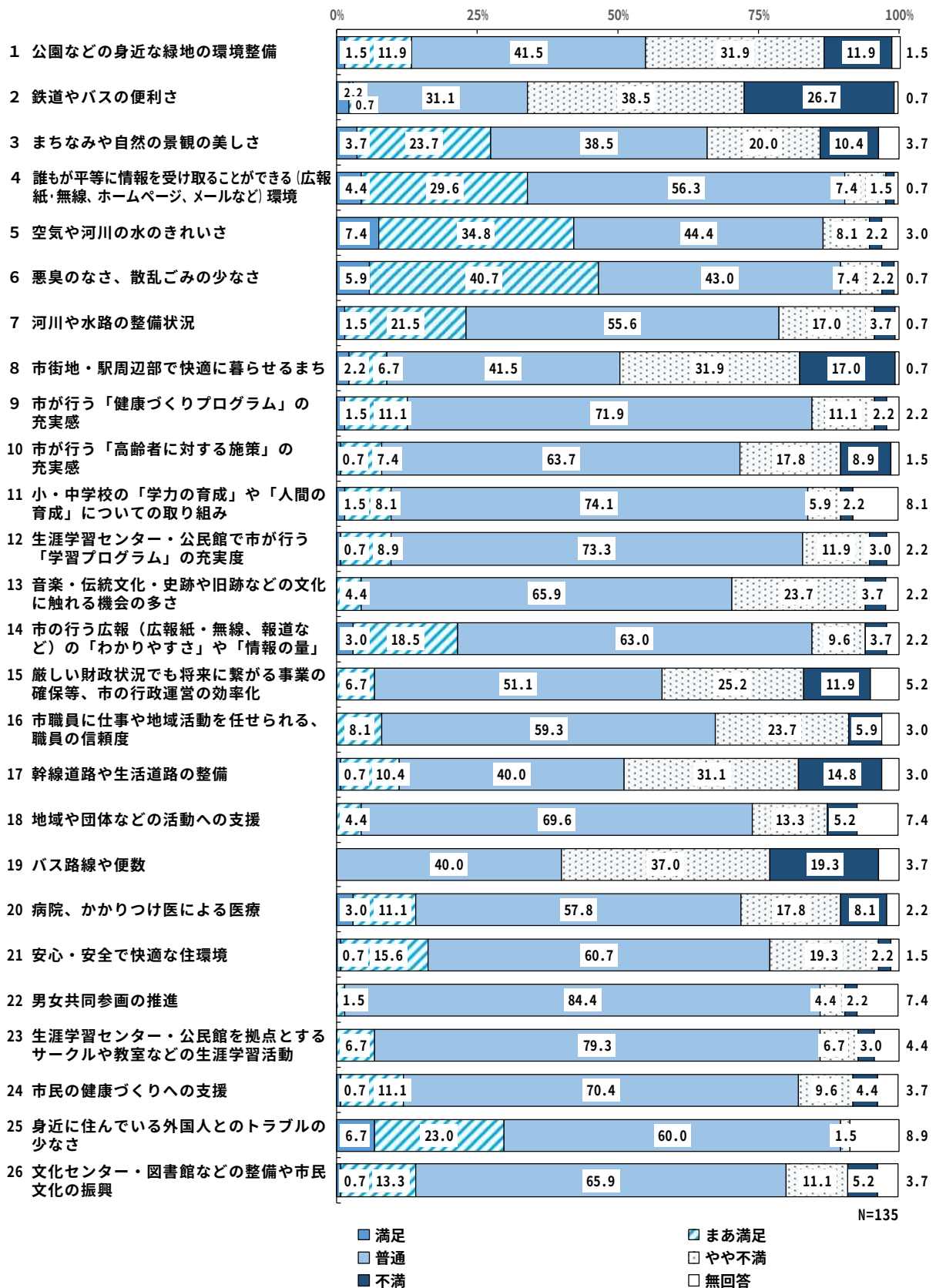
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【年代別：50代】



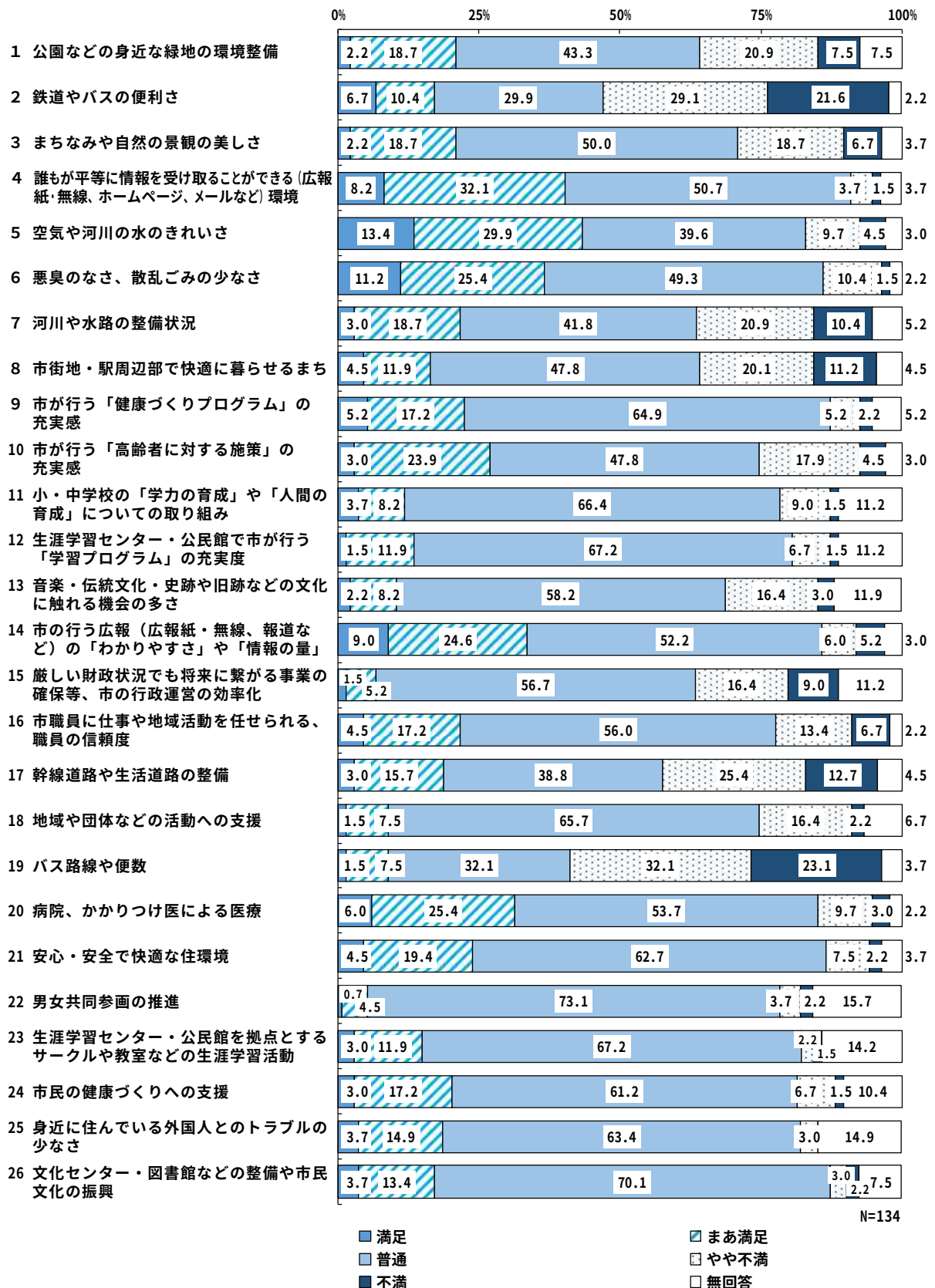
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【年代別：60代】



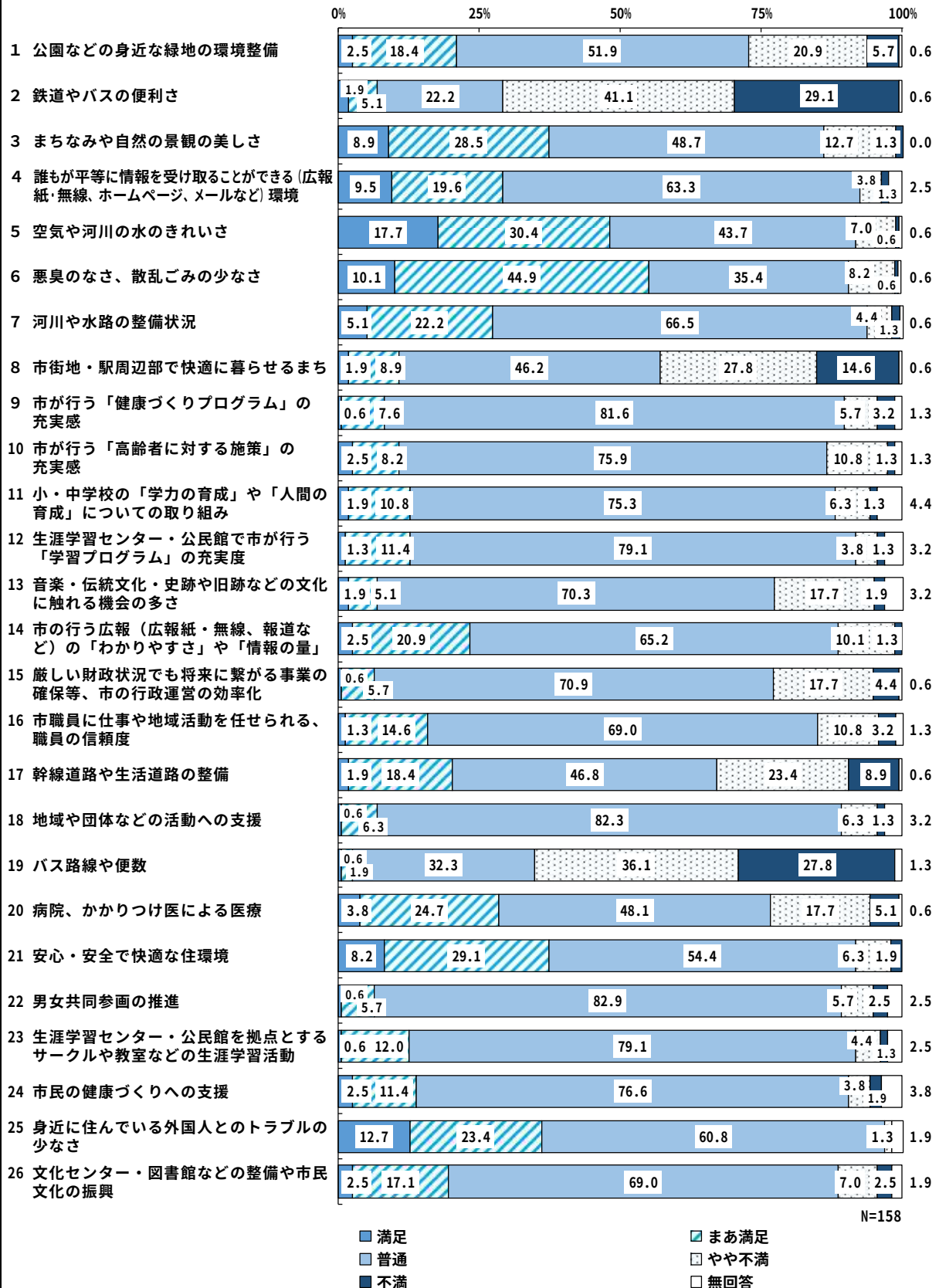
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【年代別：70代以上】



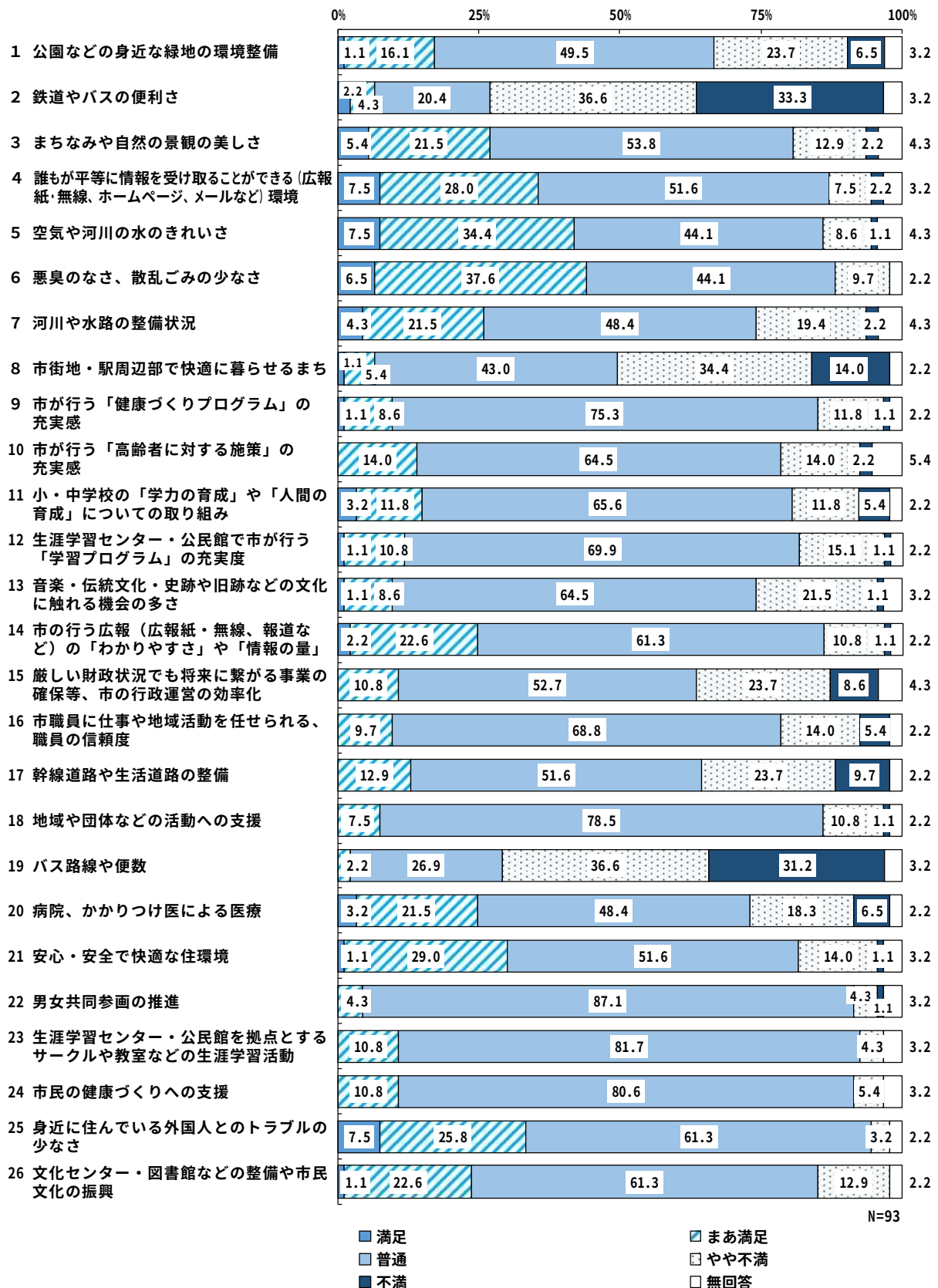
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【家族形成期別：“就学前家族”】



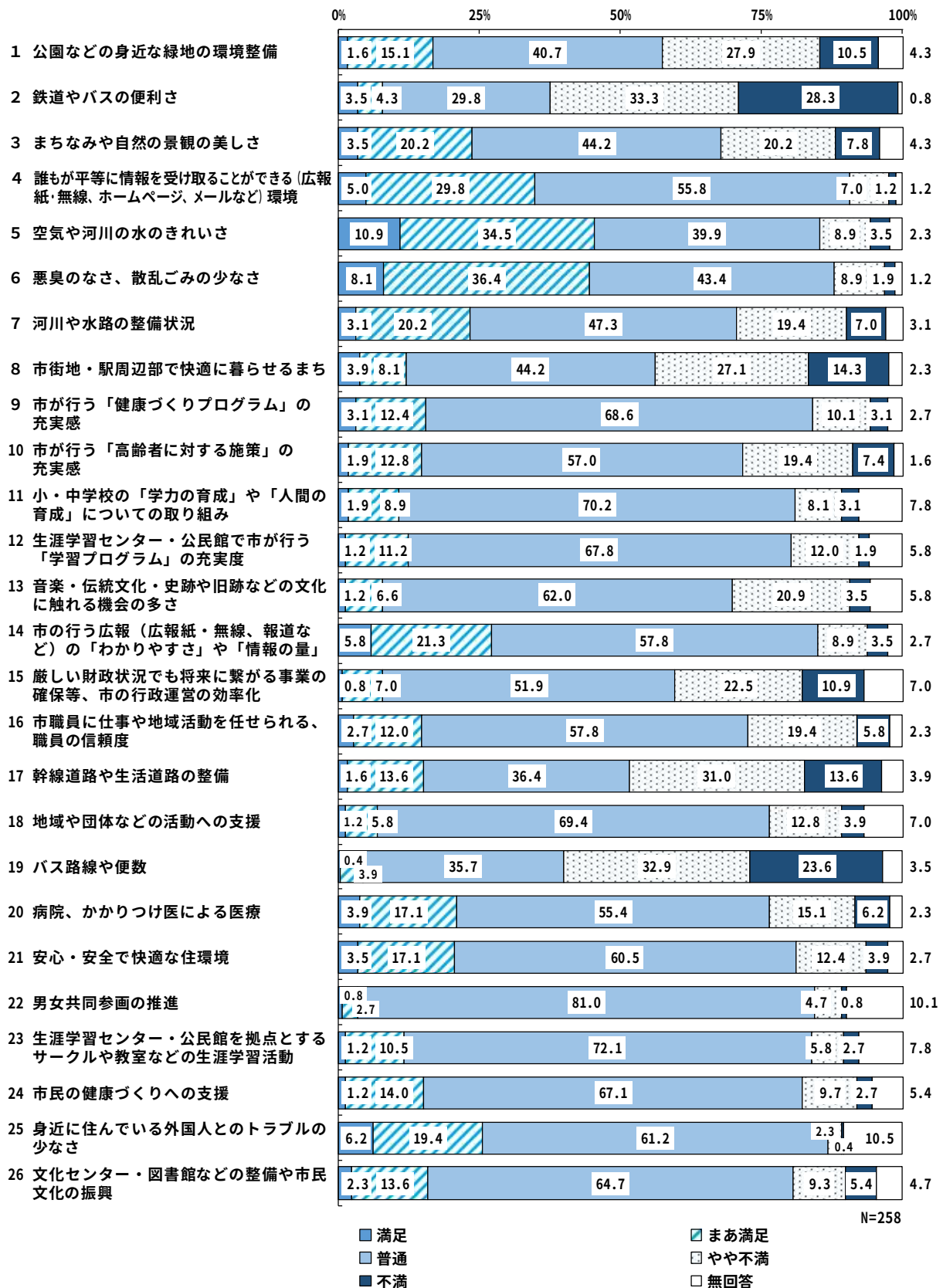
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【家族形成期別：“就学中家族”】



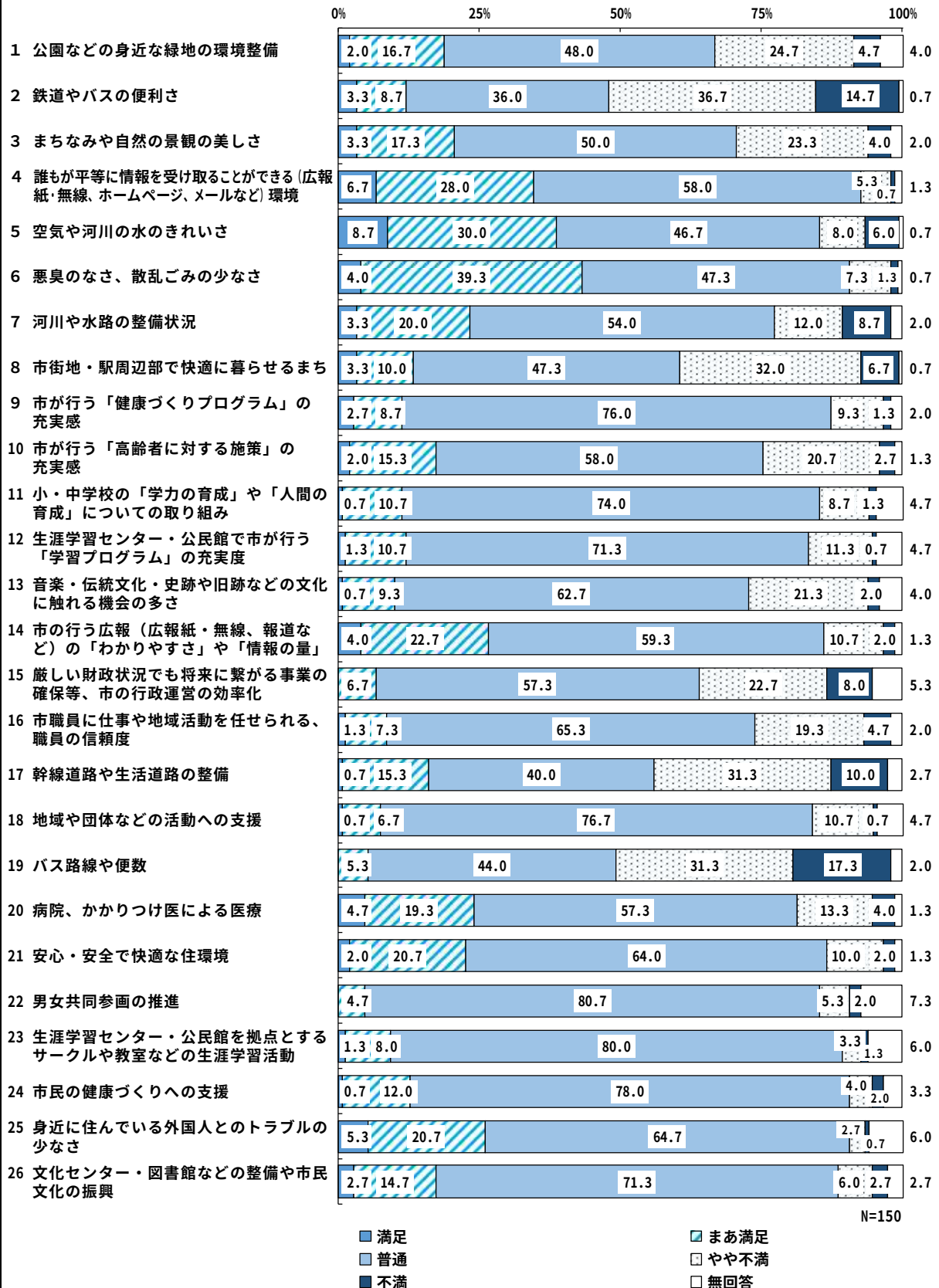
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【家族形成期別：“就学後家族”】



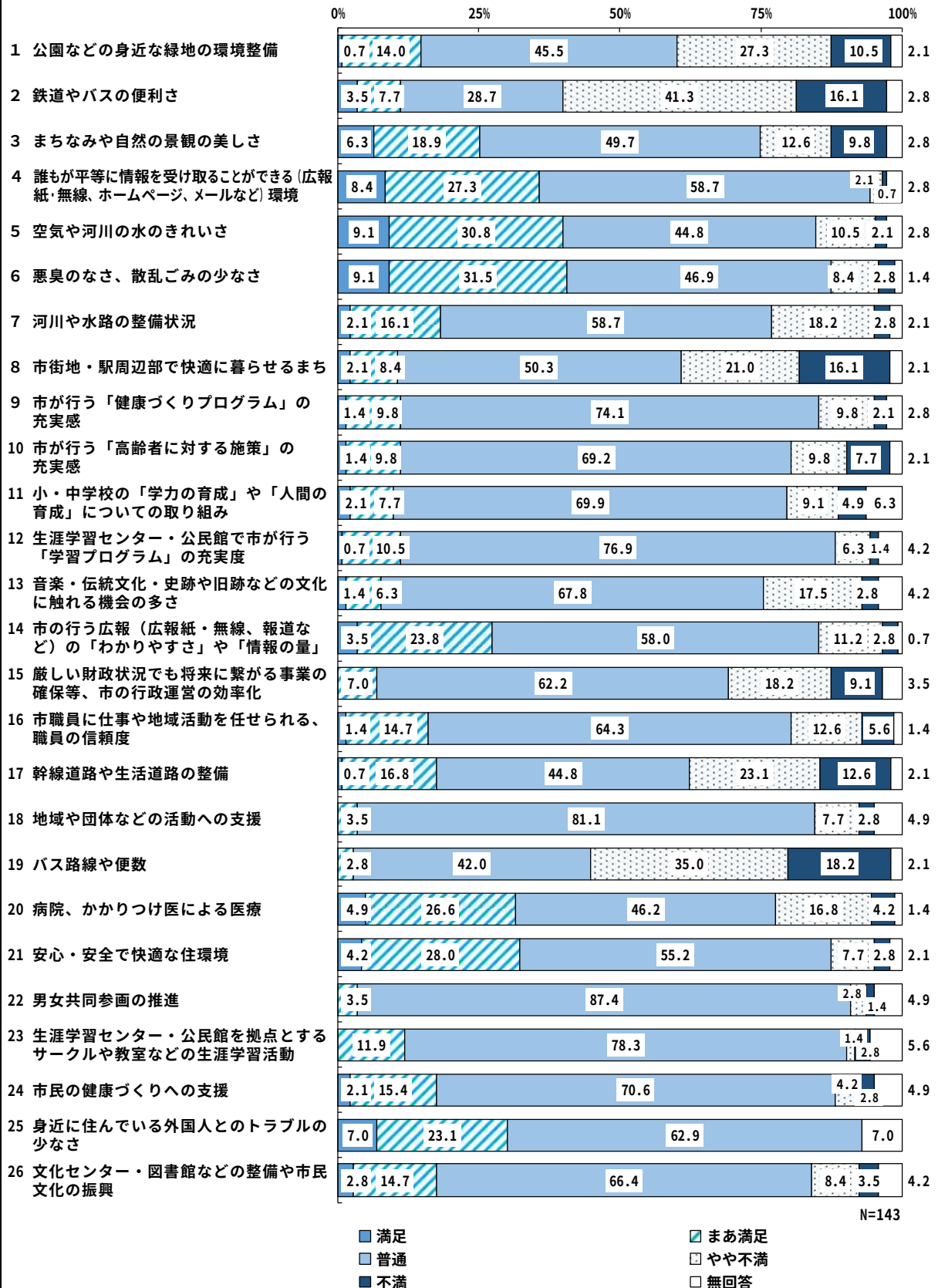
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【居住地区別：東地区】



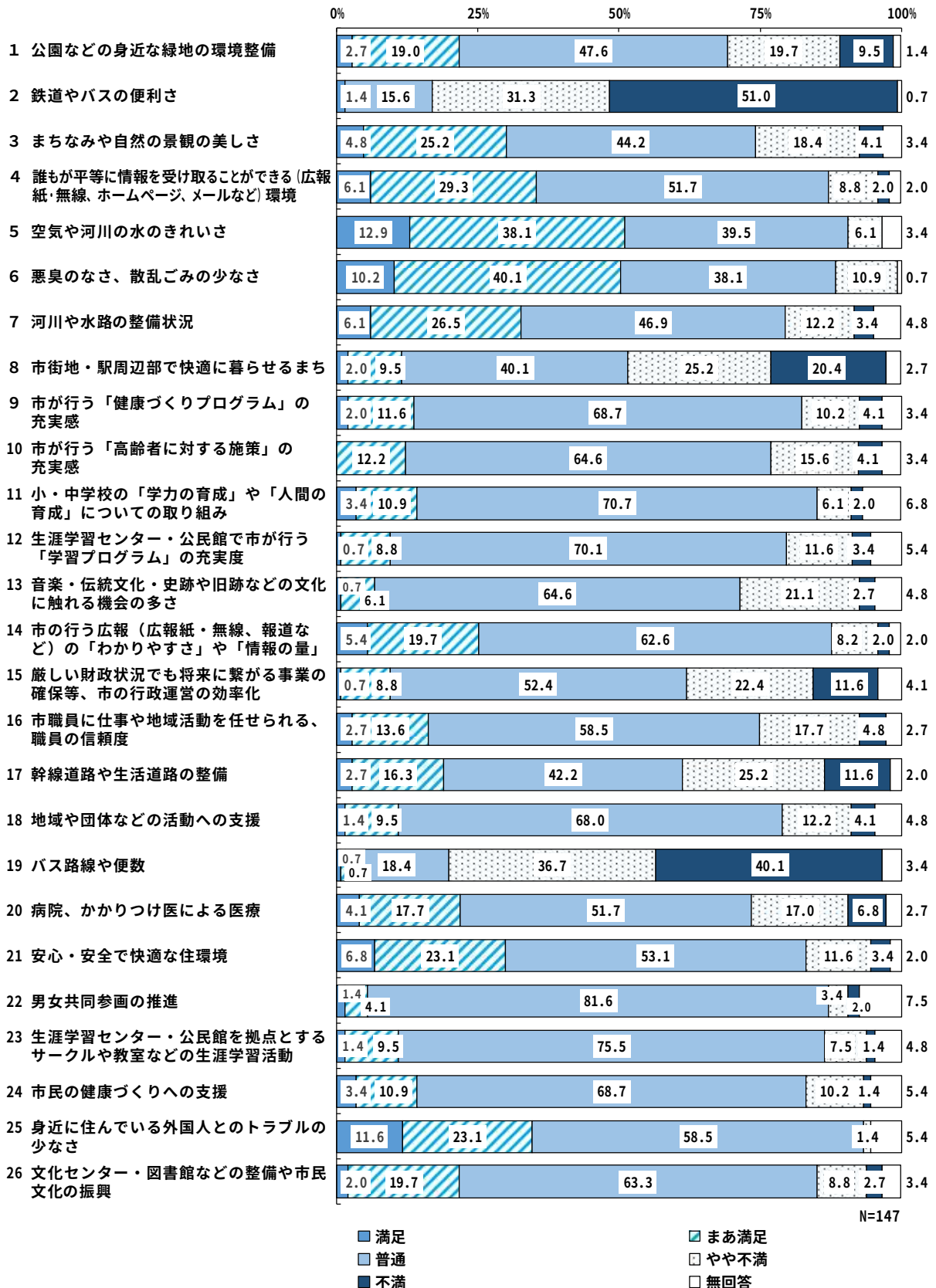
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【居住地区別：西地区】



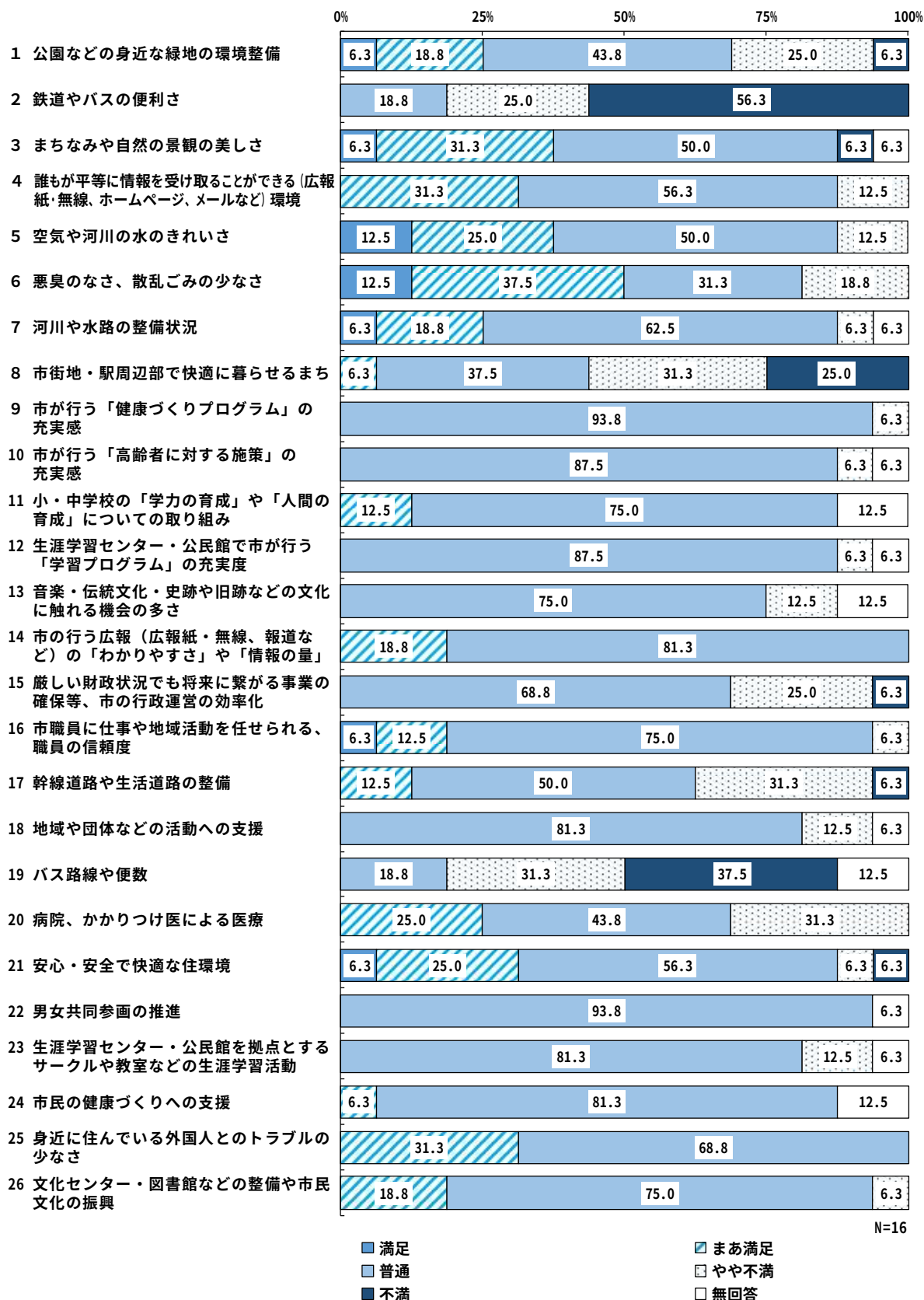
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【居住地区別：富岡地区（全体）】



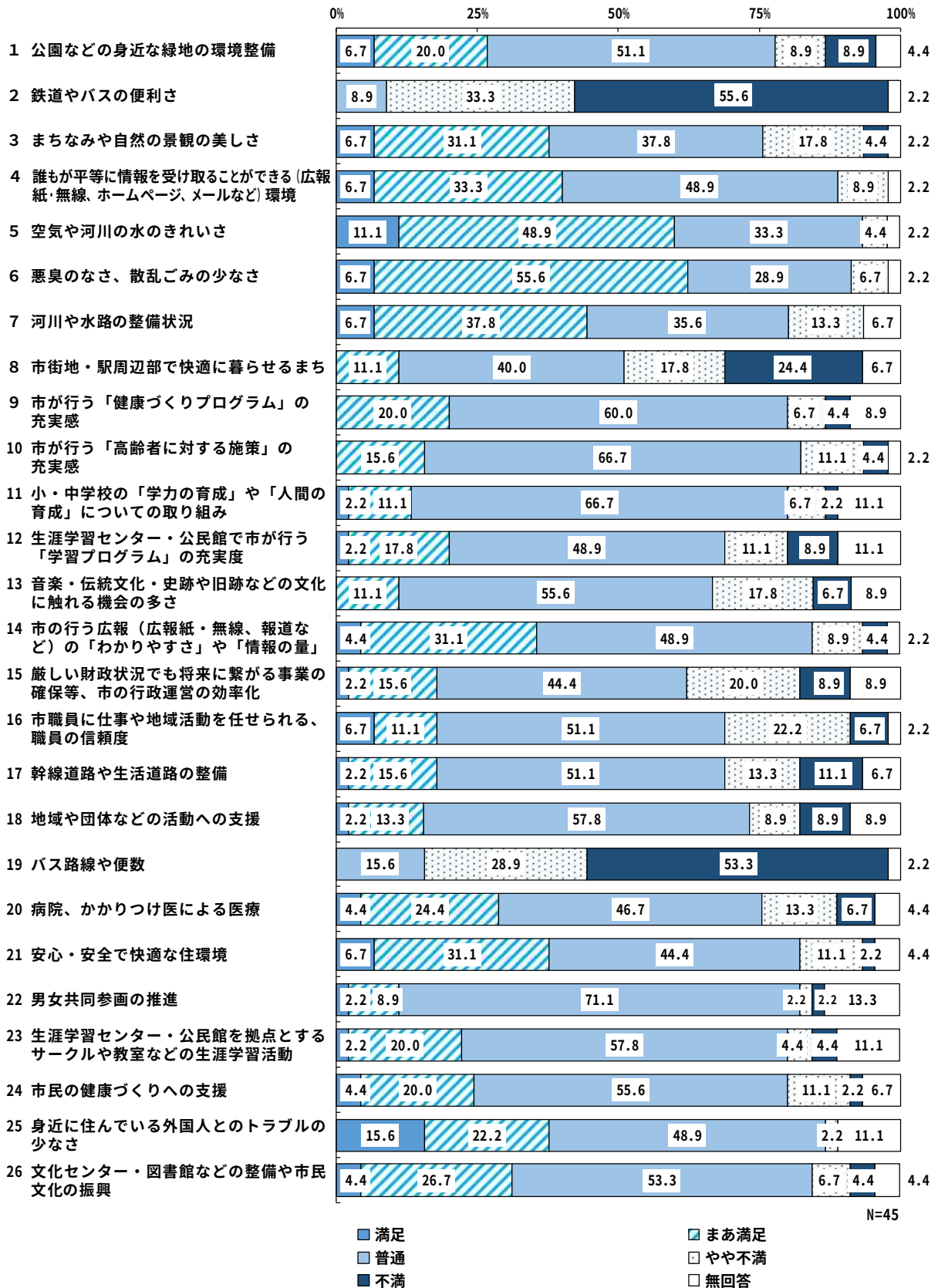
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【居住地区別：富岡地区（企業団地）】



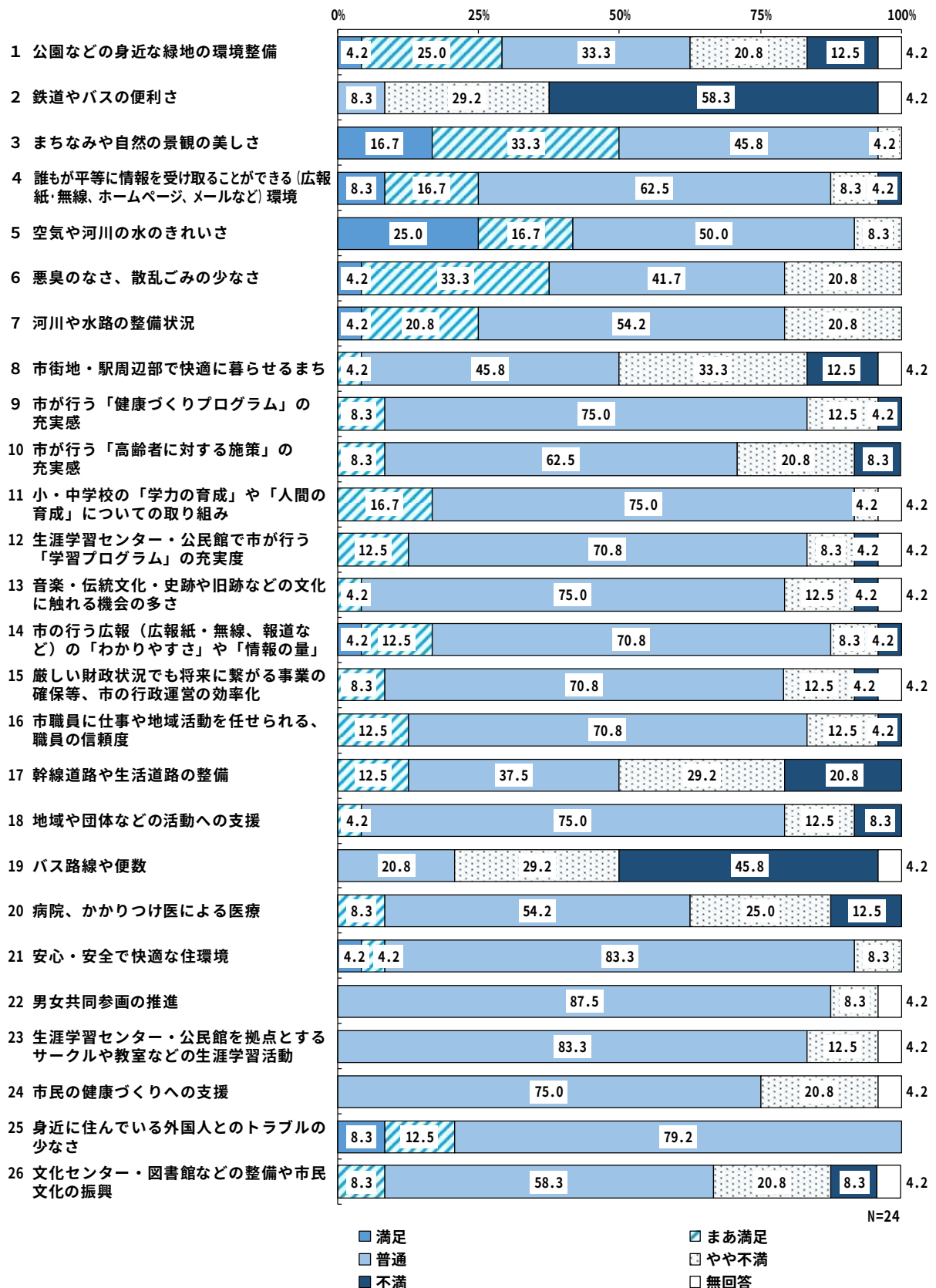
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【居住地区別：富岡地区（千福が丘）】



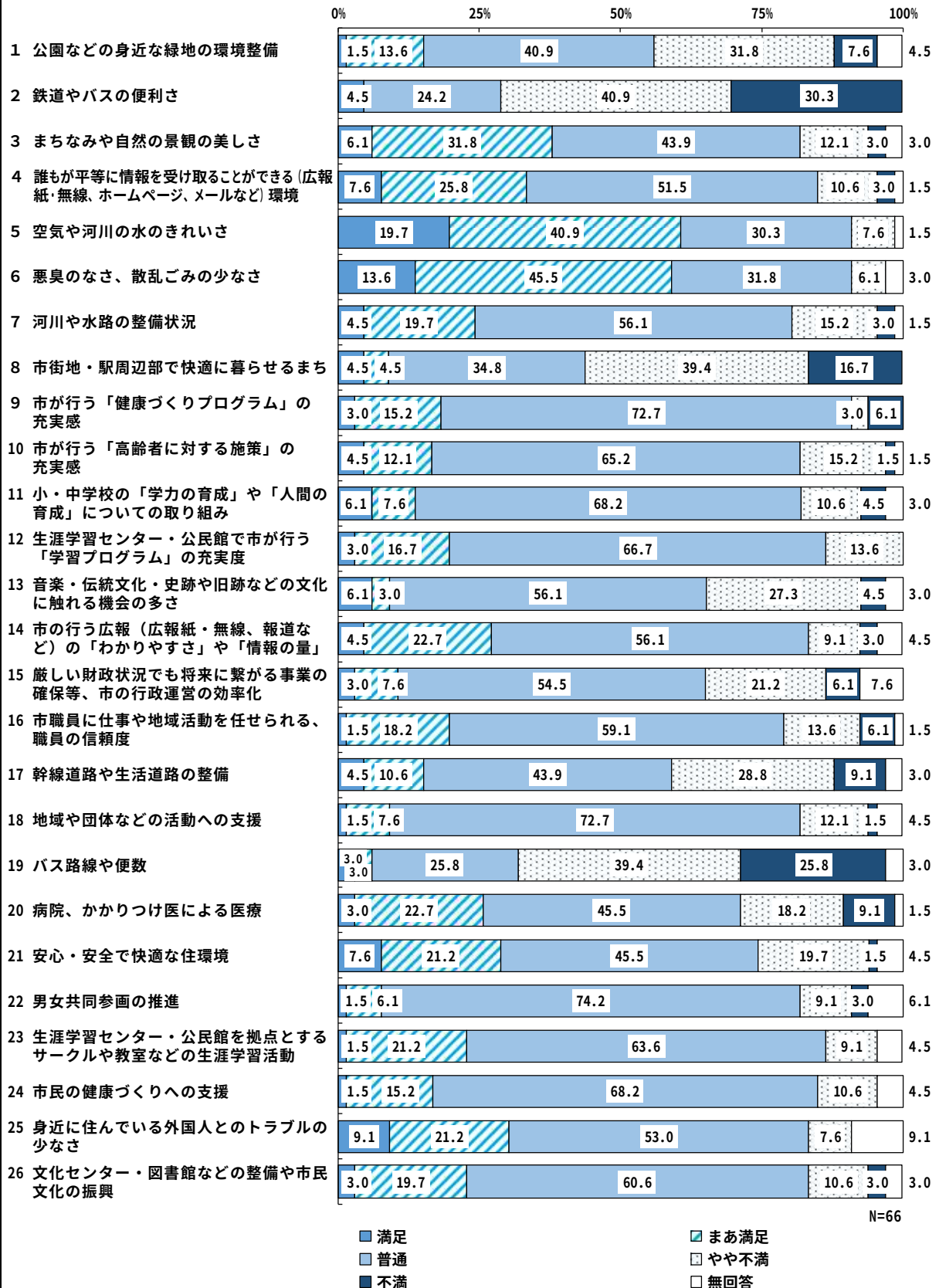
問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【居住地区別：須山地区】



問2：裾野市の取り組み・生活環境に対する満足度（それぞれ単一回答）

【居住地区別：深良地区】



(3) これからも裾野市に住みたいか

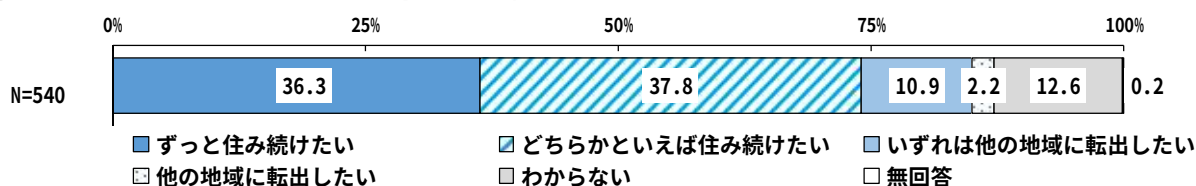
「ずっと住みたい」と回答した人が 36.3%、「どちらかといえば住みたい」と回答した人が 37.8%だった。合計して、回答者の 74.1%が“住みたい”と思っている。

平成 28 年度と比較して、“住みたい”は 4.5 ポイント減少した。

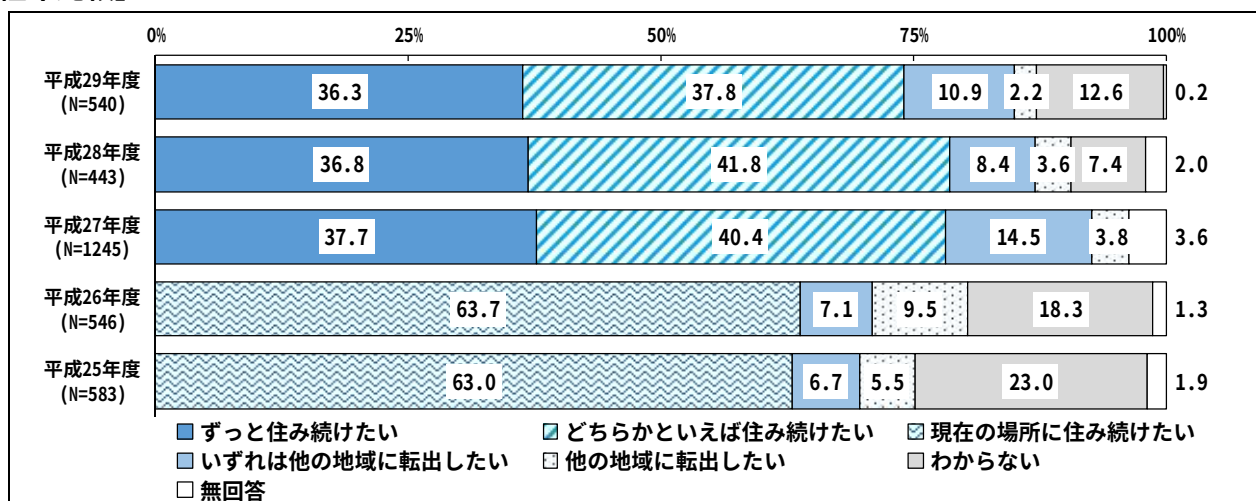
年代別で見ると、年代が上がるごとに“住みたい”が多くなる傾向にあり、70 代以上は 81.3%が“住みたい”と回答している。

居住地区別で見ると、東地区・西地区・深良地区は他の地区と比較して、“住みたい”が多くなっている。また、居住歴別で見ると、「生まれてからずっと住んでいる」・「生まれは市内だが、一時、転出したことがある」の“裾野市生まれ”ほど“住みたい”が多くなっている。

問 3：あなたはこれからも裾野市に住みたいと思いますか。(単一回答)



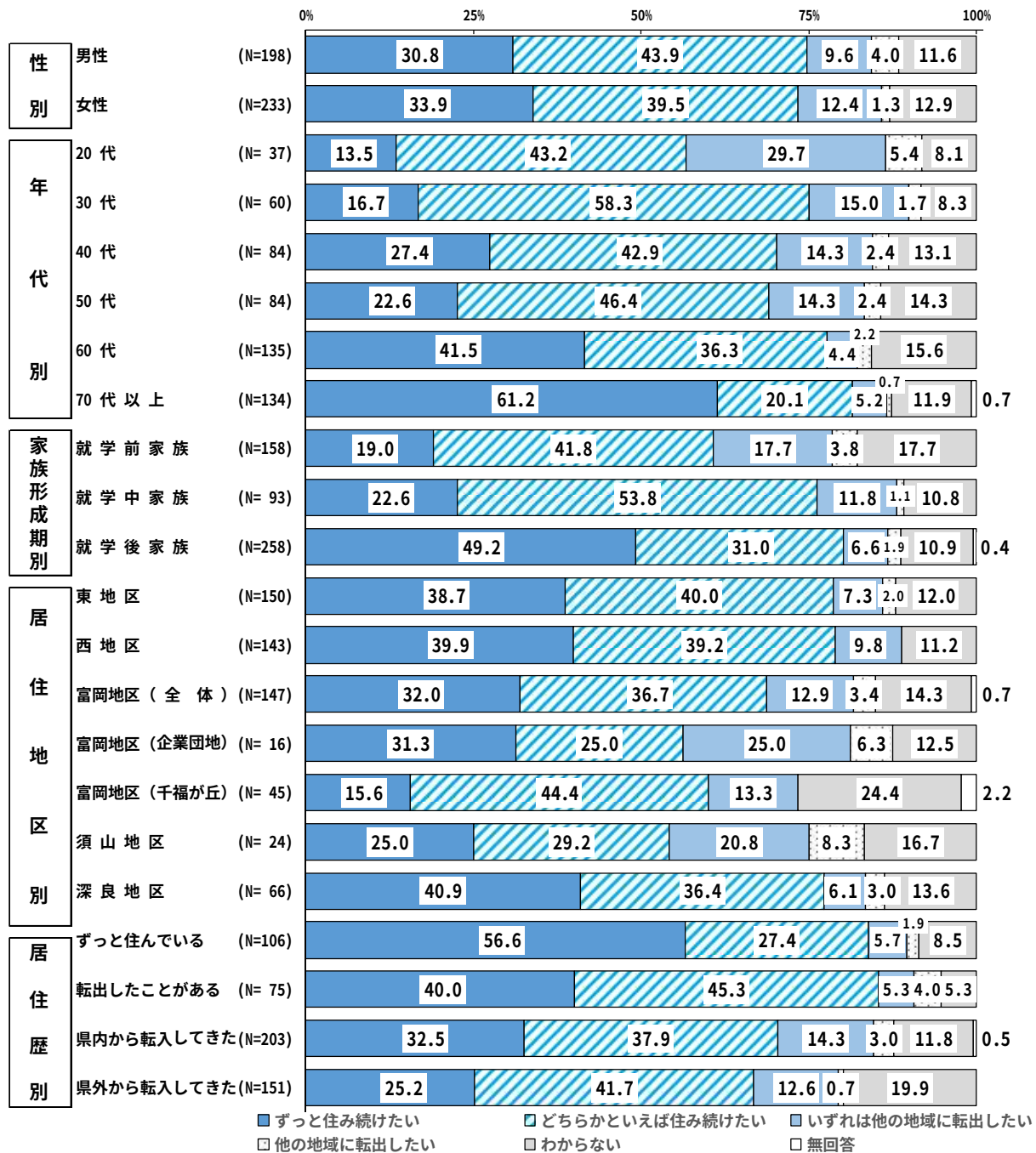
【経年比較】



注※：平成 26 年度までの調査の選択肢は「現在の場所に住みたい」、「いずれは他の地域に転出したい」、「他の地域に転出したい」、「わからない」の 4 種類。平成 27 年度調査では選択肢「わからない」は用いていない。

【クロス集計】

問3：あなたはこれから裾野市に住み続けたいと思いますか。(単一回答)



※「居住歴別」の各項目の正式名称は「生まれてからずっと住んでいる」、「生まれは市内だが、一時、転出したことがある」、「県内の他市町から転入してきた」、「県外から転入してきた」。

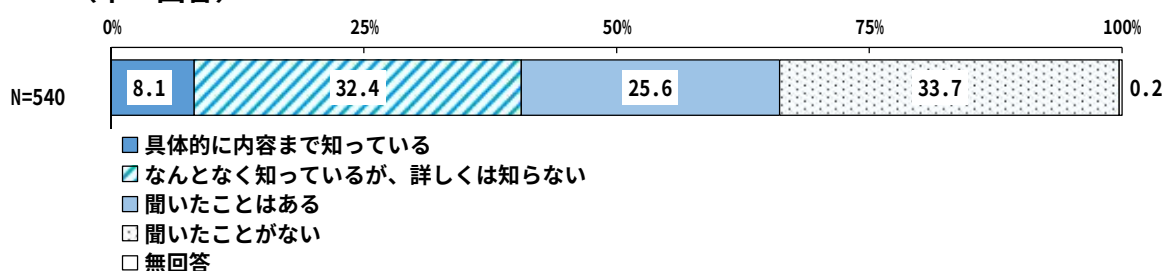
(4) ワークライフバランスについて

多かったのは、「聞いたことがない」33.7%と、「なんとなく知っているが、詳しくは知らない」32.4%だった。平成28年度と比較して、「聞いたことがない」が減少し、「具体的に内容まで知っている」・「なんとなく知っているが、詳しくは知らない」・「聞いたことはある」が増加した。

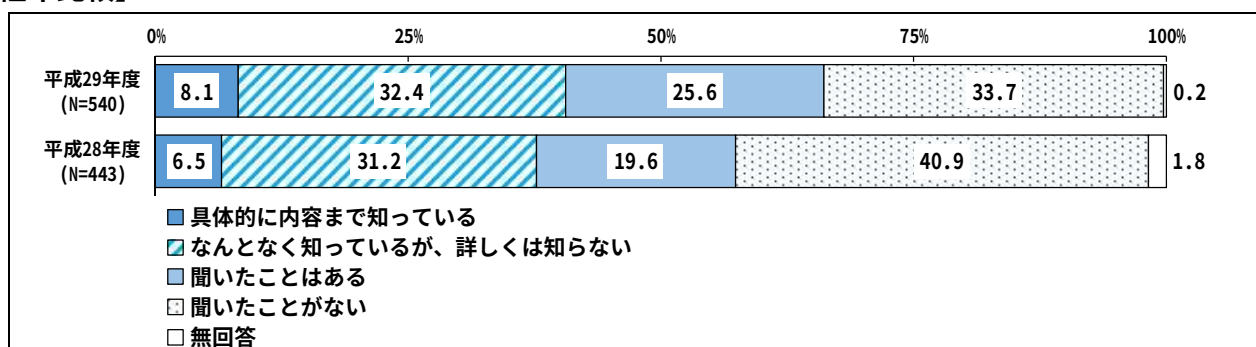
性別で見ると、男性は女性よりも、「具体的に内容まで知っている」が8.4%多く、女性は男性よりも、「聞いたことがない」が9.5%多かった。また、年代別で見ると、30代・40代は他の年代と比較して、「具体的に内容まで知っている」が比較的多かった。「聞いたことがない」の割合には、年代間で大きな差はなかった。

問4：あなたはワークライフバランス（仕事と生活の調和）について知っていますか。

(単一回答)

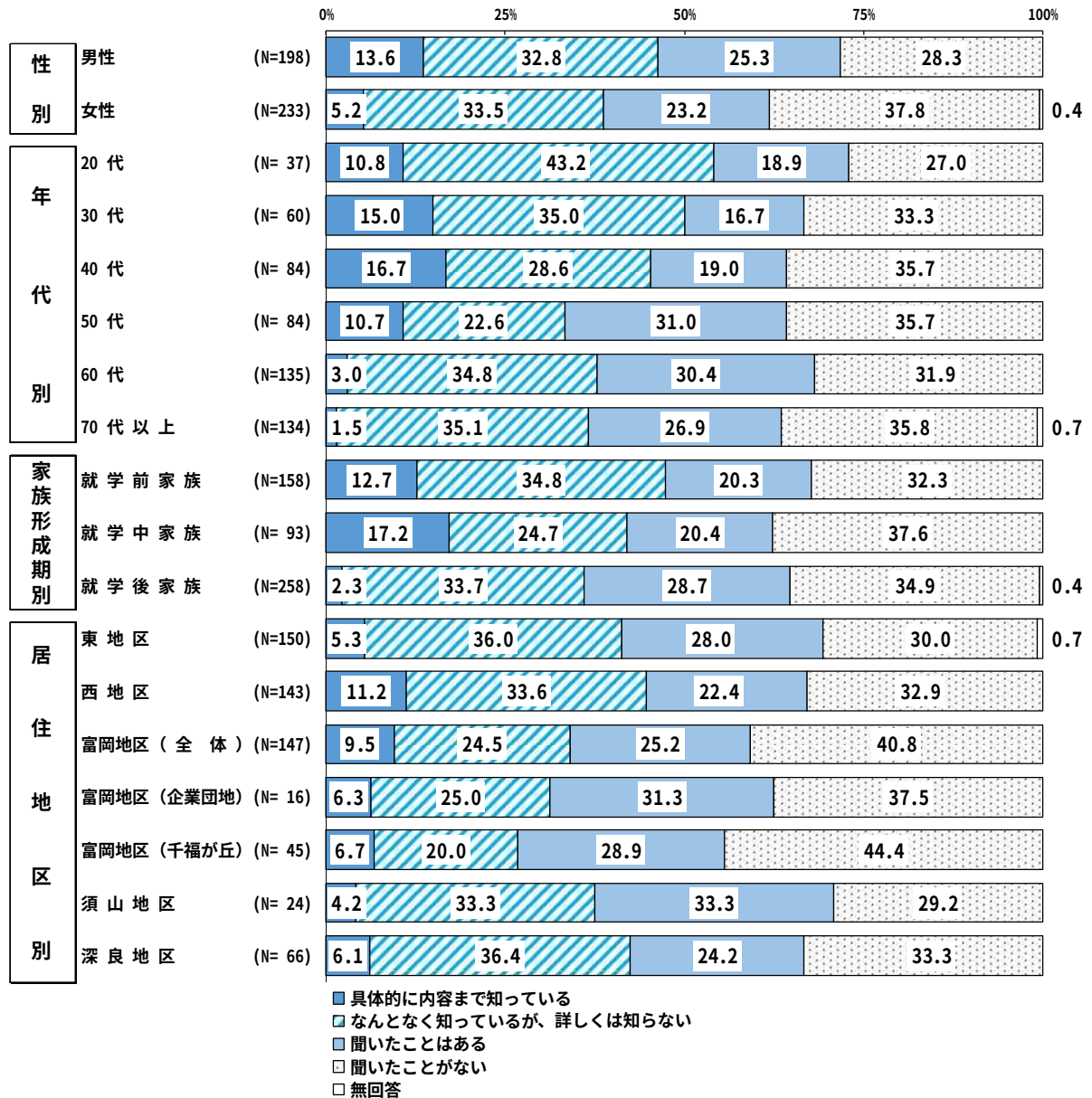


【経年比較】



【クロス集計】

問4：あなたはワークライフバランス（仕事と生活の調和）について知っていますか。
（単一回答）



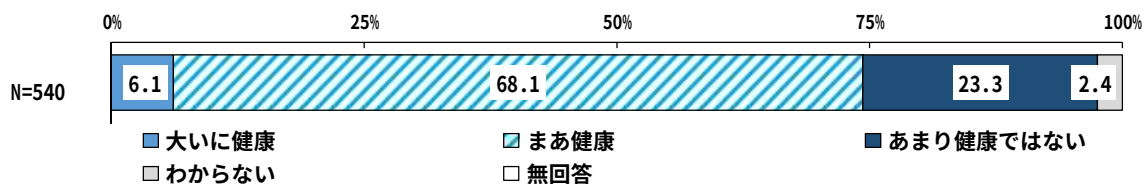
(5) 自分の健康に対する感覚について

「大いに健康」6.1%と、「まあ健康」68.1%を合計した“健康”は74.2%だった。

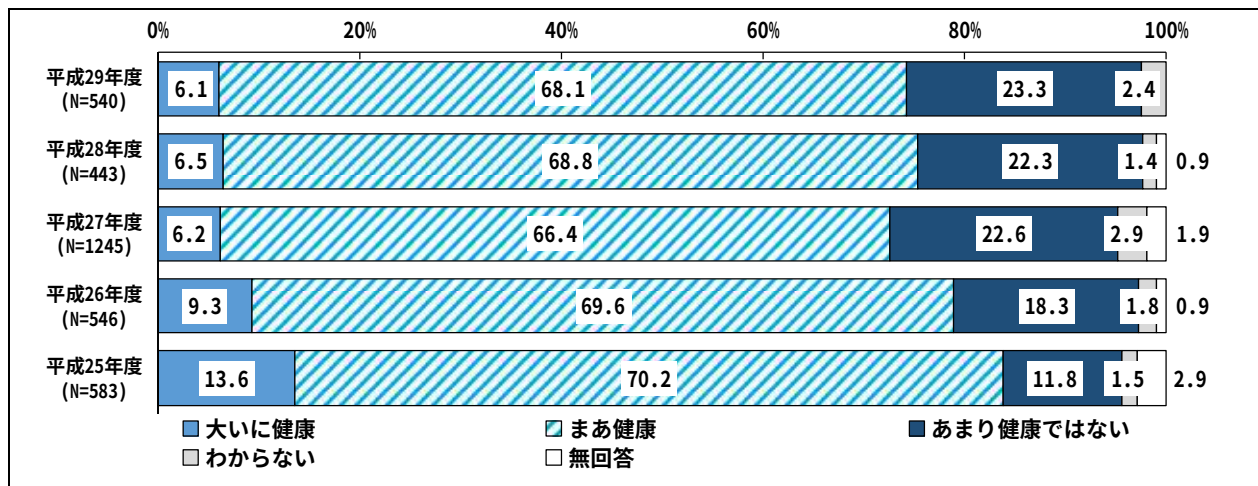
平成25年度以降、“健康”はわずかに減少しており、今回の調査では「あまり健康ではない」がここ5年で最高となった。

年代別で見ると、最も“健康”が多かったのは20代で、91.9%が“健康”と回答した。年代が上がるごとに、“健康”は減少している。

問5：あなたはご自分の健康についてどのように感じていますか。（単一回答）

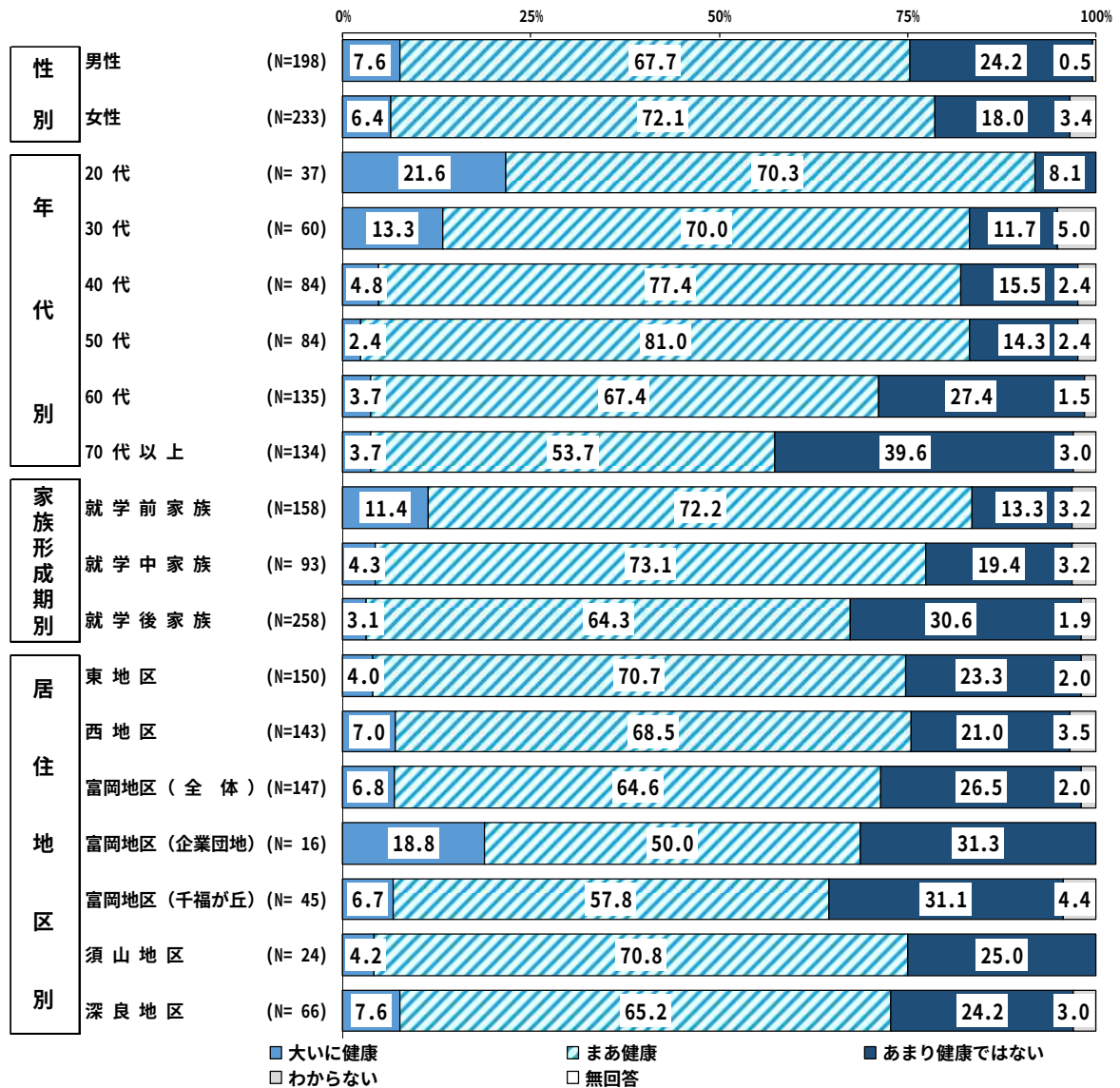


【経年比較】



【クロス集計】

問5：あなたはご自分の健康についてどのように感じていますか。（単一回答）



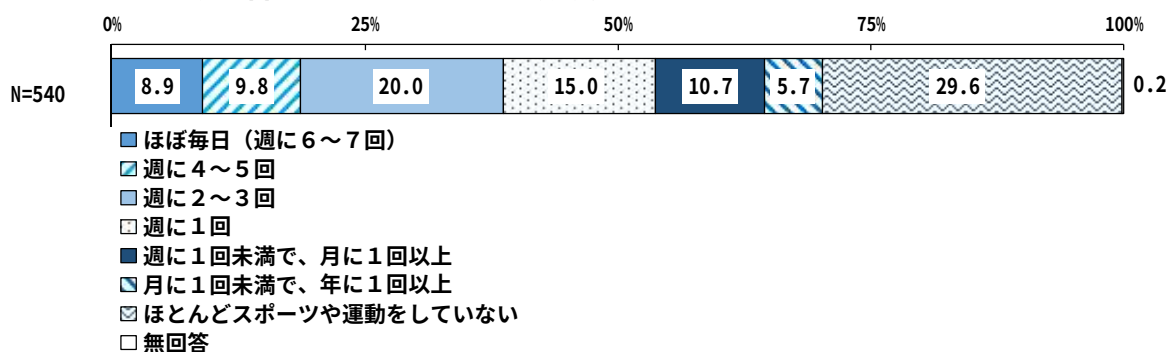
(6) スポーツや運動を行う頻度について

「ほとんどスポーツや運動をしていない」29.6%が最も多く、以下、「週に2～3回」20.0%、「週に1回」15.0%、「週に1回未満で、月に1回以上」10.7%と続いた。

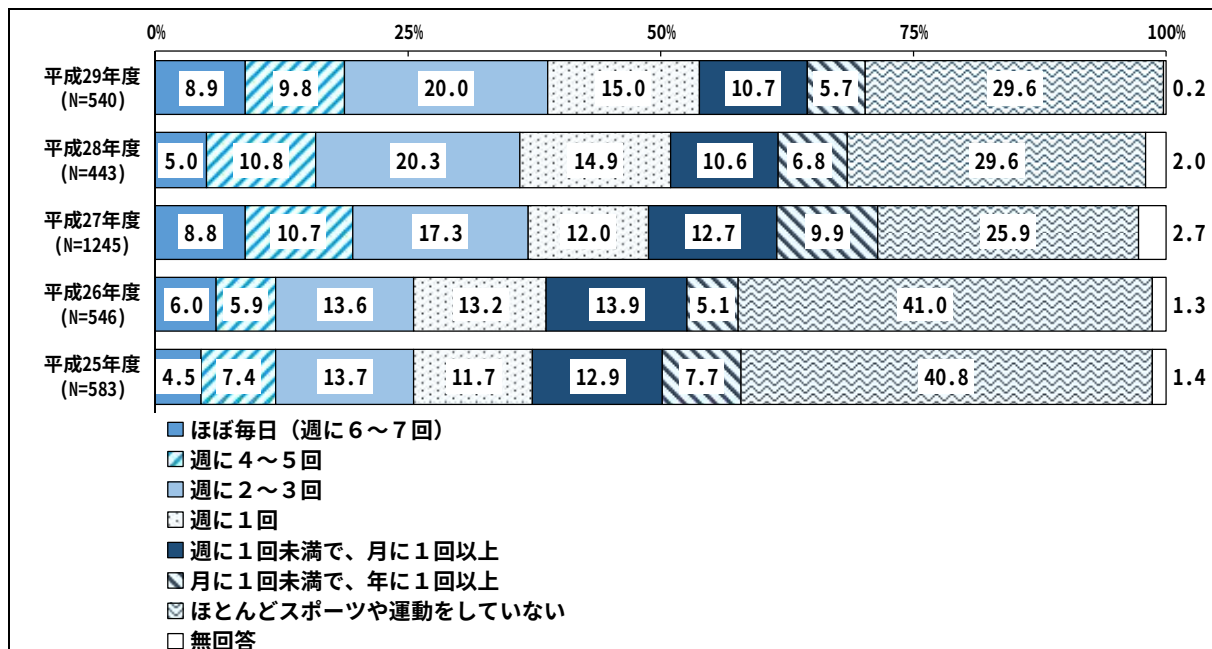
「ほとんどスポーツや運動をしていない」は平成25年度から5年間で約10ポイント減少し、「ほぼ毎日（週に6～7回）」・「週に4～5回」・「週に2～3回」を合計した、“週に2回以上”が多くなっている。

年代別で見ると、年代が上がるごとに、“週に2回以上”が多くなっている。

問6：あなたはこの1年間でスポーツや運動（1回あたり30分程度以上、散歩・ストレッチ等の軽運動を含む）をどれくらいの頻度で行っていますか。（単一回答）

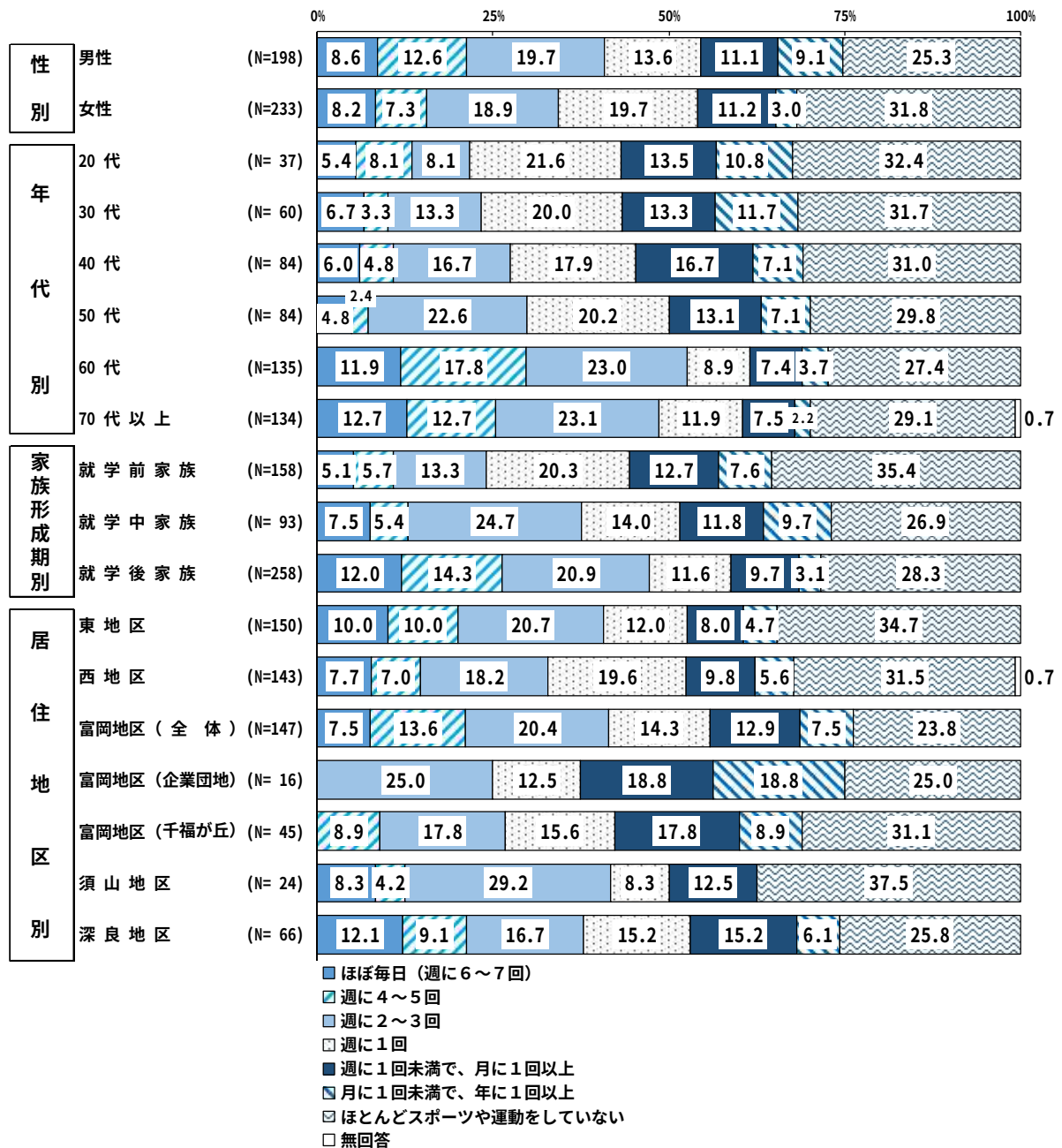


【経年比較】



【クロス集計】

問6：あなたはこの1年間でスポーツや運動（1回あたり30分程度以上、散歩・ストレッチ等の軽運動を含む）をどれくらいの頻度で行っていますか。（単一回答）



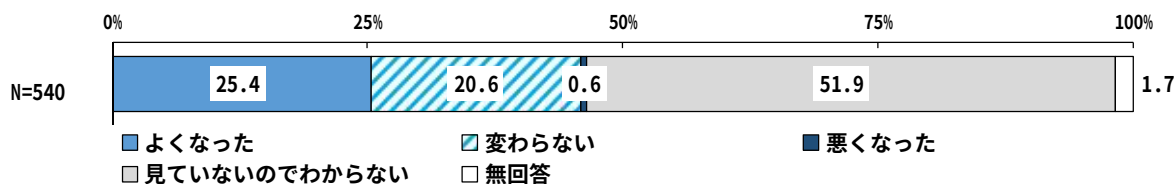
市役所各フロアの改善効果について

(7) 各フロアの改善について ① 1 階

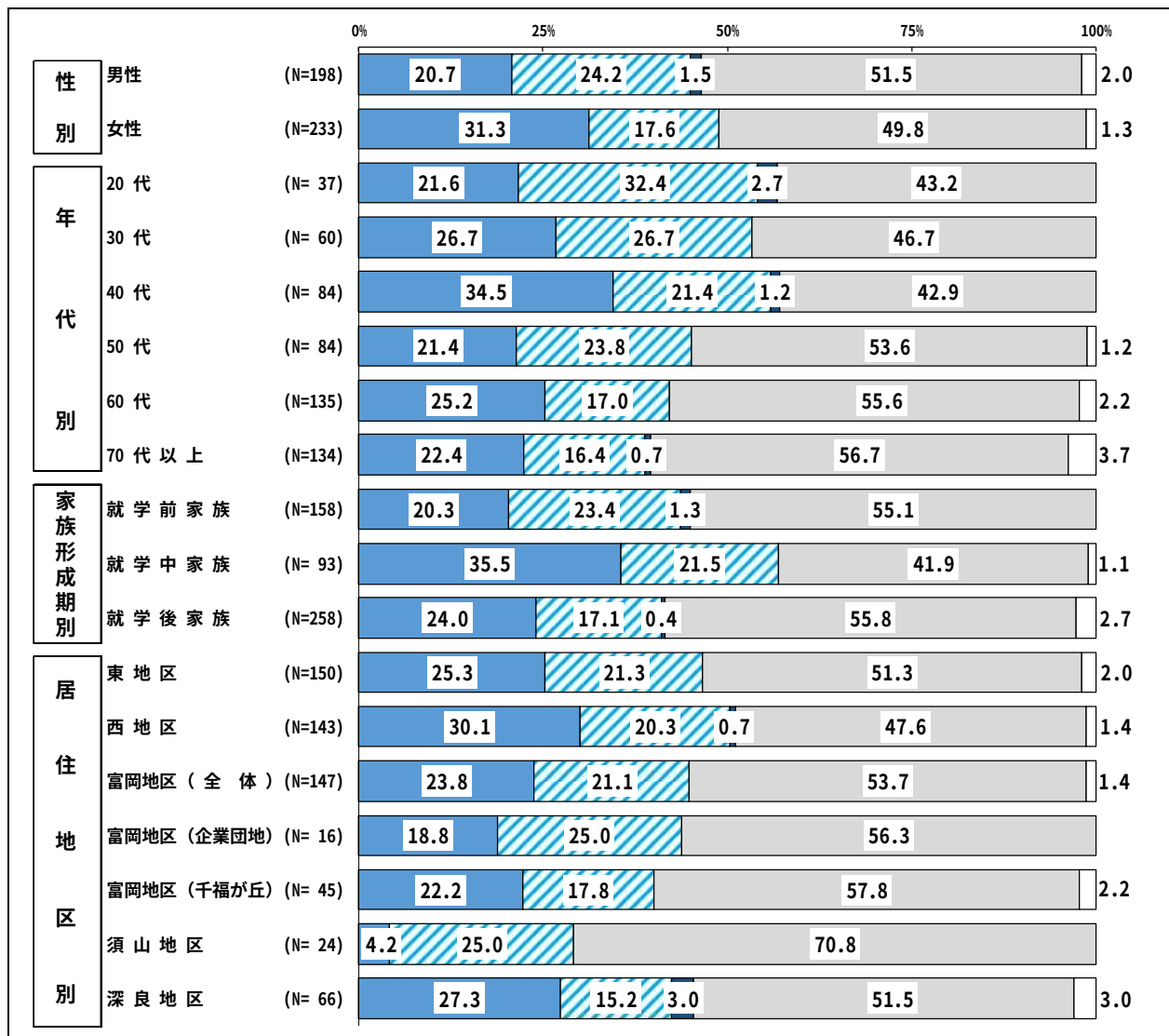
「よくなった」は 25.4%だった。性別で見ると、男性よりも女性の方が「よくなった」が 10.6%多く、年代別で見ると、「よくなった」が最も多かったのは 40 代だった。

よくなった点は、「見通しがよくなった」58.4%が最も多く、半数を超えた。以下、「明るくなった」40.1%、「きれいになった」30.7%、「職員との距離感が近くなった」27.0%、「広くなった」24.1%と続いた。

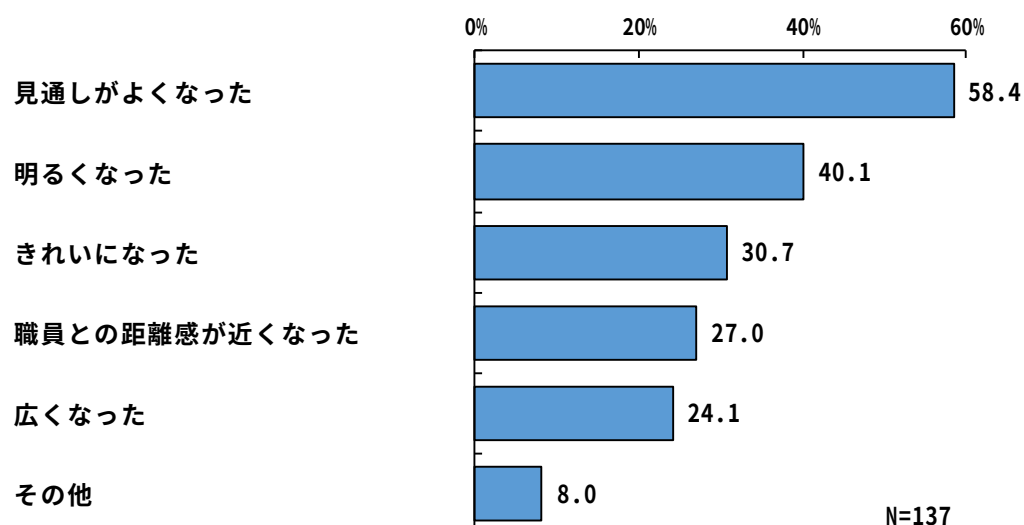
問 7：1 階のフロアについて、あなたはどのように感じられましたか。(単一回答)



【クロス集計】



問7：1階のよくなった点（複数回答可）



【クロス集計】

単位：%

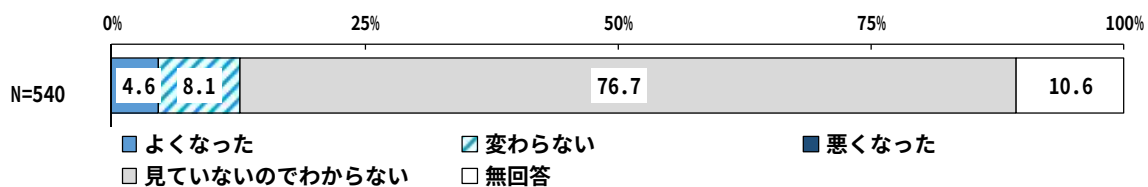
	調査数（人）	明るくなった	広くなった	きれいになった	見通しがよくなった	職員との距離感が近くなった	その他
全 体	137	40.1	24.1	30.7	58.4	27.0	8.0
性 別							
男 性	41	41.5	19.5	43.9	48.8	31.7	7.3
女 性	73	46.6	28.8	26.0	67.1	19.2	9.6
年 代 別							
20 代	8	0.0	25.0	12.5	75.0	0.0	12.5
30 代	16	50.0	12.5	56.3	56.3	6.3	12.5
40 代	29	44.8	17.2	20.7	55.2	3.4	0.0
50 代	18	44.4	16.7	33.3	72.2	33.3	11.1
60 代	34	38.2	32.4	23.5	52.9	44.1	14.7
70 代以上	30	43.3	33.3	40.0	56.7	43.3	3.3
家 族 形 成 期 別							
“就学前家族”	32	34.4	18.8	37.5	59.4	6.3	9.4
“就学中家族”	33	42.4	21.2	24.2	60.6	15.2	6.1
“就学後家族”	62	38.7	30.6	32.3	56.5	43.5	8.1
居 住 地 区 別							
東 地 区	38	39.5	28.9	26.3	47.4	23.7	7.9
西 地 区	43	39.5	20.9	41.9	67.4	27.9	9.3
富岡地区（全体）	35	40.0	22.9	31.4	65.7	28.6	8.6
富岡地区（企業団地）	3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
富岡地区（千福が丘）	10	50.0	30.0	20.0	100.0	30.0	10.0
須山地区	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
深良地区	18	50.0	27.8	11.1	44.4	33.3	5.6

(7) 各フロアの改善について ② 2階

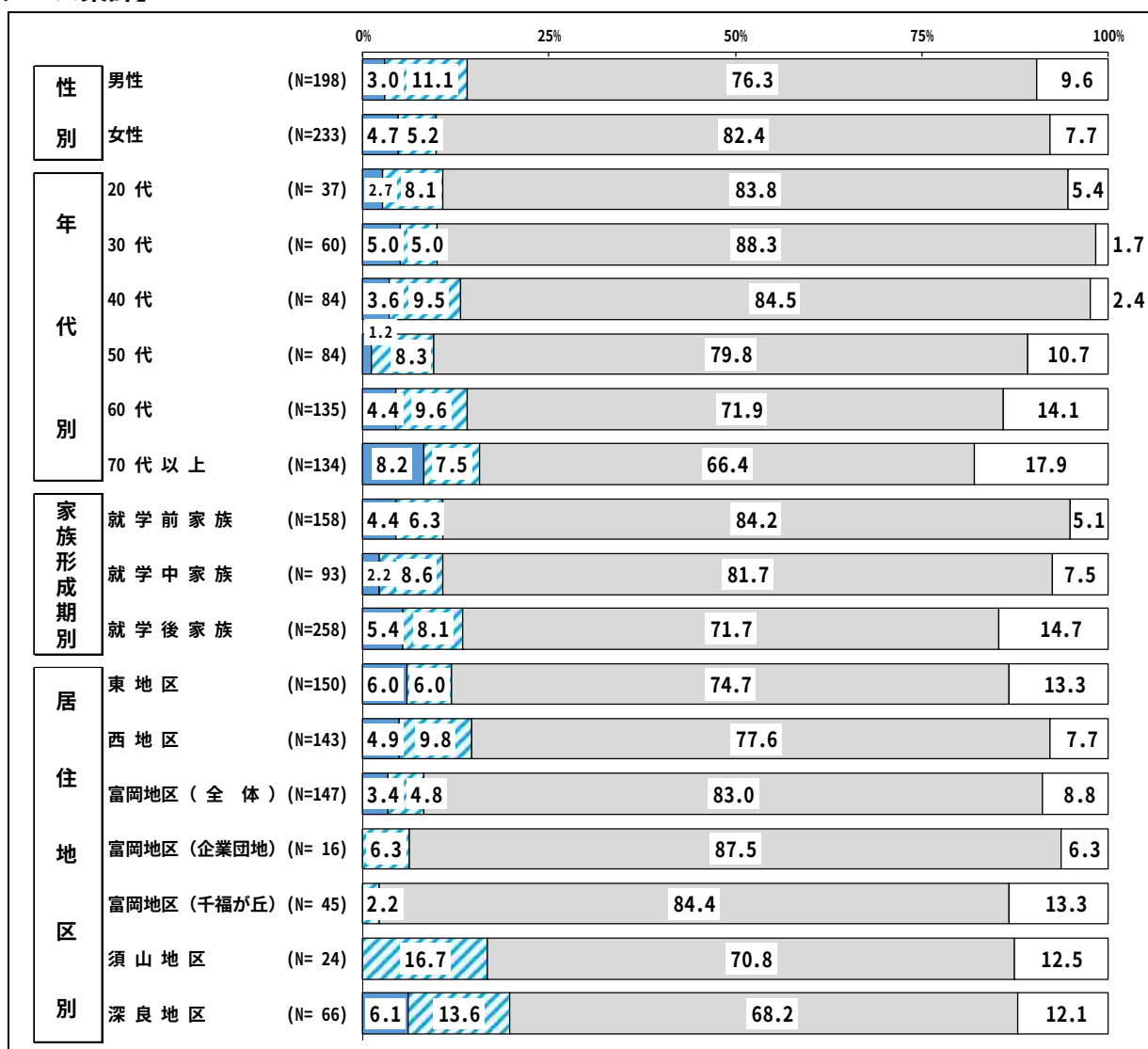
「よくなった」は4.6%だった。

よくなった点は、「明るくなった」や「きれいになった」などが多かった。

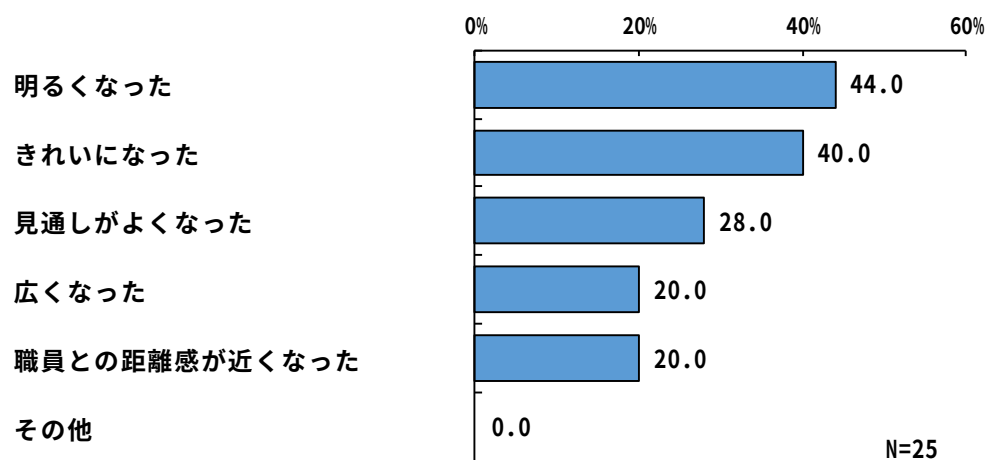
問7：2階のフロアについて、あなたはどのように感じられましたか。(単一回答)



【クロス集計】



問7：2階のよくなった点（複数回答可）



【クロス集計】

単位：%

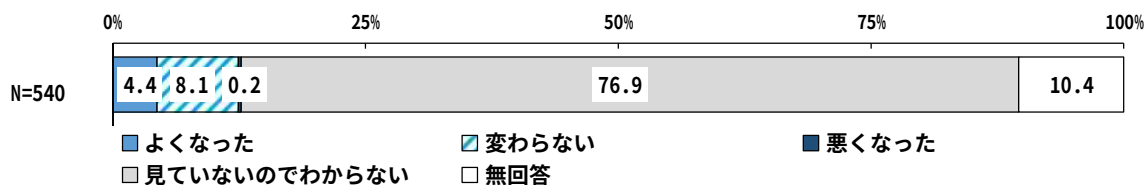
	調査数（人）	明るくなった	広くなった	きれいになった	見通しがよくなった	職員との距離感が近くなった	その他
全 体	25	44.0	20.0	40.0	28.0	20.0	0.0
性 別							
男 性	6	33.3	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0
女 性	11	45.5	27.3	36.4	18.2	36.4	0.0
年 代 別							
20 代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
30 代	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
40 代	3	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
50 代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
60 代	6	50.0	16.7	33.3	16.7	33.3	0.0
70 代以上	11	54.5	36.4	36.4	36.4	18.2	0.0
家族形成期別							
“就学前家族”	7	28.6	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0
“就学中家族”	2	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0
“就学後家族”	14	57.1	28.6	42.9	21.4	28.6	0.0
居住地区別							
東 地 区	9	55.6	44.4	22.2	33.3	22.2	0.0
西 地 区	7	42.9	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0
富岡地区(全体)	5	40.0	0.0	40.0	60.0	20.0	0.0
富岡地区(企業団地)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
富岡地区(千福が丘)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
須山地区	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
深良地区	4	25.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

(7) 各フロアの改善について ③ 3階

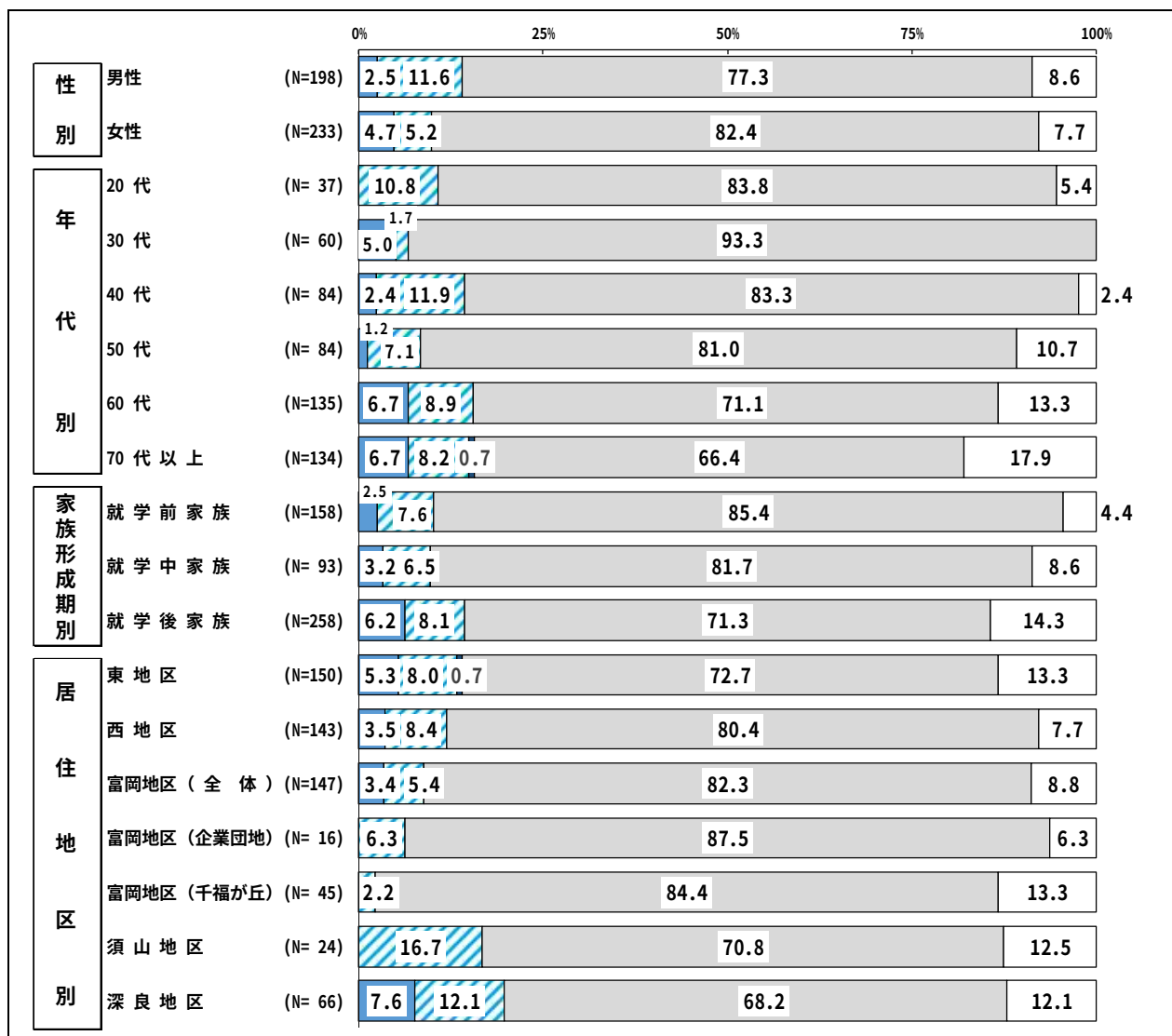
「よくなった」は4.4%だった。

よくなった点は、「明るくなった」54.2%が最も多く、半数を超えた。以下、「職員との距離感が近くなった」37.5%、「きれいになった」29.2%、「見通しが良くなった」25.0%と続いた。

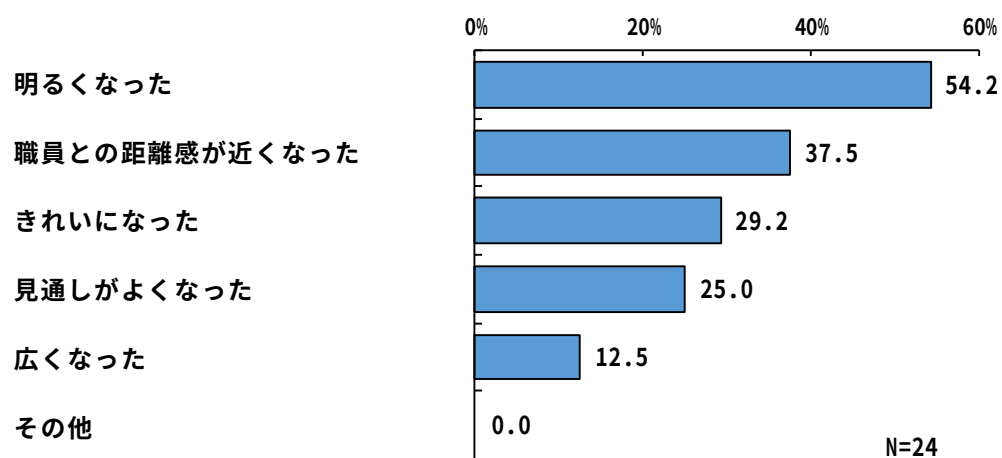
問7：3階のフロアについて、あなたはどのように感じられましたか。（単一回答）



【クロス集計】



問7：3階のよくなった点（複数回答可）



【クロス集計】

単位：%

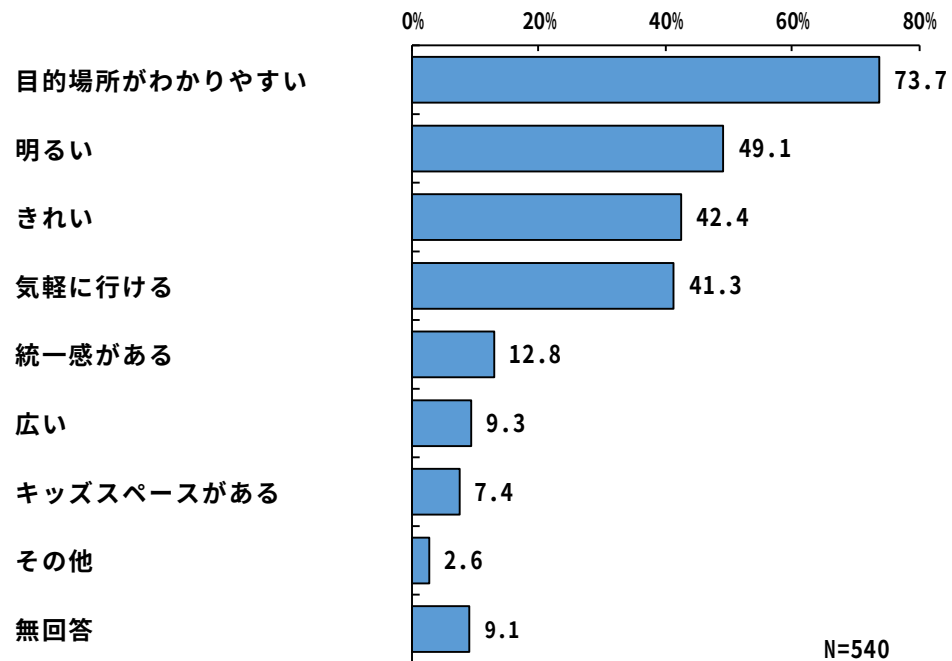
	調査数（人）	明るくなった	広くなった	きれいになった	見通しがよくなった	職員との距離感が近くなった	その他
全 体	24	54.2	12.5	29.2	25.0	37.5	0.0
性 別							
男 性	5	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0
女 性	11	54.5	27.3	27.3	27.3	36.4	0.0
年 代 別							
20 代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30 代	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
40 代	2	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0
50 代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
60 代	9	44.4	11.1	11.1	33.3	44.4	0.0
70 代 以上	9	66.7	22.2	33.3	22.2	33.3	0.0
家 族 形 成 期 別							
“就学前家族”	4	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
“就学中家族”	3	66.7	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0
“就学後家族”	16	56.3	12.5	25.0	25.0	43.8	0.0
居 住 地 区 別							
東 地 区	8	62.5	37.5	37.5	25.0	37.5	0.0
西 地 区	5	60.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0
富岡地区(全体)	5	60.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0
富岡地区(企業団地)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
富岡地区(千福が丘)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
須山地区	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
深良地区	5	40.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0

(8) 理想的だと思われるフロア

「目的場所がわかりやすい」73.7%が最も多く、7割を超えた。以下「明るい」49.1%、「きれい」42.4%、「気軽に行ける」41.3%と続いた。

年代別で見ると、全ての年代で「目的場所がわかりやすい」が最も多かった。2番目に多かった項目は、20代～50代は「明るい」や「きれい」といった、見た目を重視した回答であったのに対し、60代・70代以上は「気軽に行ける」だった。

問8：どのようなフロアが理想的だと思いますか。（複数回答可）



【クロス集計】

単位：％

	調査数（人）	明るい	広い	きれい	目的場所がわかりやすい	統一感がある	キッズスペースがある	気軽に行ける	その他	無回答
全 体	540	49.1	9.3	42.4	73.7	12.8	7.4	41.3	2.6	9.1
性 別										
男 性	198	48.0	10.1	40.4	73.7	16.2	6.6	38.4	4.0	6.6
女 性	233	52.8	10.7	49.4	78.1	10.3	8.6	44.2	1.7	6.9
年 代 別										
20 代	37	45.9	13.5	62.2	78.4	10.8	18.9	21.6	5.4	2.7
30 代	60	56.7	11.7	50.0	83.3	15.0	16.7	40.0	1.7	0.0
40 代	84	53.6	10.7	56.0	79.8	9.5	9.5	40.5	2.4	2.4
50 代	84	52.4	11.9	52.4	79.8	17.9	4.8	29.8	3.6	4.8
60 代	135	49.6	7.4	38.5	74.1	12.6	5.2	51.9	1.5	8.1
70 代以上	134	41.0	6.7	23.1	59.7	11.2	3.0	44.8	3.0	23.1
家 族 形 成 期 別										
“就学前家族”	158	51.3	11.4	53.8	77.8	12.0	12.7	32.3	2.5	2.5
“就学中家族”	93	50.5	10.8	53.8	81.7	10.8	4.3	38.7	2.2	7.5
“就学後家族”	258	48.8	8.5	32.9	69.0	13.2	5.8	48.8	3.1	12.0
居 住 地 区 別										
東 地 区	150	52.0	12.0	44.0	74.7	11.3	8.0	42.0	2.7	8.7
西 地 区	143	51.7	8.4	41.3	70.6	10.5	7.0	44.1	2.8	9.8
富岡地区(全体)	147	51.0	7.5	46.3	81.6	15.0	10.2	42.2	1.4	6.8
富岡地区(企業団地)	16	43.8	12.5	50.0	75.0	12.5	25.0	31.3	0.0	0.0
富岡地区(千福が丘)	45	51.1	4.4	60.0	86.7	11.1	6.7	44.4	2.2	6.7
須山地区	24	41.7	4.2	33.3	62.5	8.3	0.0	37.5	4.2	12.5
深良地区	66	36.4	9.1	36.4	65.2	16.7	4.5	33.3	4.5	12.1

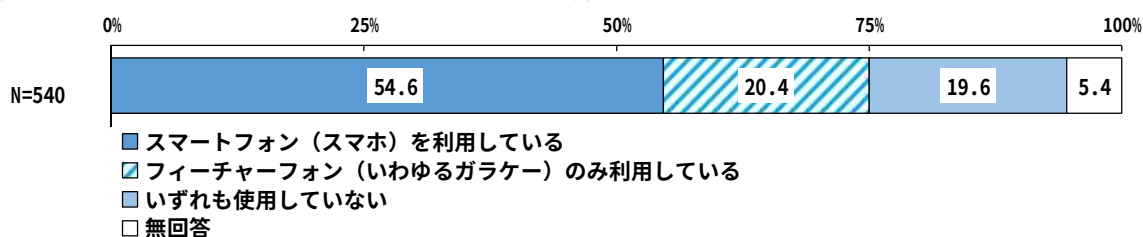
スマートフォン（スマホ）について

（９）スマートフォン（スマホ）の利用について

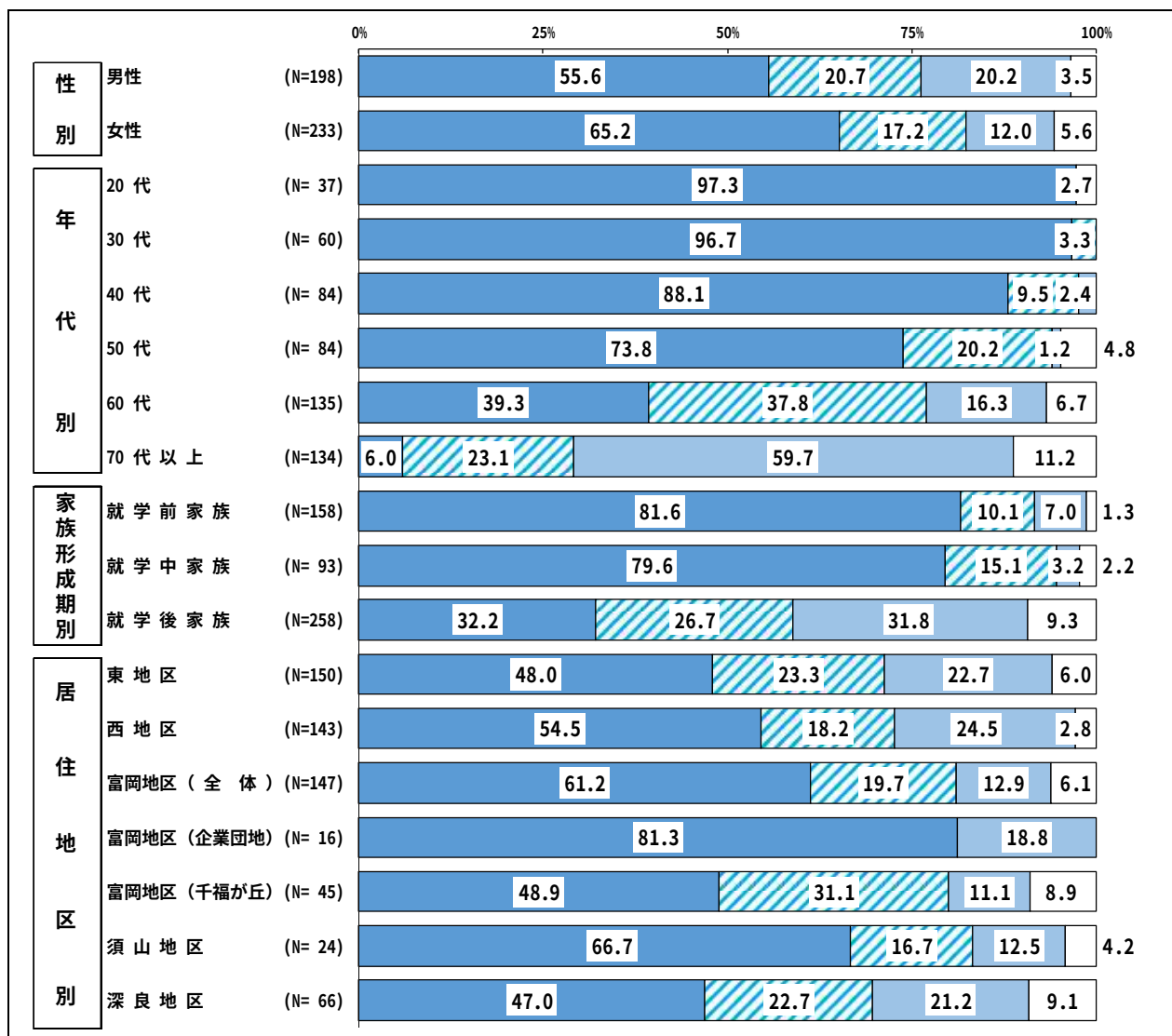
「スマートフォン（スマホ）を利用している」54.6%が最も多く、約半数を占めた。以下、「フィーチャーフォン（いわゆるガラケー）のみ利用している」20.4%、「いずれも使用していない」19.6%と続いた。

年代別で見ると、年代が上がるごとに、「スマートフォン（スマホ）を利用している」が減少しており、20代・30代は95%以上が「スマートフォン（スマホ）を利用している」だったのに対し、60代は39.3%、70代以上は6.0%にとどまっている。

問9：あなたはスマートフォン（スマホ）を利用していますか。（単一回答）



【クロス集計】



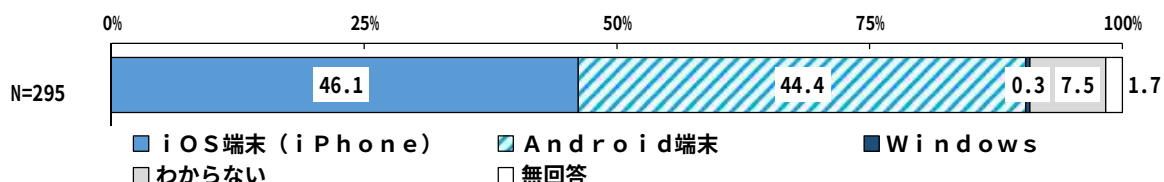
(10) 主に使用しているスマートフォン（スマホ）について

「iOS端末（iPhone）」46.1%と、「Android端末」44.4%が、共に4割を占めた。

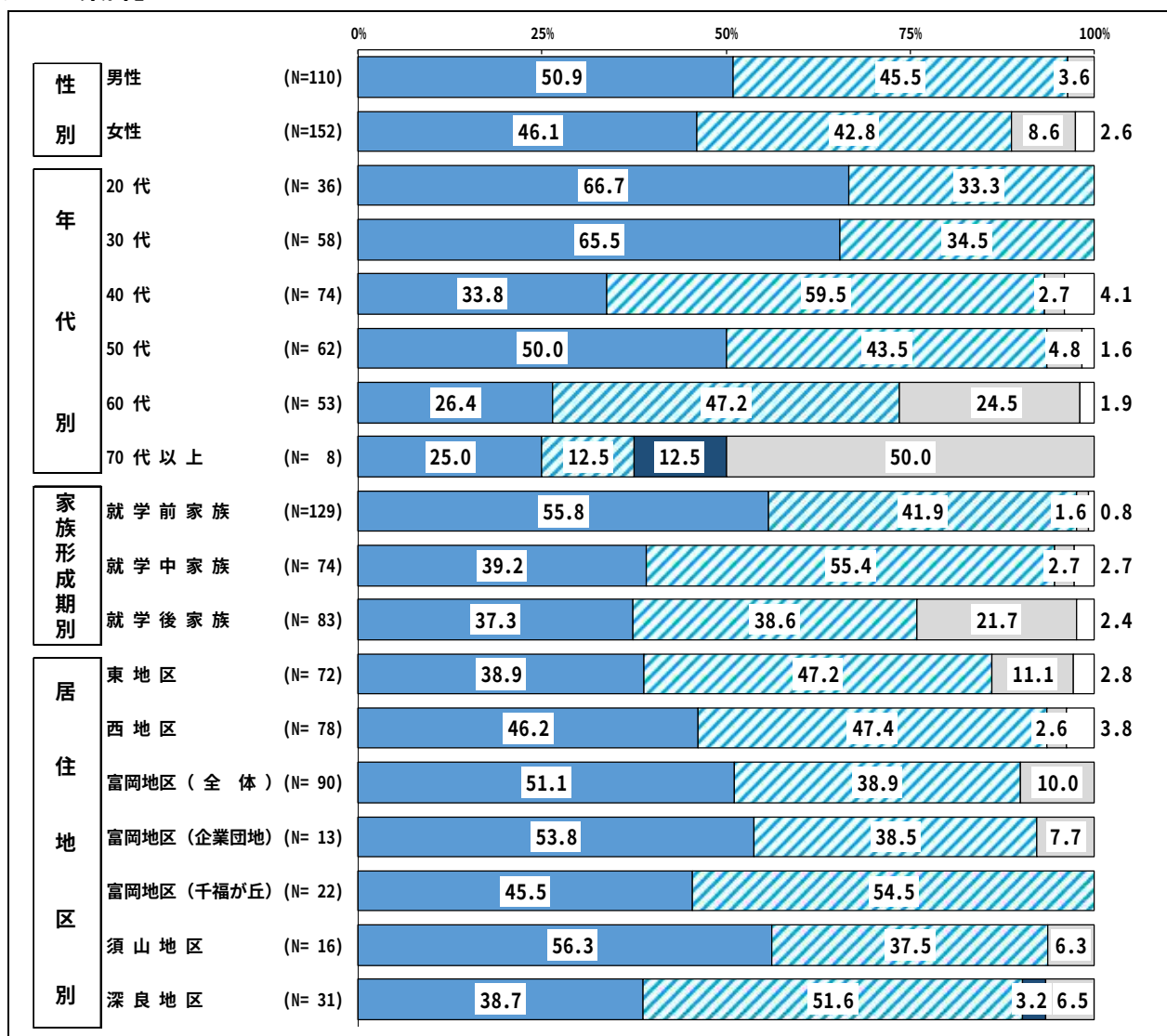
年代別で見ると、20代・30代では「iOS端末（iPhone）」が6割を超え、年代が上がるごとに、「iOS端末（iPhone）」が減少している。

問10：【問9で「スマートフォン（スマホ）を利用している」を選んだ方】

あなたが主に使用しているスマホは以下のどれに当てはまりますか。（単一回答）



【クロス集計】



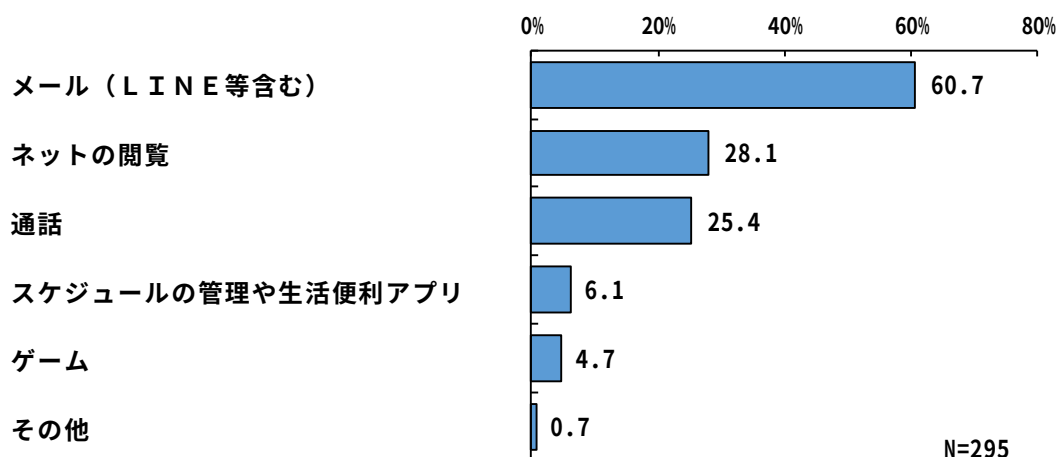
(11) スマートフォン（スマホ）の主な使用目的について

「メール（LINE等を含む）」60.7%が最も多かった。以下、「ネットの閲覧」28.1%、「通話」25.4%と続いている。

年代別で見ると、全ての年代で「メール（LINE等を含む）」が最も多かった。2番目に多い項目は、20代～40代は「ネットの閲覧」なのに対し、50代～70代以上は「通話」だった。

問 11：【問 9 で「スマートフォン（スマホ）を利用している」を選んだ方】

あなたの主な使用目的は何ですか。（複数回答可）



【クロス集計】

単位：%

	調査数（人）	通話	メール（LINE等含む）	ゲーム	ネットの閲覧	スケジュール管理や生活便利アプリ	その他
全 体	295	25.4	60.7	4.7	28.1	6.1	0.7
性 別							
男 性	110	26.4	47.3	7.3	34.5	7.3	0.9
女 性	152	20.4	70.4	2.0	23.7	4.6	0.7
年 代 別							
20 代	36	13.9	72.2	5.6	27.8	2.8	5.6
30 代	58	20.7	60.3	8.6	44.8	6.9	0.0
40 代	74	23.0	56.8	6.8	28.4	4.1	0.0
50 代	62	22.6	61.3	1.6	19.4	6.5	0.0
60 代	53	41.5	54.7	1.9	22.6	7.5	0.0
70 代 以上	8	62.5	75.0	0.0	12.5	25.0	0.0
家 族 形 成 期 別							
“就学前家族”	129	25.6	53.5	4.7	34.9	6.2	1.6
“就学中家族”	74	18.9	73.0	8.1	23.0	1.4	0.0
“就学後家族”	83	31.3	60.2	2.4	22.9	9.6	0.0
居 住 地 区 別							
東 地 区	72	27.8	61.1	2.8	29.2	5.6	1.4
西 地 区	78	20.5	64.1	1.3	30.8	2.6	0.0
富 岡 地 区（全 体）	90	23.3	61.1	8.9	25.6	6.7	1.1
富 岡 地 区（企 業 団 地）	13	7.7	84.6	0.0	23.1	0.0	0.0
富 岡 地 区（千 福 が 丘）	22	18.2	54.5	9.1	36.4	9.1	0.0
須 山 地 区	16	31.3	37.5	12.5	43.8	12.5	0.0
深 良 地 区	31	32.3	61.3	3.2	25.8	12.9	0.0

※問 11 は、調査票では単一回答の設問として出題したが、複数回答をした回答者が多かったため、回答をそのまま反映させて集計した。

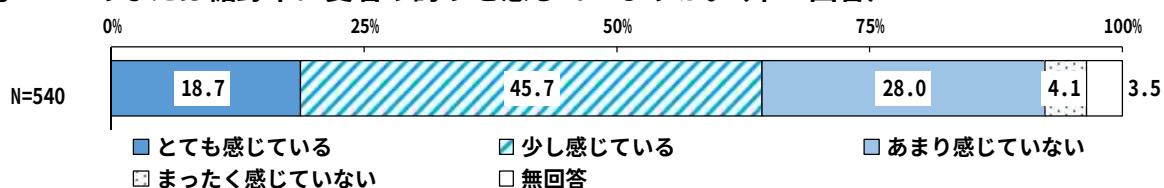
裾野市へのシビックプライド（郷土愛）について

（１２）裾野市への愛着や誇りについて

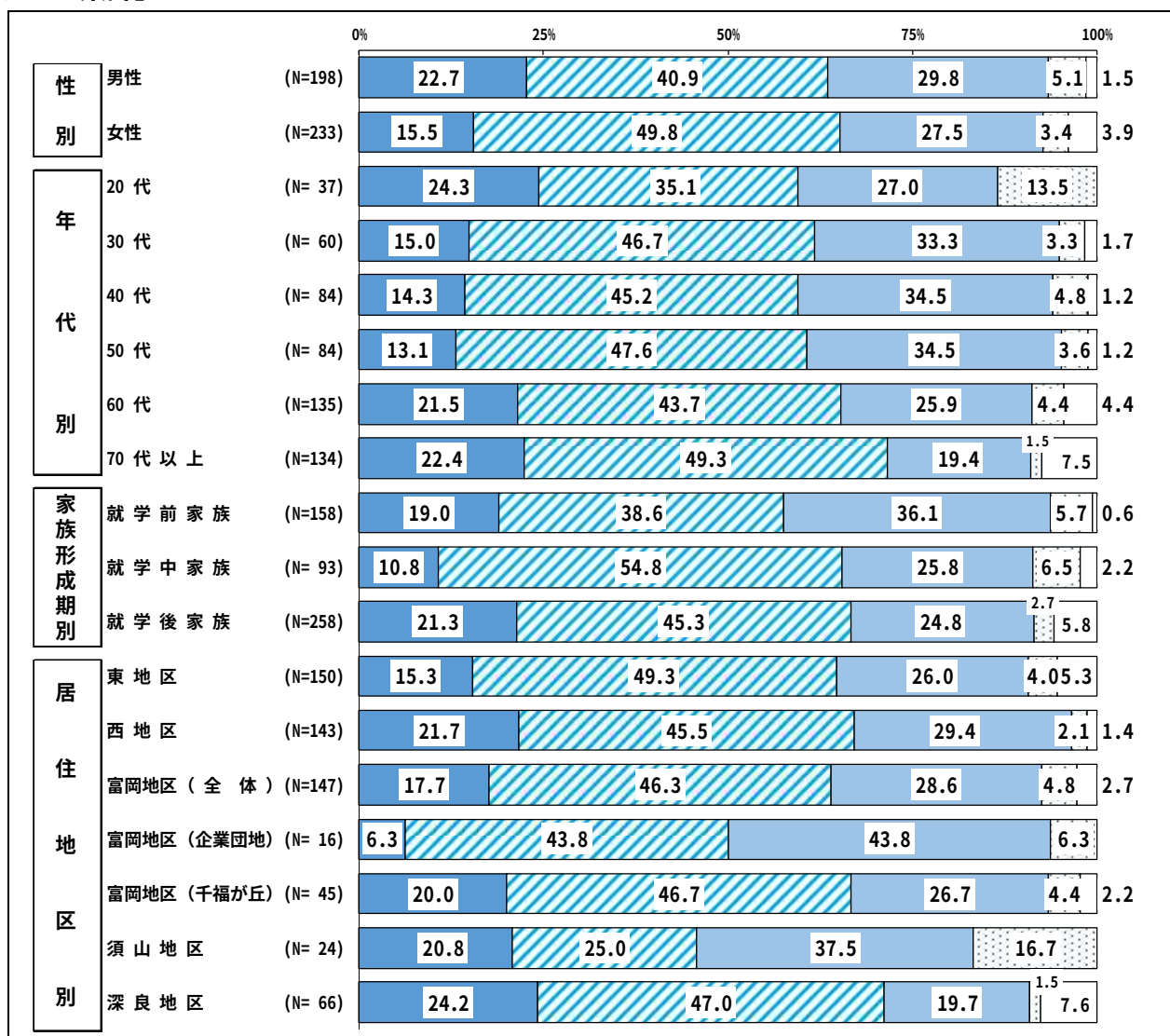
「とても感じている」18.7%と「少し感じている」45.7%を合計した“感じている”は64.4%だった。「あまり感じていない」28.0%と「まったく感じていない」4.1%を合計した“感じていない”は32.1%で、“感じている”は“感じていない”の約2倍となった。

家族形成期別で見ると、“就学前家族”から“就学後家族”にかけて、“感じている”が多くなっている。

問 12：あなたは裾野市に愛着や誇りを感じていますか。（単一回答）



【クロス集計】



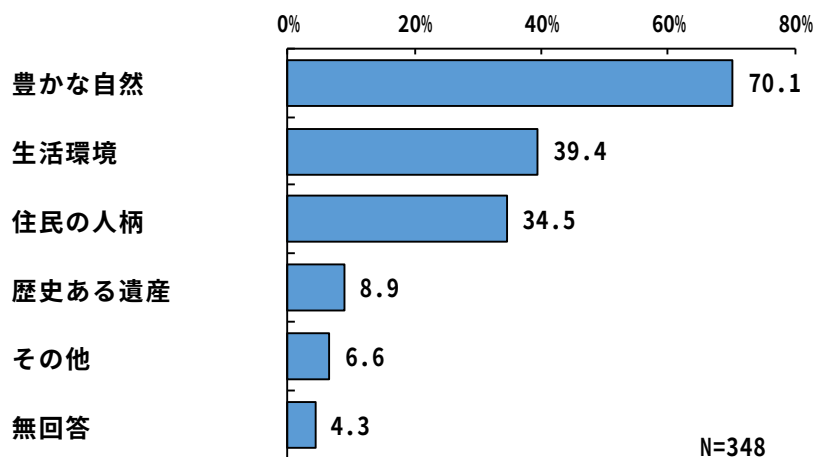
(13) 裾野市の愛着や誇りを感じるところについて

「豊かな自然」70.1%が最も多く、7割を超えた。以下、「生活環境」39.4%、「住民の人柄」34.5%と続いた。

クロス集計結果を見ても、「富岡地区（企業団地）」を除く全ての分析軸の分類で、「豊かな自然」が最も多いという結果になった。

問 13：【問 12 で「とても感じている」「少し感じている」を選んだ方】

あなたは裾野市のどのようなところに愛着や誇りを感じていますか。（複数回答可）



【クロス集計】

単位：%

	調査数 (人)	生活 環境	住民 の人 柄	豊 か な 自 然	歴 史 あ る 遺 産	そ の 他	無 回 答
全 体	348	39.4	34.5	70.1	8.9	6.6	4.3
性 別							
男 性	126	39.7	31.7	72.2	6.3	5.6	4.8
女 性	152	42.8	37.5	67.8	9.9	7.2	3.3
年 代 別							
20 代	22	40.9	31.8	59.1	4.5	9.1	0.0
30 代	37	54.1	18.9	67.6	2.7	8.1	0.0
40 代	50	38.0	36.0	70.0	6.0	6.0	0.0
50 代	51	41.2	41.2	68.6	7.8	7.8	2.0
60 代	88	30.7	38.6	75.0	14.8	5.7	9.1
70 代 以上	96	42.7	33.3	70.8	9.4	4.2	6.3
家族形成期別							
“就学前家族”	91	41.8	29.7	65.9	4.4	6.6	2.2
“就学中家族”	61	41.0	37.7	63.9	8.2	6.6	3.3
“就学後家族”	172	38.4	37.8	73.3	11.6	6.4	6.4
居住地区別							
東 地 区	97	46.4	34.0	64.9	9.3	6.2	3.1
西 地 区	96	42.7	31.3	66.7	13.5	7.3	6.3
富岡地区(全体)	94	27.7	42.6	74.5	2.1	7.4	4.3
富岡地区(企業団地)	8	37.5	62.5	50.0	12.5	0.0	0.0
富岡地区(千福が丘)	30	20.0	30.0	66.7	0.0	16.7	13.3
須山地区	11	18.2	36.4	72.7	9.1	9.1	9.1
深良地区	47	48.9	25.5	76.6	12.8	4.3	2.1

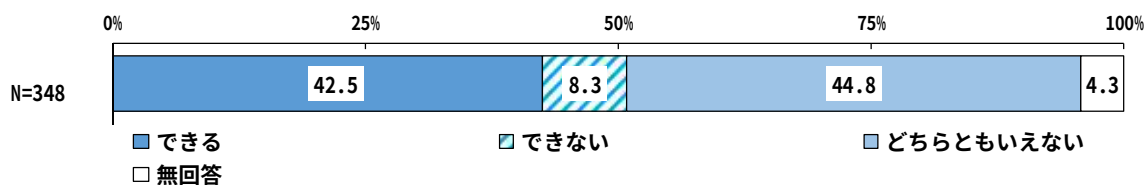
(14) 裾野市の愛着や誇りを感じる所を市外の人に PR できるか

「どちらともいえない」44.8%と、「できる」42.5%が多く、共に4割を占めた。

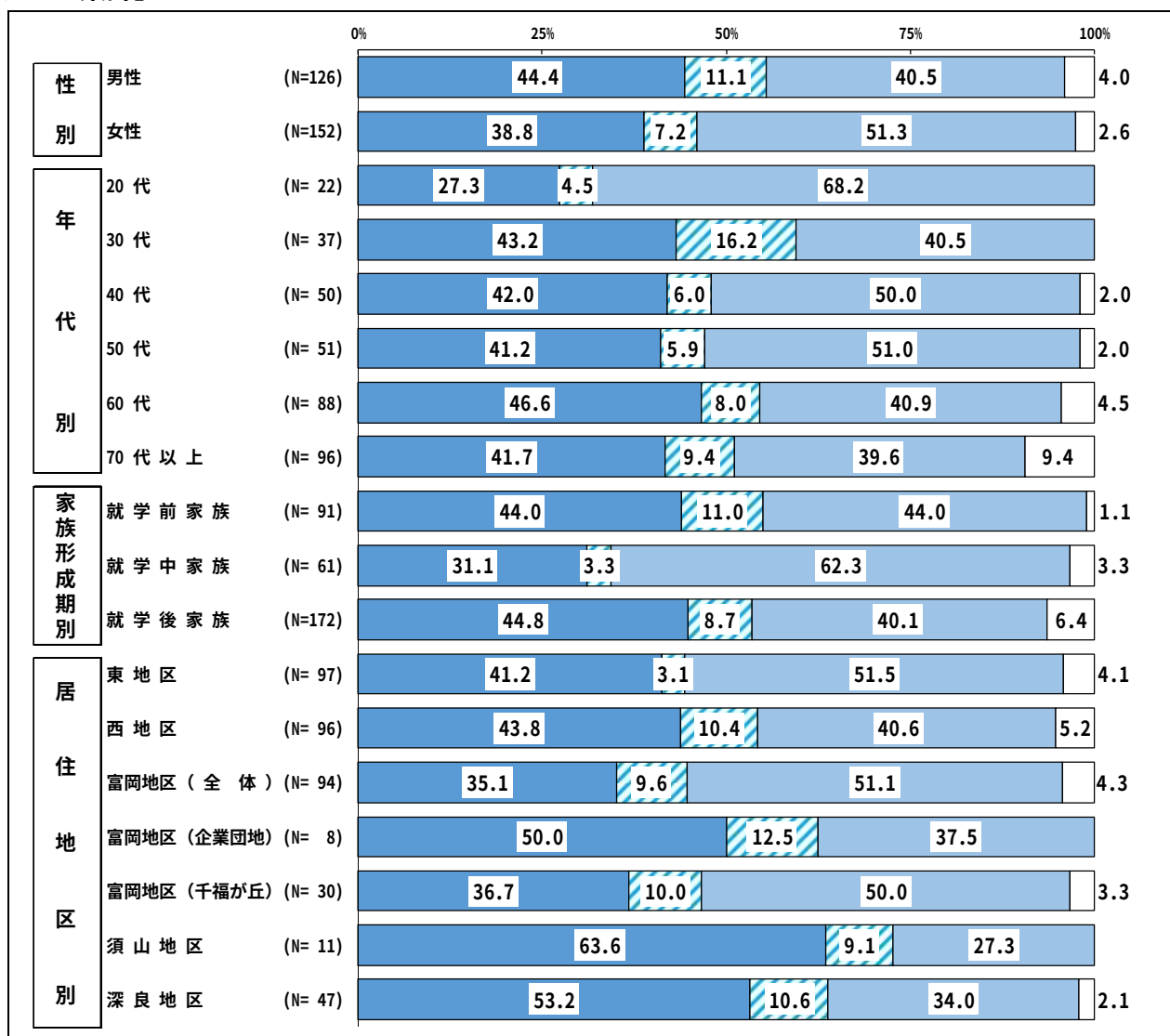
年代別で見ると、30代～70代以上の方は「できる」が4割を占めたのに対し、20代は他の年代よりも少なくなっている。

問 14：【問 12 で「とても感じている」「少し感じている」を選んだ方】

問 13 で選んだ項目を市外の方に PR できますか。(単一回答)



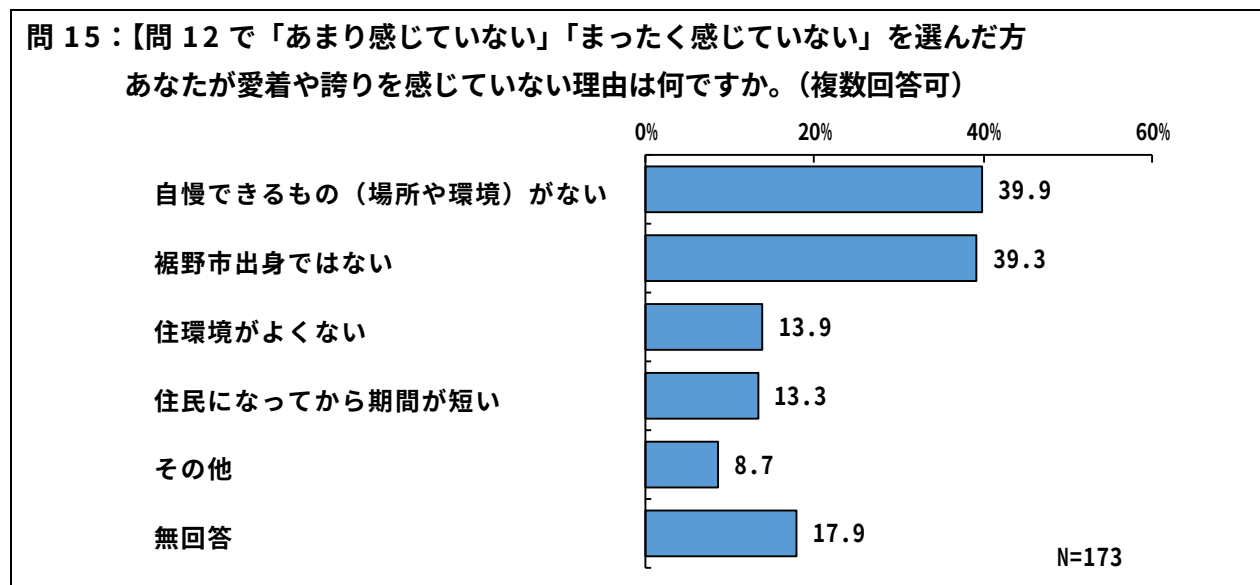
【クロス集計】



(15) 裾野市に愛着や誇りを感じていない理由について

「自慢できるもの（場所や環境がない）」39.9%と、「裾野市出身ではない」39.3%が多く、以下、「住環境がよいくない」13.9%、「住民になってから期間が短い」13.3%と続いた。

家族形成期別で見ると、“就学前家族”と“就学中家族”は「裾野市出身ではない」が半数を超えて最も多いが、“就学後家族”は「自慢できるもの（場所や環境）がない」が最も多かった。



【クロス集計】

単位：%

	調査数（人）	裾野市出身ではない	間住民が短くなってから期間	所自慢できるものがない（場所や環境）	住環境がよいくない	その他	無回答
全 体	173	39.3	13.3	39.9	13.9	8.7	17.9
性 別							
男 性	69	44.9	10.1	40.6	18.8	7.2	14.5
女 性	72	44.4	18.1	38.9	12.5	9.7	12.5
年 代 別							
20 代	15	40.0	33.3	46.7	13.3	6.7	13.3
30 代	22	54.5	27.3	18.2	4.5	13.6	18.2
40 代	33	54.5	9.1	27.3	15.2	6.1	12.1
50 代	32	46.9	12.5	53.1	18.8	3.1	9.4
60 代	41	29.3	7.3	41.5	17.1	14.6	19.5
70 代以上	28	17.9	7.1	46.4	7.1	3.6	35.7
家族形成期別							
“就学前家族”	66	54.5	25.8	37.9	13.6	6.1	10.6
“就学中家族”	30	56.7	6.7	33.3	10.0	10.0	10.0
“就学後家族”	71	21.1	5.6	42.3	15.5	11.3	28.2
居住地区別							
東地区	45	28.9	11.1	46.7	17.8	4.4	20.0
西地区	45	42.2	13.3	42.2	8.9	11.1	15.6
富岡地区（全体）	49	36.7	8.2	38.8	16.3	8.2	20.4
富岡地区（企業団地）	8	50.0	12.5	25.0	12.5	0.0	25.0
富岡地区（千福が丘）	14	42.9	7.1	50.0	21.4	0.0	7.1
須山地区	13	46.2	15.4	30.8	0.0	15.4	15.4
深良地区	14	50.0	14.3	21.4	21.4	14.3	21.4

(16) 裾野市に愛着や誇りを持つために、満足度を上げるべき点について

「生活環境（商業施設・交通の便等）の充実」74.6%が最も多く、7割を超えた。以下、「福祉（子育てや障がい者・高齢者）の充実」32.9%、「働く場の充実」28.9%、「安全・安心な住環境」26.0%と続いた。

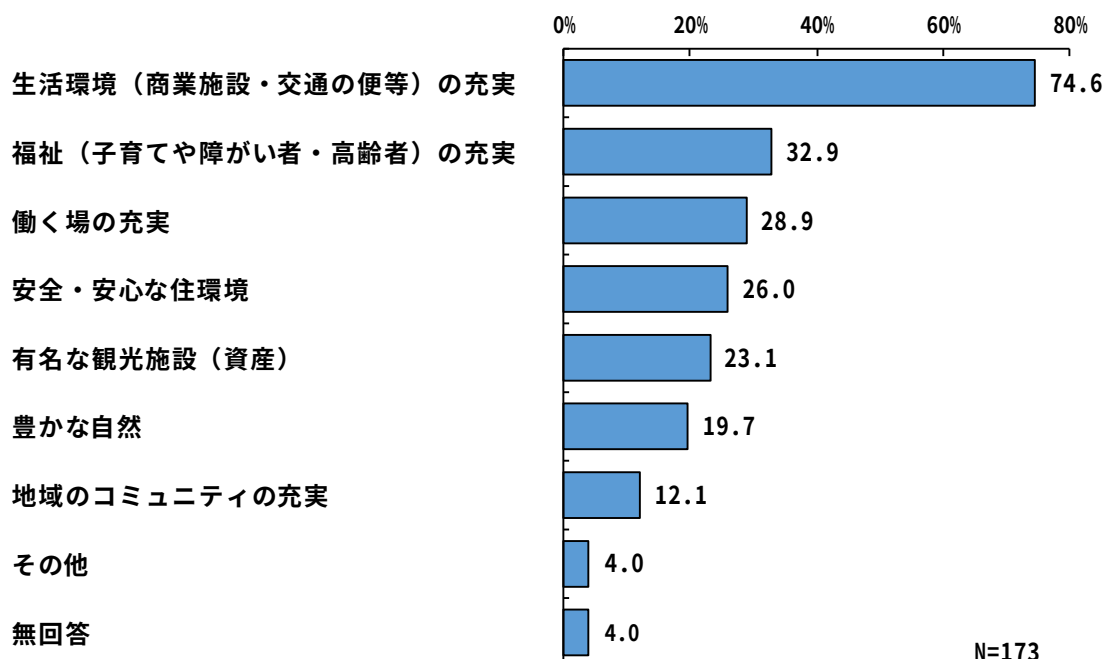
クロス集計を見ても、全ての分析軸の分類で、「生活環境（商業施設・交通の便等）の充実」が最も多いという結果になった。年代別で見ると、年代が上がるごとに、「生活環境（商業施設・交通の便等）の充実」が減少している。

家族形成期別で見ると、2番目に多かった項目は、“就学前家族”と“就学中家族”は「福祉（子育てや障がい者・高齢者）の充実」だったのに対し、“就学後家族”は「働く場の充実」と「安全・安心な住環境」だった。

問 16：【問 12 で「あまり感じていない」「まったく感じていない」を選んだ方】

あなたは裾野市の何の満足度が上がると、愛着や誇りを持てると思いますか。

（複数回答可）



N=173

【クロス集計】

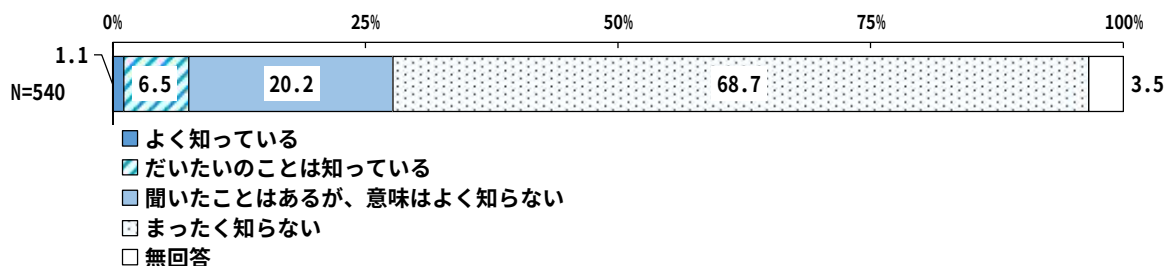
単位：％

	調査数（人）	生活環境（商業施設・交通の便等）の充実	地域のコミュニティの充実	有名な観光施設（資産）	働く場の充実	安全・安心な住環境	福祉（子育てや障がい者・高齢者）の充実	豊かな自然	その他	無回答
全 体	173	74.6	12.1	23.1	28.9	26.0	32.9	19.7	4.0	4.0
性 別										
男 性	69	75.4	14.5	31.9	23.2	30.4	29.0	20.3	2.9	1.4
女 性	72	81.9	12.5	15.3	30.6	26.4	37.5	15.3	2.8	1.4
年 代 別										
20 代	15	86.7	13.3	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	6.7	0.0
30 代	22	86.4	13.6	36.4	13.6	36.4	45.5	27.3	0.0	0.0
40 代	33	81.8	15.2	15.2	30.3	24.2	33.3	12.1	6.1	0.0
50 代	32	81.3	3.1	31.3	43.8	25.0	31.3	28.1	3.1	0.0
60 代	41	68.3	14.6	17.1	26.8	29.3	34.1	14.6	4.9	2.4
70 代 以上	28	53.6	14.3	25.0	14.3	17.9	14.3	17.9	3.6	21.4
家 族 形 成 期 別										
“就学前家族”	66	87.9	9.1	22.7	25.8	33.3	36.4	22.7	4.5	0.0
“就学中家族”	30	66.7	13.3	26.7	36.7	10.0	43.3	20.0	0.0	6.7
“就学後家族”	71	64.8	14.1	18.3	28.2	28.2	23.9	16.9	4.2	7.0
居 住 地 区 別										
東 地 区	45	68.9	15.6	22.2	26.7	28.9	35.6	24.4	2.2	4.4
西 地 区	45	73.3	11.1	15.6	15.6	28.9	35.6	15.6	8.9	4.4
富 岡 地 区 (全 体)	49	79.6	12.2	24.5	44.9	24.5	36.7	16.3	2.0	2.0
富 岡 地 区 (企 業 団 地)	8	75.0	12.5	37.5	12.5	37.5	50.0	25.0	0.0	0.0
富 岡 地 区 (千 福 が 丘)	14	71.4	0.0	21.4	57.1	21.4	35.7	14.3	0.0	7.1
須 山 地 区	13	69.2	7.7	30.8	15.4	7.7	15.4	23.1	0.0	7.7
深 良 地 区	14	78.6	7.1	42.9	14.3	21.4	7.1	21.4	7.1	7.1

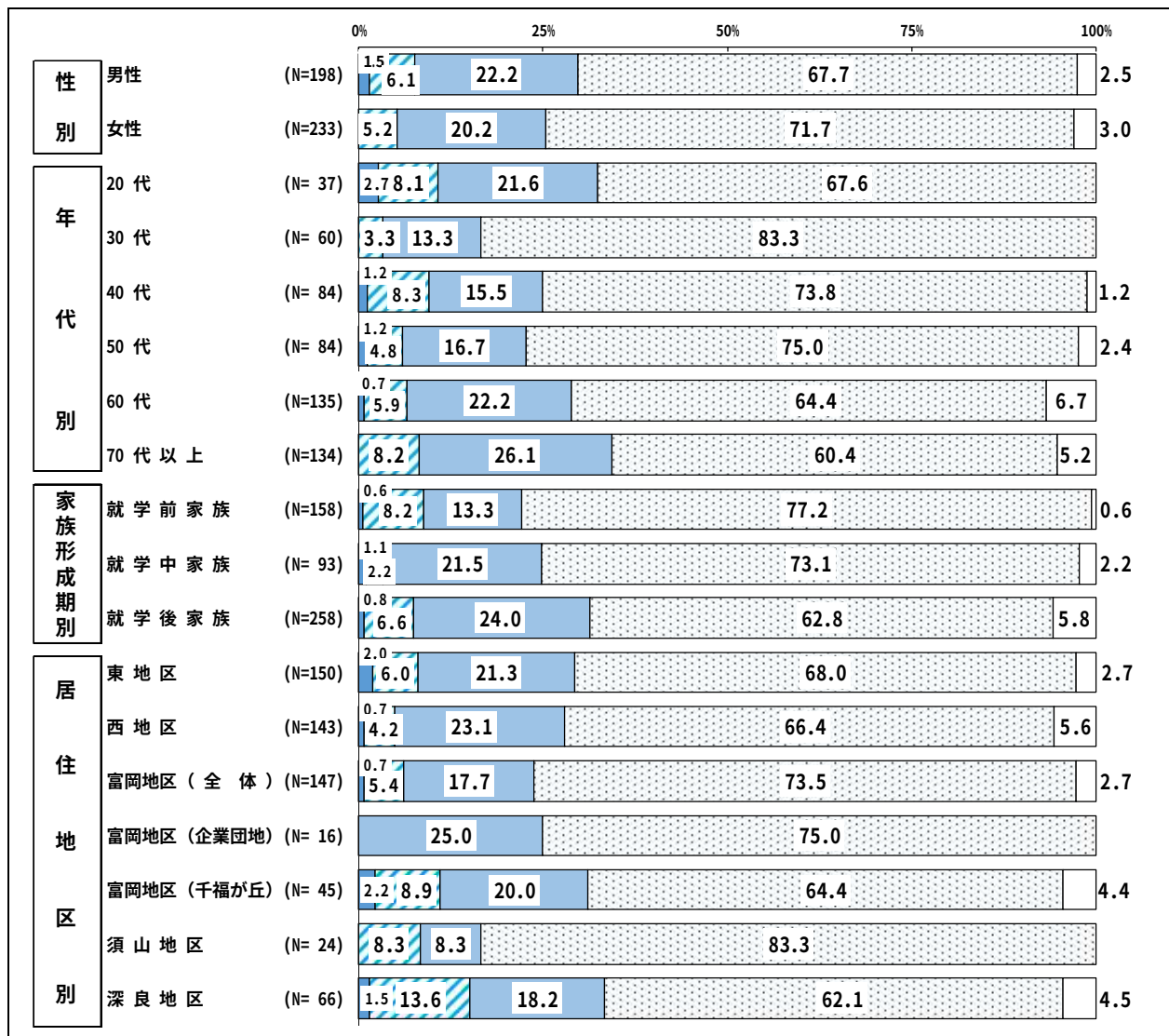
(17)「シビックプライド」という言葉を知っているか

「まったく知らない」68.7%が最も多く、3人に対し2人の割合となっている。「よく知っている」1.1%と「だいたいのことは知っている」6.5%を合計した“知っている”は7.6%にとどまった。
クロス集計の結果は、以下の図の通り。

問 17：あなたは「シビックプライド」という言葉を知っていますか。(単一回答)



【クロス集計】



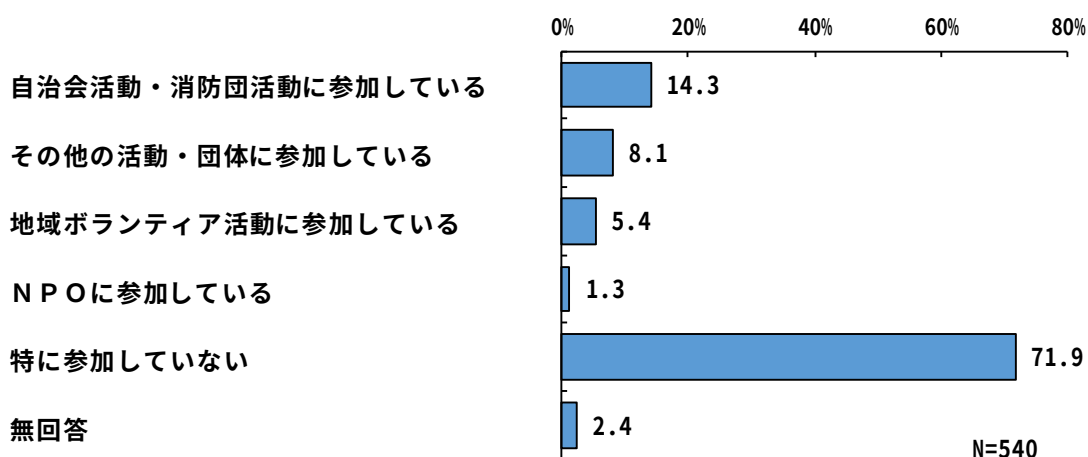
(18) 地域活動やNPO等の活動への参加について

「特に参加していない」71.9%が最も多く、以下、「自治会活動・消防団活動に参加している」14.3%、「その他の活動・団体に参加している」8.1%、「地域ボランティア活動に参加している」5.4%と続いた。

年代別で見ると、20代・30代は「特に参加していない」が、他の年代よりも多くなっている。

「その他の活動・団体に参加している」「地域ボランティア活動に参加している」「NPOに参加している」と回答した方が所属している活動・団体名は97～98ページを参照。

問 18：あなたは地域活動やNPO等の活動に参加していますか。(複数回答可)



【クロス集計】

単位：%

	調査数 (人)	自治会活動・消防団活動に参加している	地域ボランティア活動に参加している	NPOに参加している	その他の活動・団体に参加している	特に参加していない	無回答
全 体	540	14.3	5.4	1.3	8.1	71.9	2.4
性 別							
男 性	198	18.7	5.6	2.0	8.6	67.7	1.5
女 性	233	10.3	5.6	1.3	7.3	76.4	1.3
年 代 別							
20 代	37	5.4	2.7	0.0	2.7	89.2	0.0
30 代	60	8.3	1.7	3.3	0.0	86.7	0.0
40 代	84	19.0	6.0	1.2	7.1	67.9	2.4
50 代	84	19.0	6.0	2.4	8.3	69.0	1.2
60 代	135	19.3	5.9	1.5	11.9	65.9	1.5
70 代 以上	134	9.0	6.7	0.0	10.4	69.4	6.0
家 族 形 成 期 別							
“就学前家族”	158	9.5	2.5	1.9	2.5	84.2	0.0
“就学中家族”	93	19.4	7.5	3.2	14.0	61.3	2.2
“就学後家族”	258	16.7	5.8	0.4	10.1	67.4	3.5
居 住 地 区 別							
東 地 区	150	10.7	4.0	1.3	5.3	77.3	2.7
西 地 区	143	12.6	8.4	1.4	8.4	73.4	3.5
富 岡 地 区 (全 体)	147	17.7	5.4	0.0	10.2	67.3	1.4
富 岡 地 区 (企 業 団 地)	16	25.0	0.0	0.0	12.5	62.5	0.0
富 岡 地 区 (千 福 が 丘)	45	20.0	4.4	0.0	6.7	71.1	0.0
須 山 地 区	24	16.7	4.2	0.0	12.5	70.8	0.0
深 良 地 区	66	19.7	3.0	4.5	9.1	62.1	3.0

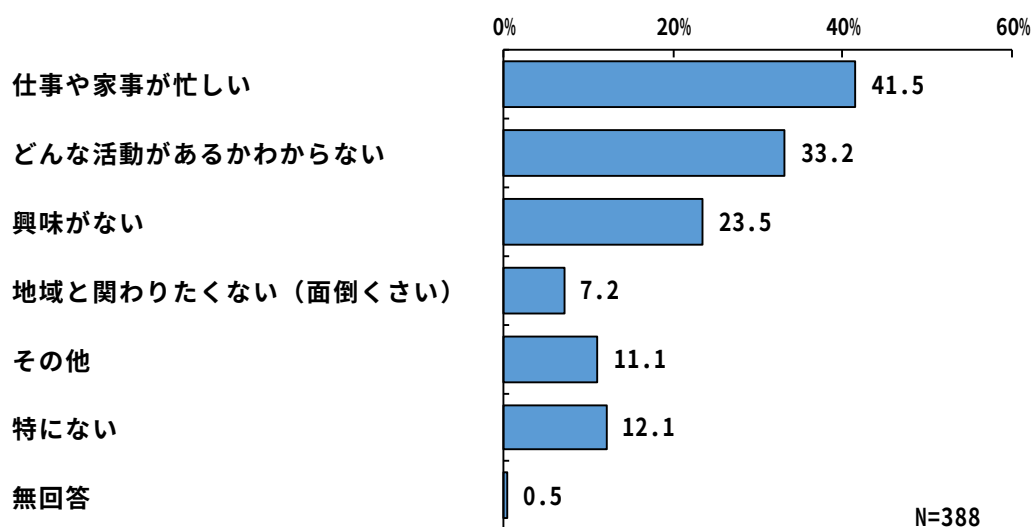
(19) 地域活動やNPO等の活動に参加していない理由について

「仕事や家事が忙しい」41.5%が最も多く、以下、「どんな活動があるかわからない」33.2%、「興味がない」23.5%と続いた。

性別で見ると、女性は男性と比較して、「どんな活動があるかわからない」が10%程度高かった。年代別で見ると、30代～60代は「仕事や家事が忙しい」が最も多かったのに対し、20代は「どんな活動があるかわからない」が最も多く、半数を超えた。

問19：【問18で「特に参加していない」を選んだ方】

参加していない（できない）理由は何ですか。（複数回答可）



【クロス集計】

単位：％

	調査数（人）	仕事や家事が忙しい	地域と関わりたくない（面倒くさい）	興味がない	どんな活動があるかわからない	その他	特にない	無回答
全 体	388	41.5	7.2	23.5	33.2	11.1	12.1	0.5
性 別								
男 性	134	43.3	6.7	25.4	29.1	10.4	15.7	0.7
女 性	178	41.6	7.9	21.9	40.4	7.9	11.8	0.6
年 代 別								
20 代	33	48.5	9.1	33.3	51.5	0.0	9.1	0.0
30 代	52	48.1	13.5	32.7	46.2	1.9	11.5	0.0
40 代	57	56.1	10.5	22.8	31.6	1.8	10.5	0.0
50 代	58	56.9	6.9	19.0	31.0	6.9	6.9	1.7
60 代	89	37.1	4.5	22.5	36.0	10.1	13.5	0.0
70 代以上	93	20.4	4.3	19.4	20.4	29.0	16.1	1.1
家 族 形 成 期 別								
“就学前家族”	133	47.4	12.8	32.3	39.1	4.5	9.8	0.0
“就学中家族”	57	52.6	3.5	15.8	36.8	5.3	8.8	0.0
“就学後家族”	174	33.3	4.0	20.1	26.4	18.4	15.5	1.1
居 住 地 区 別								
東 地 区	116	40.5	6.0	23.3	28.4	10.3	14.7	0.9
西 地 区	105	35.2	5.7	21.0	37.1	13.3	12.4	1.0
富岡地区（全体）	99	46.5	9.1	23.2	35.4	11.1	12.1	0.0
富岡地区（企業団地）	10	40.0	0.0	30.0	20.0	0.0	40.0	0.0
富岡地区（千福が丘）	32	46.9	6.3	15.6	31.3	18.8	3.1	0.0
須山地区	17	52.9	11.8	41.2	17.6	17.6	5.9	0.0
深良地区	41	36.6	4.9	19.5	36.6	7.3	9.8	0.0

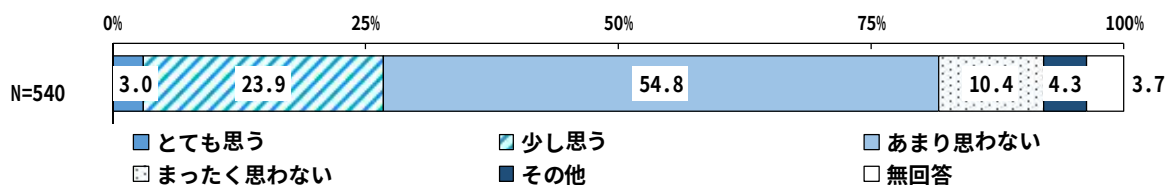
(20)「まちづくり」に参加したいか

「とても思う」3.0%と、「少し思う」23.9%を合計した“思う”は26.9%だった。一方、「あまり思わない」54.8%と「まったく思わない」10.4%を合計した“思わない”は65.2%だった。

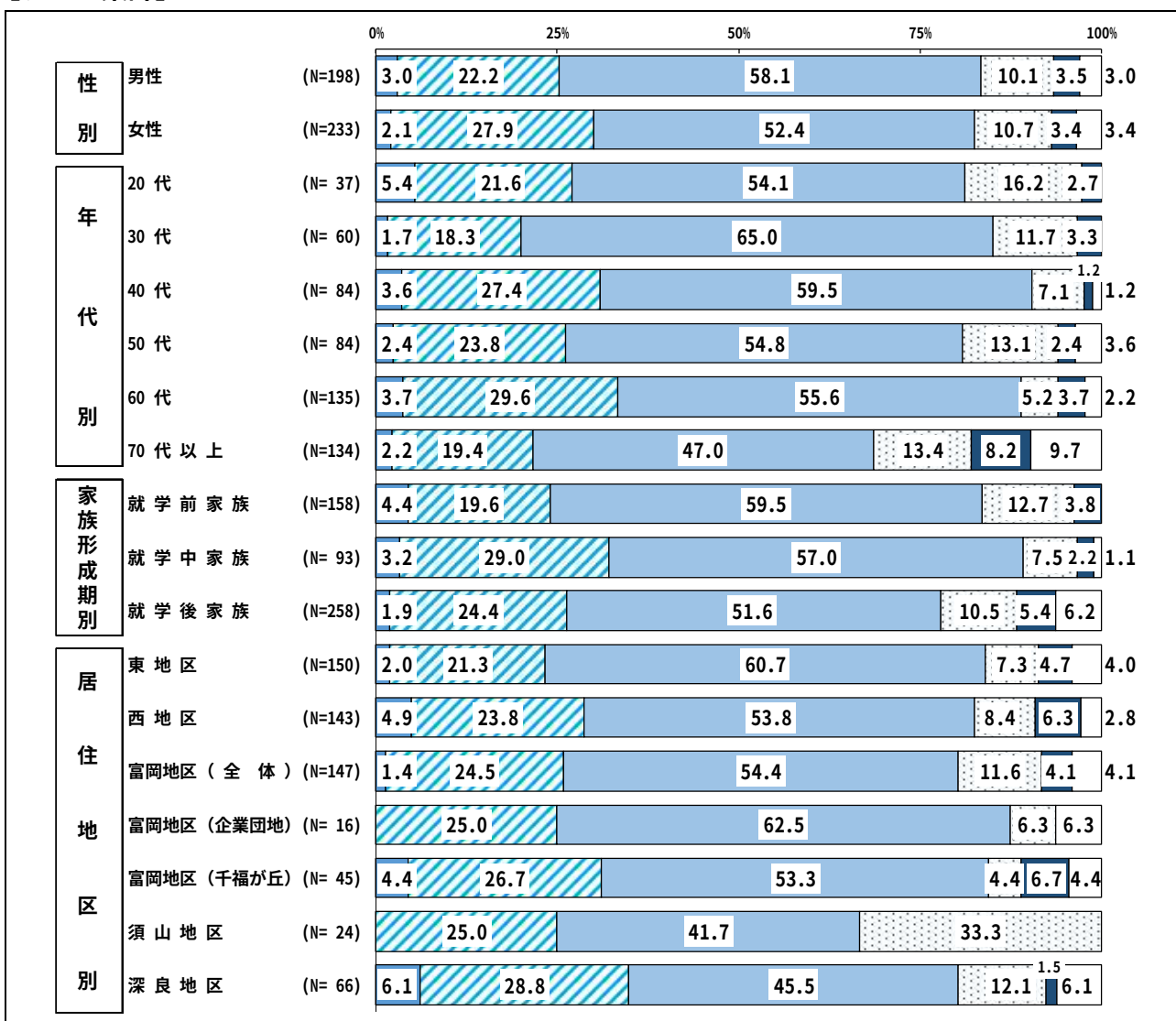
年代別で見ると、“思う”が最も多いのは60代だった。一方、最も少なかったのは30代だった。

問 20：あなたは市民自らが行動する「まちづくり」に参加したいと思いますか。

(単一回答)



【クロス集計】



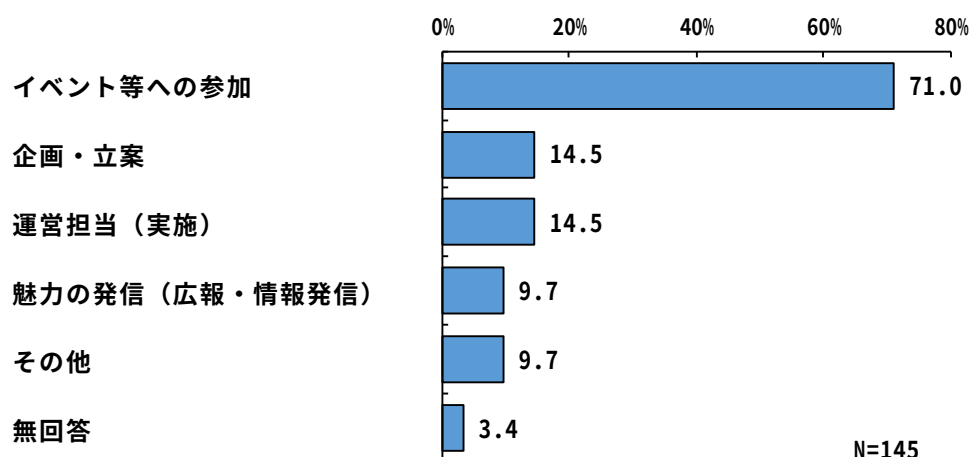
(21) どのような形で「まちづくり」に参加したいか

「イベント等への参加」71.0%が最も多く、7割を超えた。以下、「企画・立案」14.5%、「運営担当（実施）」14.5%、「魅力の発信（広報・情報発信）」9.7%と続いた。

クロス集計を見ても、全ての分析軸の分類で、「イベント等への参加」が最も多いという結果になった。性別で見ると、2番目に多かった項目は、男性は「企画・立案」であるのに対し、女性は「魅力の発信（広報・情報発信）」だった。

問 21：【問 20 で「とても思う」「少し思う」を選んだ方】

どのような形で参加したいと考えますか。（複数回答可）



【クロス集計】

単位：%

	調査数（人）	企画・立案	運営担当（実施）	魅力の発信（広報・情報発信）	イベント等への参加	その他	無回答
全 体	145	14.5	14.5	9.7	71.0	9.7	3.4
性 別							
男 性	50	24.0	22.0	4.0	70.0	8.0	0.0
女 性	70	7.1	7.1	11.4	74.3	11.4	4.3
年 代 別							
20 代	10	30.0	20.0	10.0	70.0	0.0	0.0
30 代	12	8.3	8.3	8.3	83.3	8.3	0.0
40 代	26	19.2	11.5	7.7	80.8	7.7	0.0
50 代	22	22.7	4.5	0.0	72.7	13.6	4.5
60 代	45	15.6	22.2	11.1	68.9	8.9	2.2
70 代以上	29	0.0	10.3	17.2	58.6	13.8	10.3
家 族 形 成 期 別							
“就学前家族”	38	23.7	15.8	7.9	68.4	7.9	2.6
“就学中家族”	30	16.7	20.0	3.3	80.0	6.7	3.3
“就学後家族”	68	8.8	11.8	11.8	66.2	13.2	4.4
居 住 地 区 別							
東 地 区	35	2.9	5.7	11.4	68.6	17.1	5.7
西 地 区	41	17.1	19.5	7.3	68.3	14.6	4.9
富岡地区（全体）	38	13.2	15.8	7.9	73.7	5.3	2.6
富岡地区（企業団地）	4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
富岡地区（千福が丘）	14	14.3	14.3	0.0	85.7	14.3	0.0
須山地区	6	66.7	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0
深良地区	23	17.4	13.0	13.0	73.9	0.0	0.0

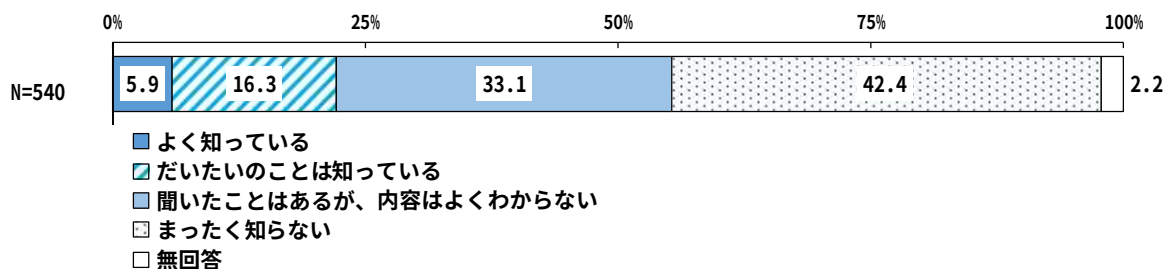
市民協働によるまちづくりについて

(22)「協働」という言葉を知っているか

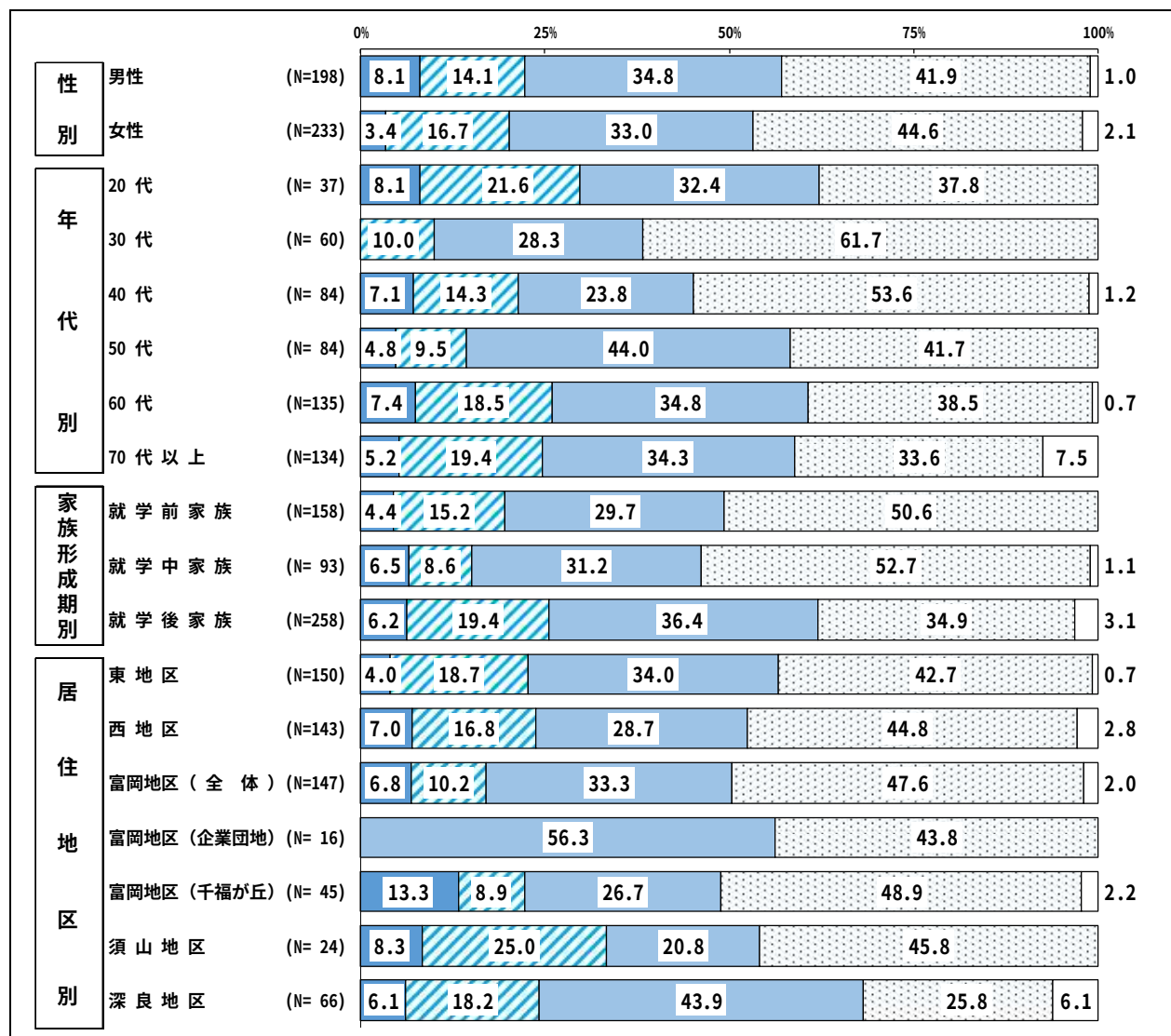
「よく知っている」5.9%と、「だいたいのことは知っている」16.3%を合計した“知っている”は22.2%だった。一方、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」33.1%と、「まったく知らない」42.4%を合計した“知らない”は75.5%だった。

年代別で見ると、“知っている”が最も多かったのは、20代だった。一方、最も少なかったのは30代だった。

問 22：あなたは「協働」という言葉を知っていますか。(単一回答)



【クロス集計】

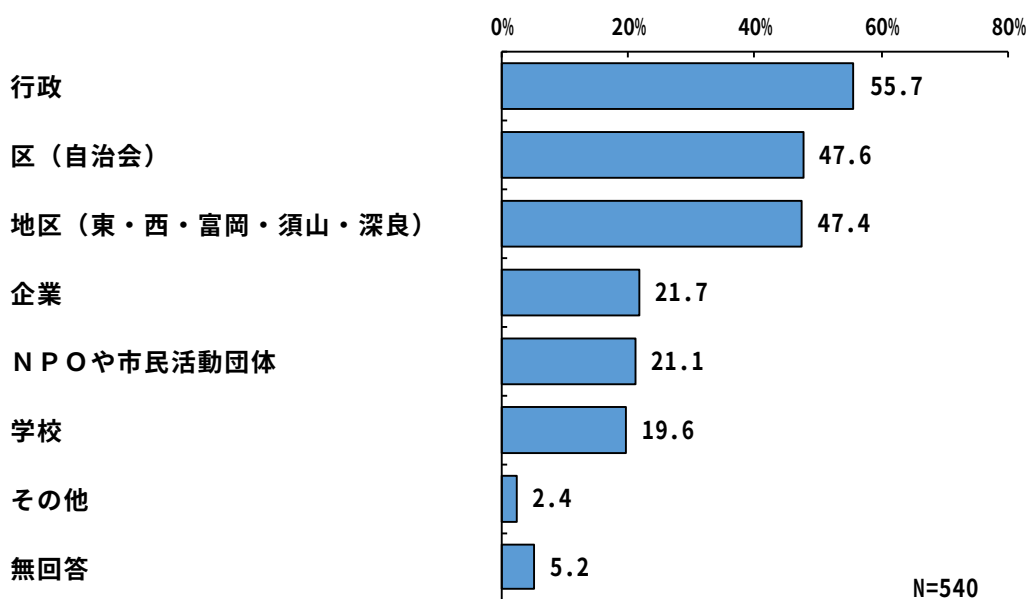


(23) 協働によるまちづくりを進める上で重要な主体について

「行政」55.7%が最も多く、半数を超えた。以下、「区（自治会）」47.6%、「地区（東・西・富岡・須山・深良）」47.4%と続いた。

年代別で見ると、20代～60代は「行政」が最も多かったのに対し、70代以上は「区（自治会）」が最も多く、半数を超えた。また、年代が上がるごとに、「地区（東・西・富岡・須山・深良）」が多くなっている。

問 23：あなたは協働によるまちづくりを進める上で重要な主体はどれだと思いますか。
(複数回答可)



【クロス集計】

単位：％

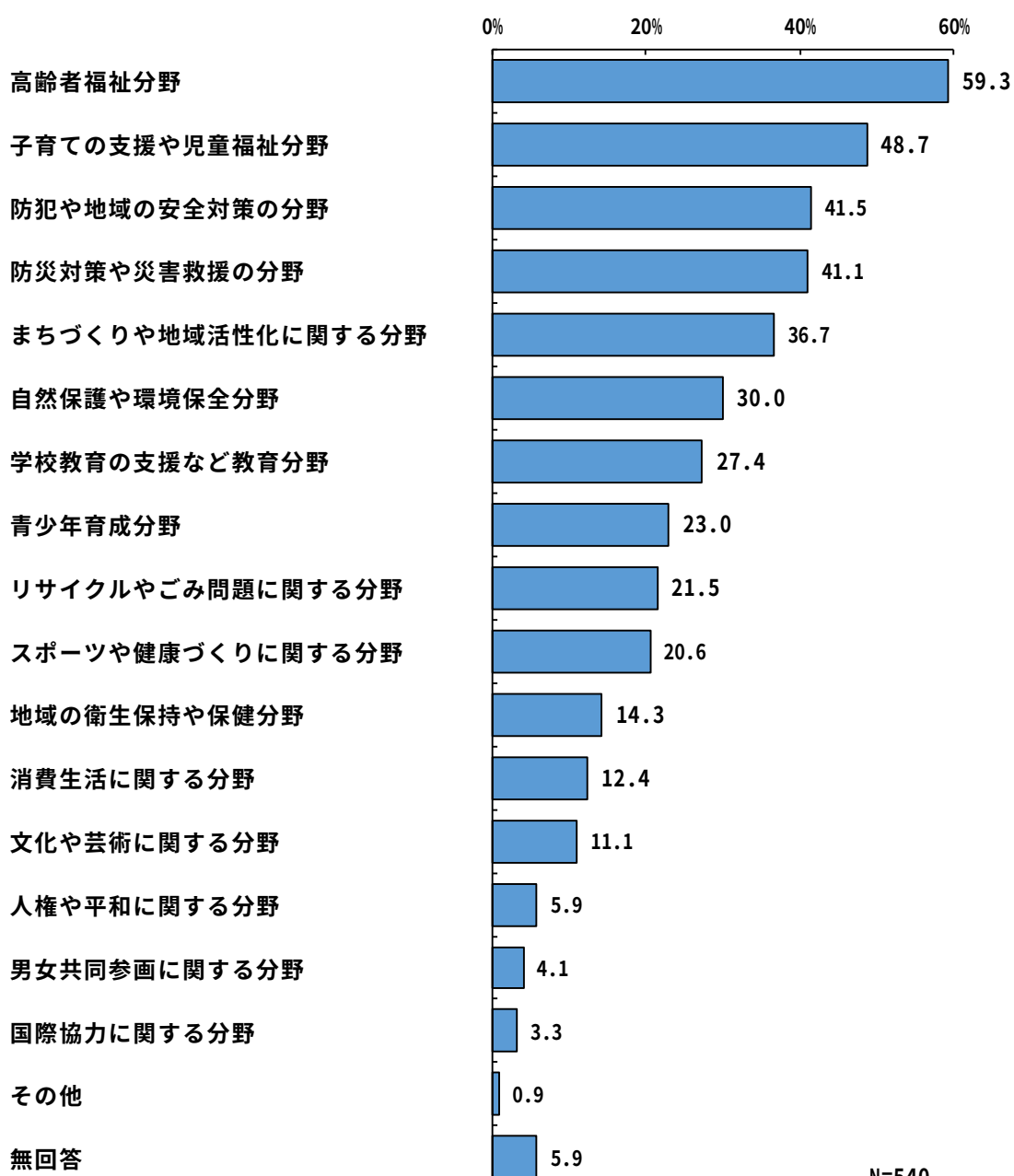
	調査数（人）	区（自治会）	深良地区（東・西・富岡・須山）	NPOや市民活動団体	企業	学校	行政	その他	無回答
全 体	540	47.6	47.4	21.1	21.7	19.6	55.7	2.4	5.2
性 別									
男 性	198	50.5	46.0	19.2	23.7	18.2	54.5	2.0	6.1
女 性	233	44.2	48.9	23.6	20.6	24.9	57.9	2.1	3.4
年 代 別									
20 代	37	35.1	32.4	16.2	32.4	18.9	45.9	0.0	0.0
30 代	60	46.7	46.7	30.0	35.0	23.3	56.7	0.0	0.0
40 代	84	40.5	42.9	16.7	22.6	25.0	56.0	2.4	3.6
50 代	84	48.8	47.6	22.6	25.0	25.0	72.6	2.4	2.4
60 代	135	48.9	52.6	27.4	27.4	24.4	61.5	4.4	3.7
70 代以上	134	54.5	50.0	14.2	4.5	7.5	39.6	1.5	13.4
家 族 形 成 期 別									
“就学前家族”	158	44.3	37.3	22.8	29.1	18.4	56.3	0.6	2.5
“就学中家族”	93	43.0	46.2	17.2	22.6	25.8	62.4	1.1	4.3
“就学後家族”	258	51.6	53.1	21.3	17.4	19.0	53.1	4.3	7.4
居 住 地 区 別									
東 地 区	150	45.3	52.0	22.7	23.3	22.0	56.7	2.0	4.7
西 地 区	143	50.3	37.8	25.9	19.6	14.7	55.2	1.4	7.0
富岡地区（全体）	147	49.7	47.6	17.7	21.1	21.1	57.8	5.4	4.1
富岡地区（企業団地）	16	56.3	37.5	12.5	6.3	6.3	50.0	0.0	12.5
富岡地区（千福が丘）	45	42.2	44.4	13.3	20.0	26.7	57.8	6.7	6.7
須山地区	24	41.7	58.3	8.3	29.2	16.7	54.2	0.0	4.2
深良地区	66	45.5	54.5	19.7	21.2	24.2	48.5	0.0	6.1

(24) 協働して取り組む必要性の高い分野について

「高齢者福祉分野」59.3%が最も多く、半数を超えた。以下、「子育ての支援や児童福祉分野」48.7%、「防犯や地域の安全対策の分野」41.5%、「防災対策や災害救援の分野」41.1%、「まちづくりや地域活性化に関する分野」36.7%、「自然保護や環境保全分野」30.0%と続いた。

年代別で見ると、20代～40代は「子育ての支援や児童福祉分野」が最も多かったのに対し、50代～70代以上は「高齢者福祉分野」が最も多かった。2番目に多かった項目は、20代・30代は「まちづくりや地域活性化に関する分野」、40代は「高齢者福祉分野」、50代は「防災対策や災害救援の分野」、60代・70代以上は「防犯や地域の安全対策の分野」だった。中でも50代は、「防災対策や災害救援の分野」に対する関心が、他の年代と比較しても、特に高かった。

問 24：あなたは協働して取り組む必要性が高い分野はどれだと思いますか。（複数回答可）



N=540

【クロス集計】

単位：％

	調査数（人）	高齢者福祉分野	子育ての支援や児童福祉分野	青少年育成分野	学校教育分野 など教育の支援	地域の衛生保持 や保健分野	分野 みサイク リ問題に 関する	自然保護や環境 保全分野	消費生活に 関する	域活性化に 関する	まちづくりや 文化や芸術に 関する
全 体	540	59.3	48.7	23.0	27.4	14.3	21.5	30.0	12.4	36.7	11.1
性 別											
男 性	198	50.0	48.0	24.7	26.3	13.1	21.2	35.9	13.1	40.9	11.6
女 性	233	64.4	56.2	23.2	30.0	15.5	20.6	24.9	13.3	35.2	9.9
年 代 別											
20 代	37	32.4	75.7	16.2	37.8	16.2	10.8	18.9	13.5	40.5	5.4
30 代	60	38.3	71.7	16.7	41.7	18.3	23.3	41.7	15.0	43.3	10.0
40 代	84	46.4	53.6	17.9	29.8	4.8	13.1	17.9	4.8	34.5	6.0
50 代	84	69.0	50.0	33.3	26.2	15.5	31.0	36.9	20.2	41.7	13.1
60 代	135	71.1	48.1	25.2	27.4	17.0	22.2	35.6	11.1	37.0	14.1
70 代以上	134	64.2	27.6	21.6	17.9	14.2	20.9	23.9	11.9	30.6	11.9
家族形成期別											
“就学前家族”	158	47.5	59.5	17.1	27.8	16.5	19.6	29.7	13.3	37.3	7.0
“就学中家族”	93	50.5	51.6	25.8	34.4	10.8	28.0	29.0	9.7	43.0	10.8
“就学後家族”	258	67.1	39.9	24.4	22.9	14.0	20.5	29.8	13.2	34.1	13.6
居住地区別											
東 地 区	150	62.0	42.0	25.3	24.7	16.7	18.7	28.0	14.0	38.0	11.3
西 地 区	143	53.8	53.8	19.6	30.1	13.3	20.3	30.8	12.6	37.1	14.0
富岡地区(全体)	147	59.2	53.1	22.4	29.9	12.9	21.8	34.0	12.2	39.5	9.5
富岡地区(企業団地)	16	43.8	56.3	12.5	31.3	18.8	25.0	18.8	6.3	25.0	6.3
富岡地区(千福が丘)	45	57.8	48.9	24.4	28.9	13.3	24.4	40.0	15.6	42.2	17.8
須山地区	24	58.3	29.2	29.2	29.2	25.0	33.3	25.0	8.3	16.7	12.5
深良地区	66	66.7	50.0	24.2	22.7	6.1	22.7	25.8	6.1	30.3	7.6

単位：％

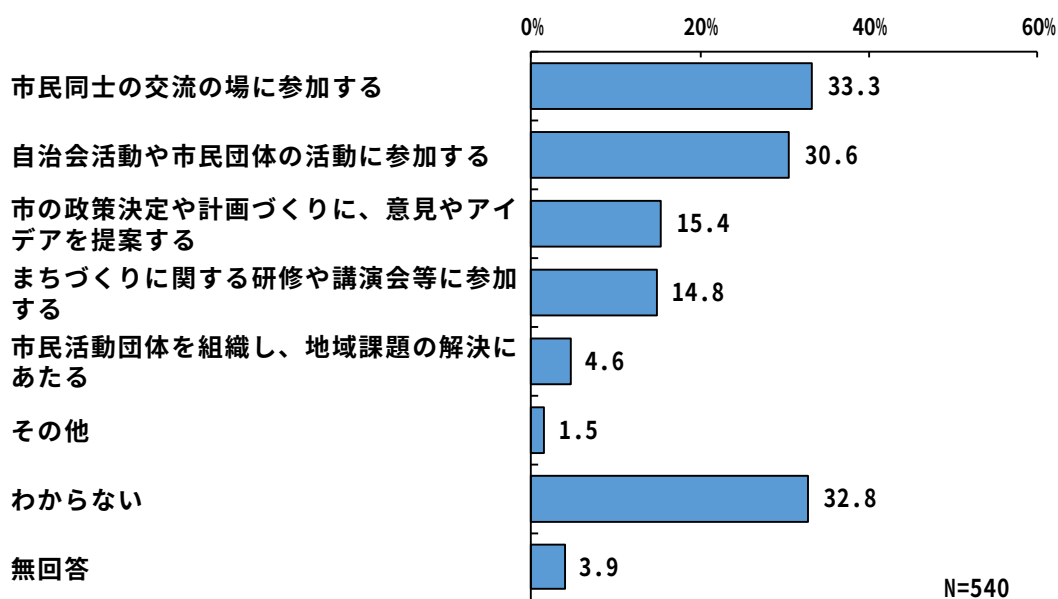
	調査数（人）	分野 づくり に 関 する 健康	ス ポ ー ツ や 健 康	救 援 の 分 野 や 災 害	防 災 策 の 分 野 や 安 全	全 防 犯 や 地 域 の 安 全	関 男 女 共 同 参 画 に 関 する	人 権 や 平 和 に 関 する	国 際 協 力 に 関 する	そ の 他	無 回 答
全 体	540	20.6	41.1	41.5	4.1	5.9	3.3	0.9	5.9		
性 別											
男 性	198	21.7	42.4	40.4	5.1	6.1	5.1	1.5	6.1		
女 性	233	23.6	42.5	40.8	3.4	4.3	2.1	0.4	5.6		
年 代 別											
20 代	37	27.0	32.4	24.3	2.7	0.0	8.1	5.4	5.4		
30 代	60	25.0	40.0	38.3	5.0	8.3	3.3	0.0	3.3		
40 代	84	8.3	33.3	39.3	0.0	1.2	2.4	1.2	6.0		
50 代	84	20.2	63.1	50.0	6.0	7.1	3.6	0.0	2.4		
60 代	135	25.2	46.7	52.6	5.9	8.1	4.4	0.7	3.0		
70 代以上	134	19.4	29.1	32.8	3.7	6.7	1.5	0.0	12.7		
家族形成期別											
“就学前家族”	158	18.4	41.8	38.0	3.2	3.2	3.2	1.3	5.7		
“就学中家族”	93	15.1	45.2	49.5	4.3	6.5	6.5	0.0	6.5		
“就学後家族”	258	23.3	40.3	41.9	4.7	7.0	2.7	1.2	6.2		
居住地区別											
東 地 区	150	18.7	40.7	44.7	4.0	6.7	1.3	0.0	5.3		
西 地 区	143	21.7	37.8	39.2	5.6	5.6	4.9	0.7	7.7		
富岡地区(全体)	147	19.0	45.6	42.9	2.7	6.1	4.1	2.0	4.8		
富岡地区(企業団地)	16	6.3	62.5	43.8	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3		
富岡地区(千福が丘)	45	15.6	44.4	35.6	6.7	4.4	4.4	2.2	8.9		
須山地区	24	20.8	50.0	41.7	8.3	8.3	8.3	0.0	4.2		
深良地区	66	21.2	37.9	37.9	1.5	3.0	1.5	0.0	7.6		

(25) 協働によるまちづくりのために市民ができることについて

「市民同士の交流の場に参加する」33.3%と「自治会活動や市民団体の活動に参加する」30.6%が多く、以下、「市の政策決定や計画づくりに、意見やアイデアを提案する」15.4%、「まちづくりに関する研修や講演会等に参加する」14.8%と続いた。一方で、「わからない」も32.8%を占めた。

性別で見ると、男性は「自治会活動や市民団体の活動に参加する」が最も多かったのに対し、女性は「市民同士の交流の場に参加する」が最も多かった。

問 25：協働によるまちづくりを進めていく上で、市民（あなた）はどのようなことができますか。（複数回答可）



【クロス集計】

単位：％

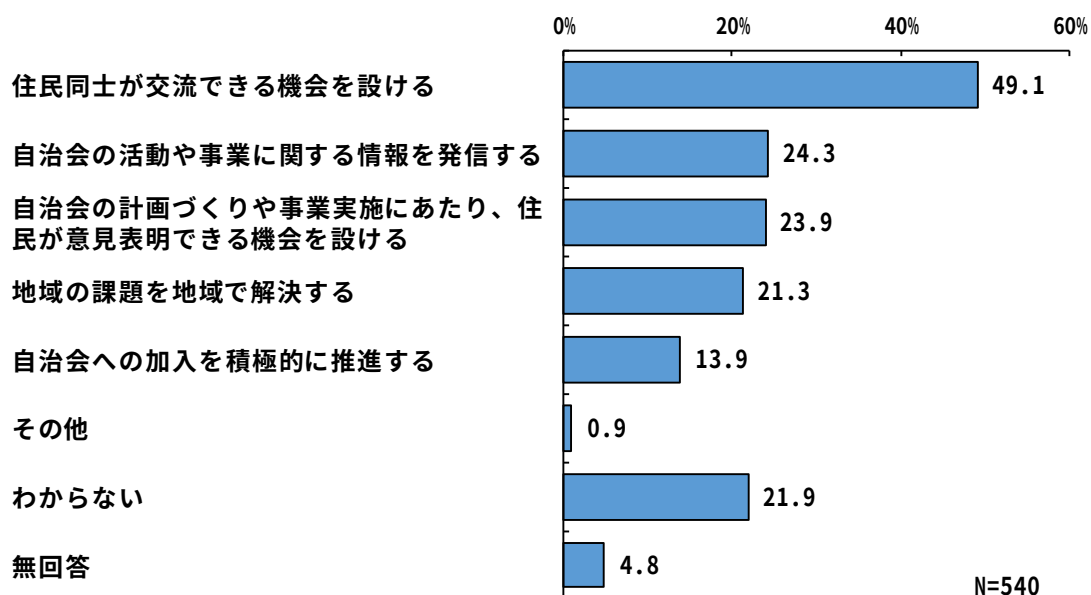
	調 査 数 （ 人 ）	市 民 同 士 の 交 流 の 場 に 参 加 す る	会 等 に 参 加 す る	ま ち づ く り に 関 す る 研 修 や 講 演	参 加 す る 自 治 会 活 動 や 市 民 団 体 の 活 動 に	市 の 政 策 決 定 や 計 画 づ く り に 、 意 見 や アイ デア を 提 案 す る	市 民 活 動 団 体 を 組 織 し 、 地 域 課 題 の 解 決 に あ た る	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体	540	33.3	14.8	30.6	15.4	4.6	1.5	32.8	3.9	
性 別										
男 性	198	29.3	13.1	36.4	18.7	6.6	3.0	29.3	4.0	
女 性	233	36.9	16.3	27.9	11.2	2.6	0.9	33.5	3.0	
年 代 別										
20 代	37	32.4	10.8	27.0	8.1	8.1	2.7	37.8	0.0	
30 代	60	30.0	13.3	20.0	15.0	1.7	0.0	38.3	1.7	
40 代	84	27.4	11.9	31.0	14.3	7.1	1.2	32.1	2.4	
50 代	84	32.1	16.7	25.0	16.7	3.6	1.2	38.1	1.2	
60 代	135	43.0	17.8	43.7	20.0	5.2	0.7	23.7	2.2	
70 代 以 上	134	30.6	14.2	26.9	11.2	3.7	3.0	34.3	10.4	
家 族 形 成 期 別										
“就 学 前 家 族”	158	28.5	11.4	24.1	13.3	1.9	1.9	37.3	3.2	
“就 学 中 家 族”	93	28.0	14.0	30.1	14.0	9.7	1.1	37.6	2.2	
“就 学 後 家 族”	258	36.4	17.4	35.7	16.7	4.3	1.6	28.7	4.7	
居 住 地 区 別										
東 地 区	150	27.3	14.0	28.0	14.0	2.7	1.3	40.7	2.7	
西 地 区	143	38.5	15.4	33.6	14.7	3.5	1.4	25.2	5.6	
富 岡 地 区 (全 体)	147	34.0	17.0	30.6	17.7	6.1	2.0	34.0	1.4	
富 岡 地 区 (企 業 団 地)	16	56.3	6.3	25.0	6.3	0.0	0.0	31.3	6.3	
富 岡 地 区 (千 福 が 丘)	45	26.7	22.2	28.9	13.3	2.2	2.2	37.8	2.2	
須 山 地 区	24	20.8	8.3	33.3	16.7	12.5	0.0	29.2	12.5	
深 良 地 区	66	39.4	12.1	28.8	13.6	6.1	1.5	28.8	6.1	

(26) 協働によるまちづくりのために区（自治会）ができることについて

「住民同士が交流できる機会を設ける」49.1%が最も多く、以下、「自治会の活動や事業に関する情報を発信する」24.3%、「自治会の計画づくりや事業実施にあたり、住民が意見表明できる機会を設ける」23.9%、「地域の課題を地域で解決する」21.3%と続いた。

クロス集計でも、全ての分析軸の分類で、「住民同士が交流できる機会を設ける」が最も多いという結果になった。家族形成期別で見ると、“就学前家族”から“就学後家族”にかけて、「住民同士が交流できる機会を設ける」が多くなっている。

問 26：協働によるまちづくりを進めていく上で、区（自治会）はどのようなことができますか。（複数回答可）



【クロス集計】

単位：％

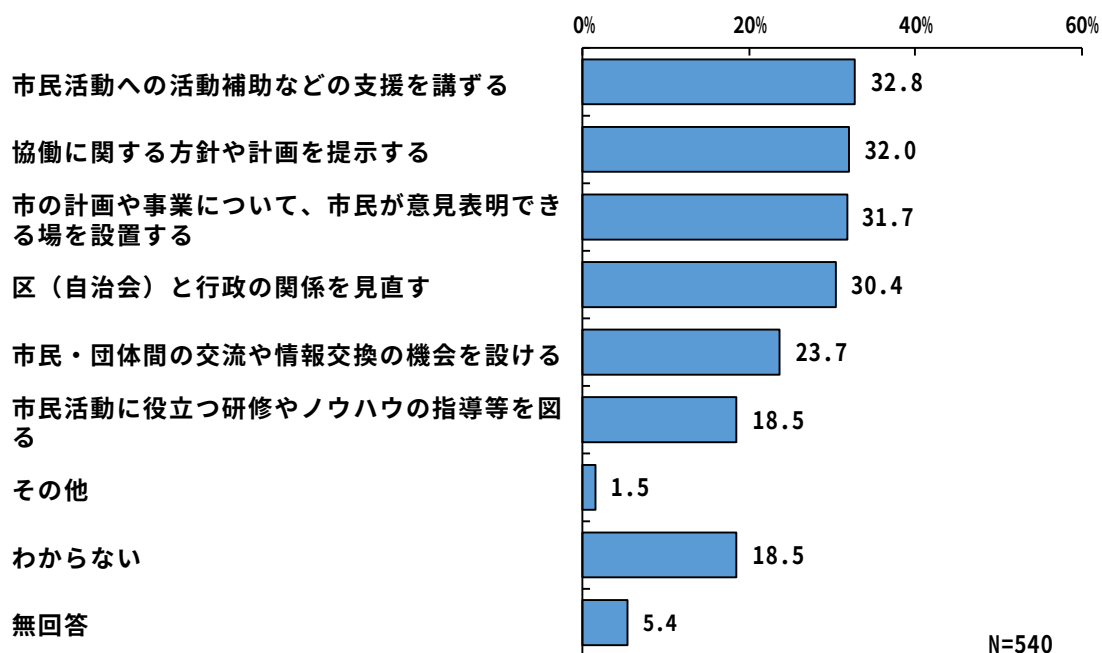
	調査数（人）	住民同士が交流できる機会を設ける	自治会への加入を積極的に推進する	地域の課題を地域で解決する	自治会の活動や事業に関する情報を発信する	自治会の計画づくりや事業実施にあたり、住民が意見表明できる機会を設ける	その他	わからない	無回答
全 体	540	49.1	13.9	21.3	24.3	23.9	0.9	21.9	4.8
性 別									
男 性	198	46.5	12.6	25.3	24.2	28.8	0.5	21.2	4.5
女 性	233	49.4	12.9	21.0	26.2	23.6	1.7	21.0	4.3
年 代 別									
20 代	37	43.2	0.0	13.5	32.4	24.3	2.7	27.0	2.7
30 代	60	58.3	10.0	18.3	26.7	26.7	1.7	13.3	1.7
40 代	84	41.7	8.3	23.8	16.7	22.6	0.0	27.4	2.4
50 代	84	39.3	14.3	19.0	34.5	26.2	0.0	31.0	1.2
60 代	135	55.6	19.3	23.0	28.1	26.7	1.5	17.8	1.5
70 代以上	134	50.0	17.2	21.6	14.9	19.4	0.0	19.4	14.2
家 族 形 成 期 別									
“就学前家族”	158	43.7	8.9	17.1	24.7	23.4	1.3	26.6	3.2
“就学中家族”	93	47.3	9.7	26.9	26.9	28.0	0.0	23.7	3.2
“就学後家族”	258	51.2	17.8	20.9	23.3	23.6	1.2	19.0	5.8
居 住 地 区 別									
東 地 区	150	47.3	11.3	21.3	30.0	20.0	0.7	20.7	4.0
西 地 区	143	55.2	11.2	21.0	21.7	27.3	0.7	16.1	6.3
富岡地区(全体)	147	50.3	16.3	22.4	26.5	23.8	2.0	24.5	3.4
富岡地区(企業団地)	16	56.3	18.8	18.8	25.0	18.8	6.3	25.0	6.3
富岡地区(千福が丘)	45	48.9	13.3	28.9	28.9	28.9	0.0	26.7	6.7
須山地区	24	41.7	16.7	20.8	12.5	12.5	0.0	41.7	4.2
深良地区	66	37.9	18.2	21.2	15.2	30.3	0.0	22.7	7.6

(27) 協働によるまちづくりのために行政がすべきことについて

「市民活動への活動補助などの支援を講ずる」32.8%、「協働に関する方針や計画を提示する」32.0%、「市の計画や事業について、市民が意見表明できる場を設置する」31.7%、「区（自治会）と行政の関係を見直す」30.4%の4項目が、共に3割を超えた。

性別で見ると、男性は「協働に関する方針や計画を提示する」が最も多かったのに対し、女性は「区（自治会）と行政の関係を見直す」が最も多かった。また、年代別で見ると、20代は「市民・団体間の交流や情報交換の機会を設ける」が最も多かった。

問 27：協働によるまちづくりを進めていく上で、行政はどのようなことをすべきだと思いますか。（複数回答可）



N=540

【クロス集計】

単位：％

	調査数（人）	協働に関する方針や計画を提示する	区（自治会）と行政の関係を見直す	市民活動への活動補助などの支援を講ずる	市民・団体間の交流や情報交換の機会を設ける	市民活動に役立つ研修やノウハウの指導等を図る	市の計画や事業について、市民が意見表明できる場を設置する	その他	わからない	無回答
全 体	540	32.0	30.4	32.8	23.7	18.5	31.7	1.5	18.5	5.4
性 別										
男 性	198	36.4	30.8	35.4	21.2	18.2	35.9	2.0	15.7	5.6
女 性	233	29.2	31.3	30.5	27.0	18.5	29.2	0.9	19.3	4.3
年 代 別										
20 代	37	29.7	16.2	29.7	35.1	16.2	27.0	5.4	27.0	2.7
30 代	60	40.0	23.3	36.7	33.3	15.0	33.3	0.0	16.7	1.7
40 代	84	23.8	26.2	28.6	19.0	20.2	22.6	2.4	19.0	3.6
50 代	84	36.9	31.0	29.8	23.8	20.2	28.6	1.2	22.6	2.4
60 代	135	37.0	36.3	42.2	23.0	20.0	42.2	0.7	13.3	1.5
70 代以上	134	26.1	33.6	26.1	20.1	17.2	28.4	0.7	19.4	14.9
家族形成期別										
“就学前家族”	158	32.9	25.9	30.4	28.5	13.3	27.8	1.3	21.5	3.8
“就学中家族”	93	33.3	29.0	35.5	23.7	21.5	30.1	2.2	18.3	4.3
“就学後家族”	258	32.2	31.4	32.6	22.1	20.5	33.3	1.6	16.7	6.2
居住地区別										
東 地 区	150	32.7	27.3	29.3	20.0	19.3	30.7	0.0	20.7	5.3
西 地 区	143	32.9	30.8	35.0	25.9	16.1	32.2	1.4	15.4	8.4
富岡地区(全体)	147	34.0	31.3	34.0	31.3	19.0	33.3	3.4	15.6	2.7
富岡地区(企業団地)	16	25.0	37.5	37.5	43.8	18.8	31.3	0.0	12.5	6.3
富岡地区(千福が丘)	45	37.8	35.6	40.0	20.0	13.3	31.1	2.2	17.8	4.4
須山地区	24	37.5	41.7	37.5	12.5	25.0	33.3	0.0	20.8	0.0
深良地区	66	21.2	27.3	33.3	15.2	18.2	27.3	0.0	24.2	7.6

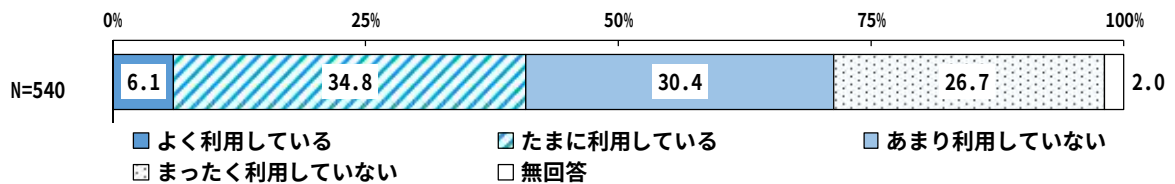
J R 裾野駅・J R 岩波駅について

(28) 裾野駅の利用について

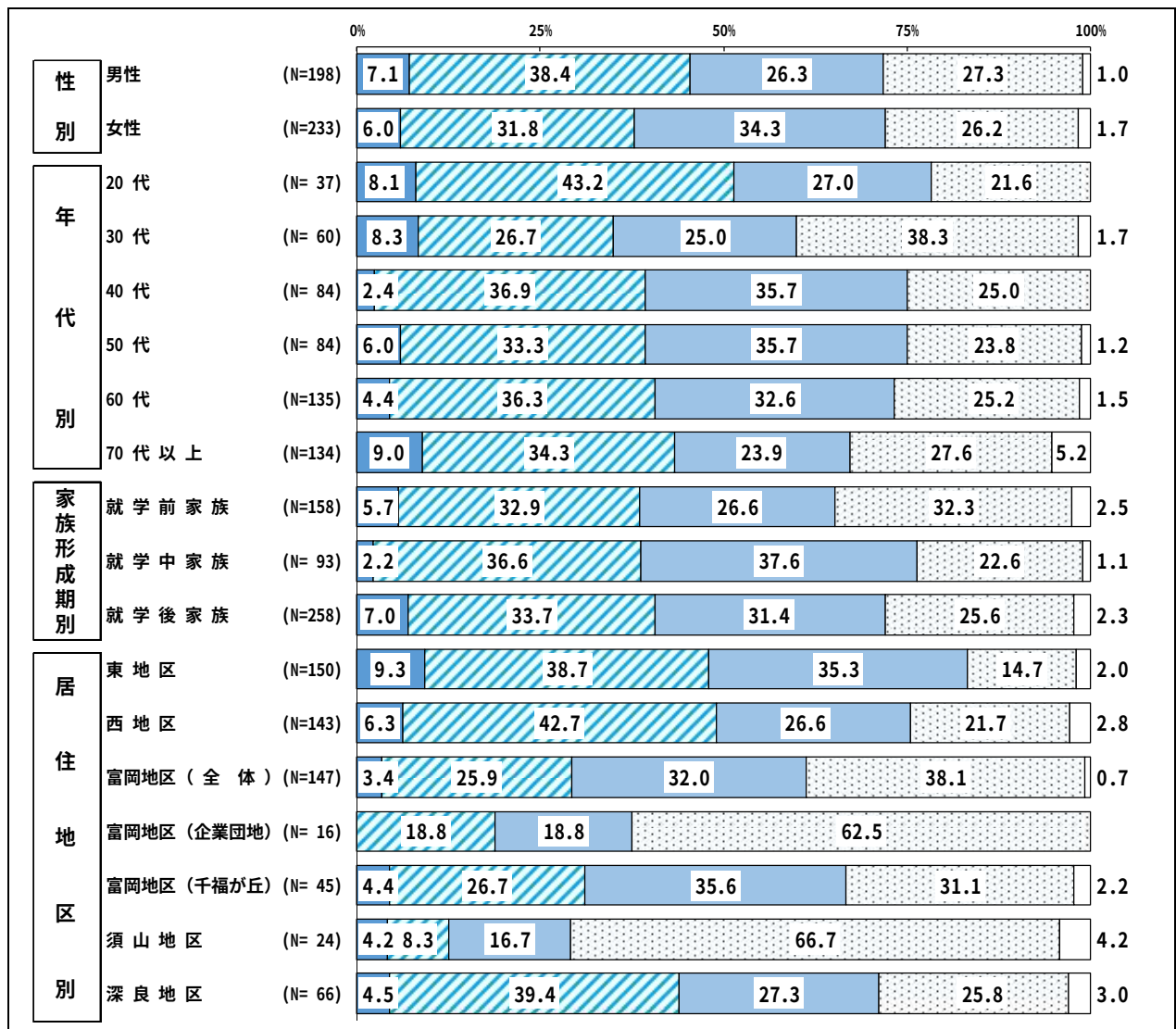
「よく利用している」6.1%と、「たまに利用している」34.8%を合計した“利用している”は40.9%、「あまり利用していない」30.4%と、「まったく利用していない」26.7%を合計した“利用していない”は57.1%だった。

年代別で見ると、20代は“利用している”が唯一、半数を超えた。居住地区別で見ると、東地区・西地区・深良地区は他の地区と比較して、“利用している”が多かった。

問 28：あなたは裾野駅を利用したことがありますか。(単一回答)



【クロス集計】

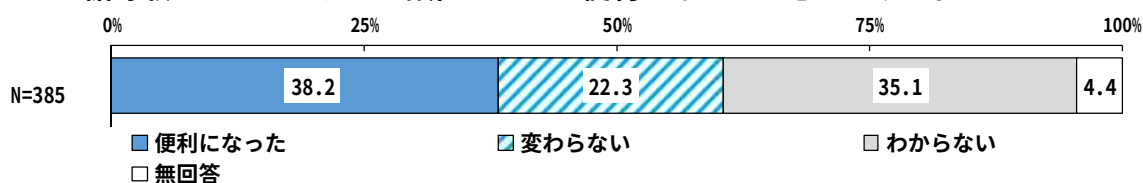


(29) 裾野駅のエレベーター設置について

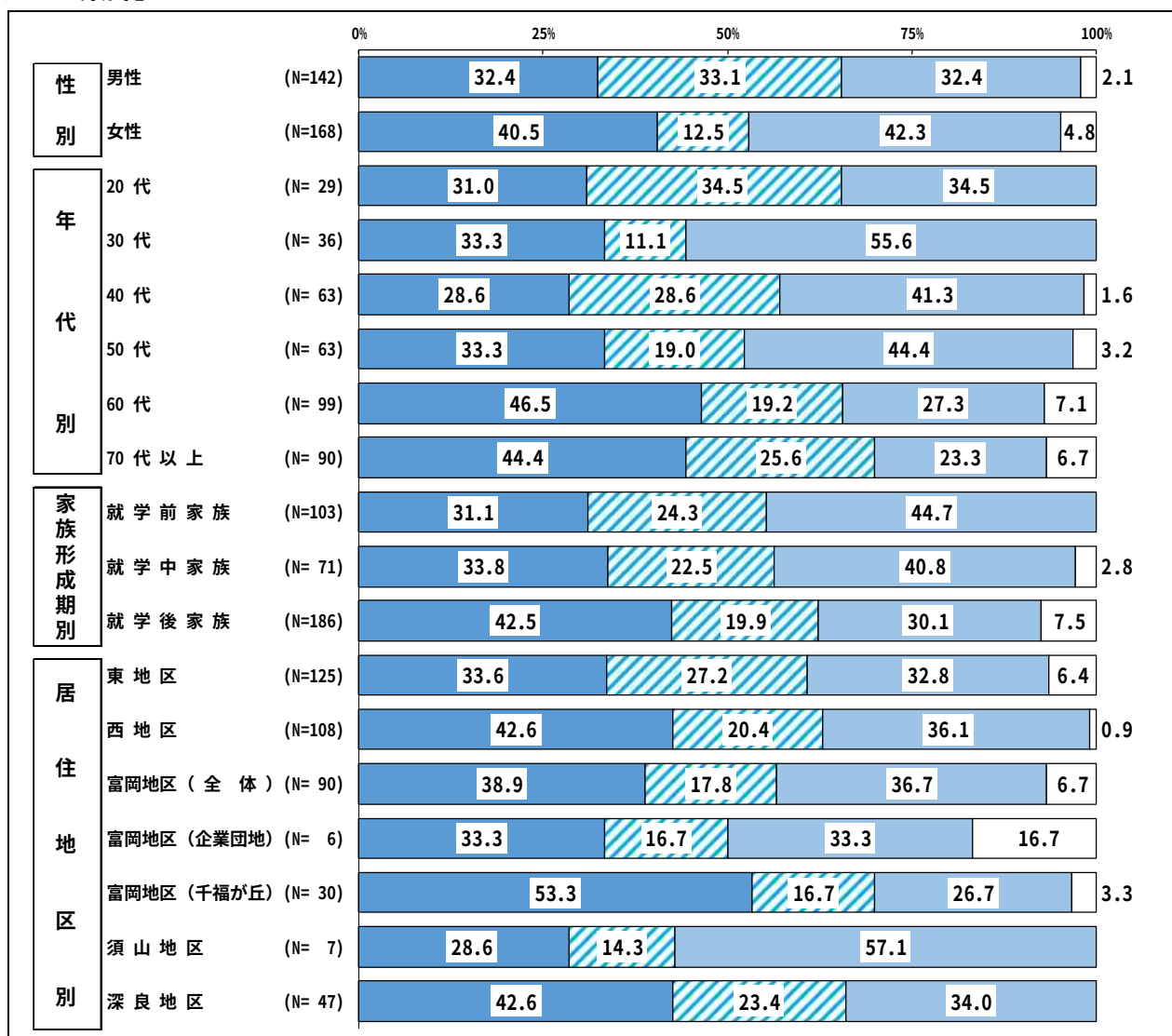
「便利になった」38.2%が最も多かった。以下、「わからない」35.1%、「変わらない」22.3%と続いた。

年代別で見ると、60代・70代以上は他の年代と比べて「便利になった」が10%以上多かった。同様に、家族形成期別で見ても、“就学前家族”から“就学後家族”にかけて、「便利になった」が多くなっている。

問 29：【問 28 で「よく利用している」「たまに利用している」「あまり利用していない」を選んだ方】
裾野駅にエレベーターが設置されて、便利になったと思いますか。



【クロス集計】

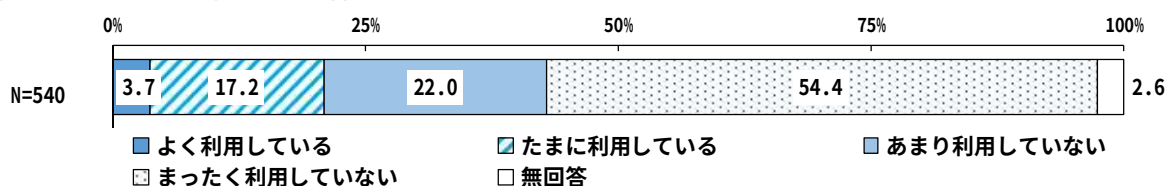


(30) 岩波駅の利用について

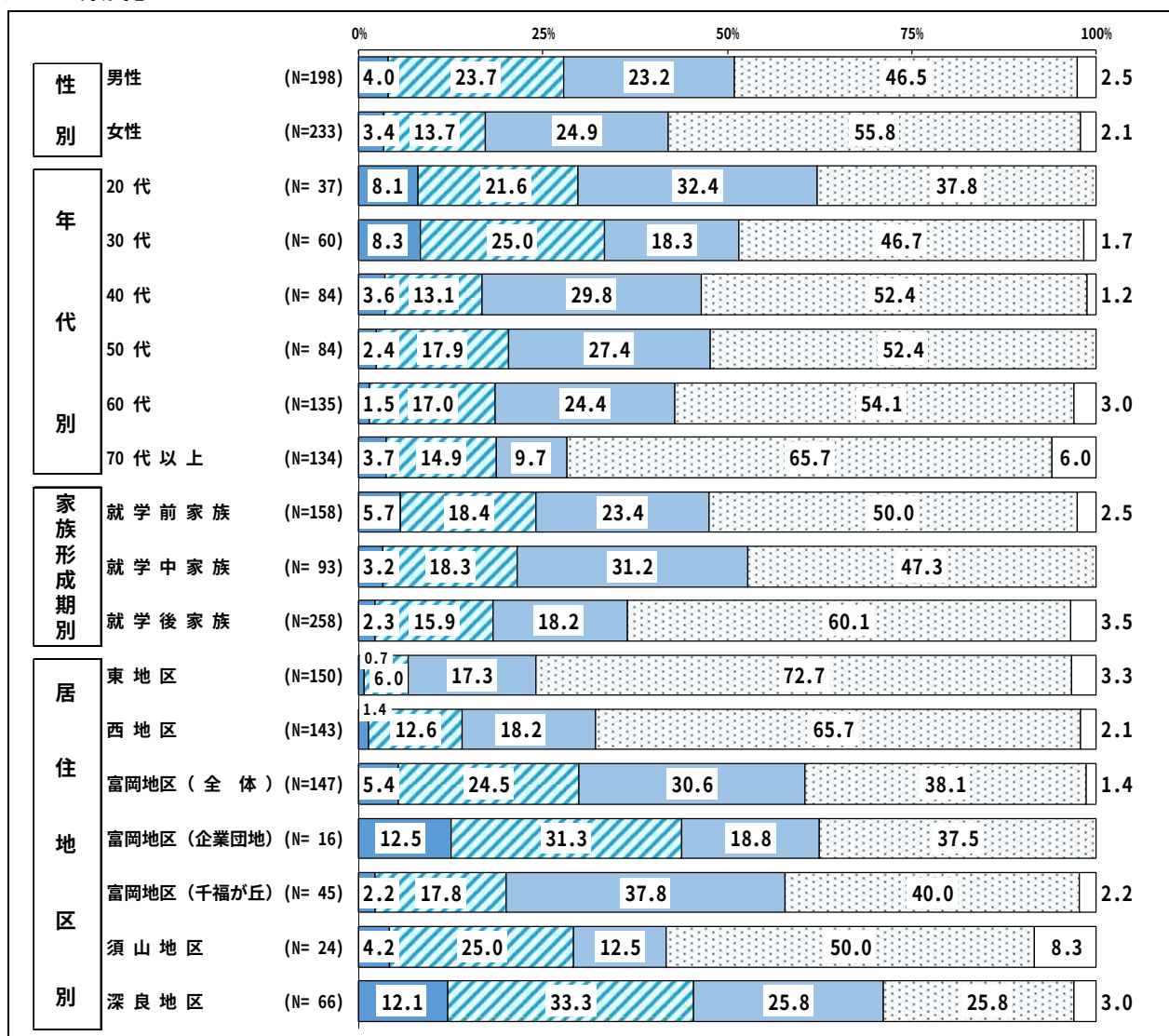
「よく利用している」3.7%と、「たまに利用している」17.2%を合計した“利用している”は20.9%、「あまり利用していない」22.0%と、「まったく利用していない」54.4%を合計した“利用していない”は76.4%だった。

年代別で見ると、20代・30代は“利用している”が他の年代よりも多かった。性別で見ると、男性の方が、女性よりも“利用している”が10%程度多かった。居住地区別で見ると、深良地区は、他の地区よりも“利用している”が多かった。

問 30：あなたは岩波駅を利用したことがありますか。(単一回答)



【クロス集計】

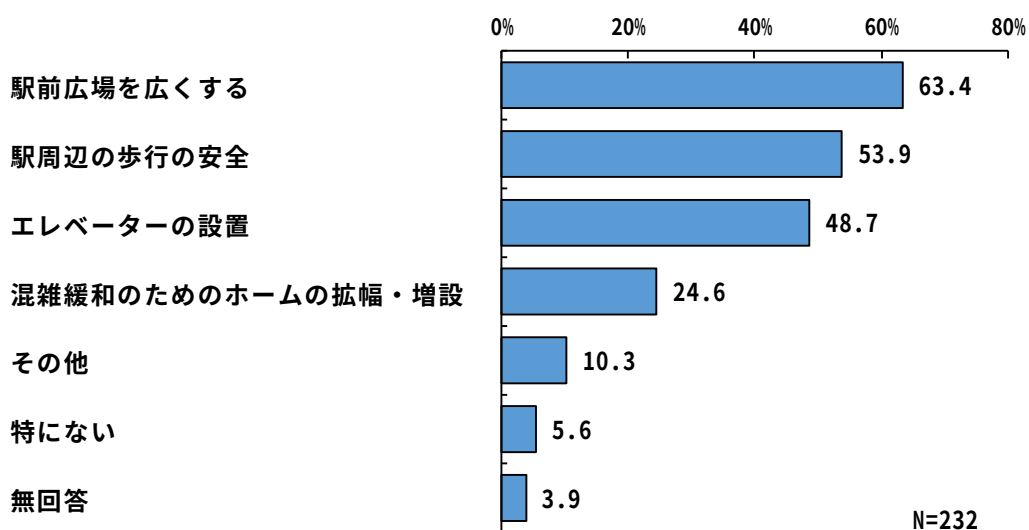


(31) 岩波駅を便利に使うために必要なものについて

「駅前広場を広くする」の63.4%が最も多く、以下、「駅周辺の歩行の安全」53.9%、「エレベーターの設置」48.7%と続いた。

年代別で見ると、20代・40代～60代は「駅前広場を広くする」が最も多かったのに対し、30代は「駅周辺の歩行の安全」が、20代・70代以上は「エレベーターの設置」が最も多かった。家族形成期別で見ると、“就学前家族”から“就学後家族”にかけて、「駅前広場を広くする」が多くなっている。“就学前家族”は「駅周辺の歩行の安全」が最も多かった。

問31：【問30で「よく利用している」「たまに利用している」「あまり利用していない」を選んだ方】
岩波駅を便利に使うために必要なものは何だと思いますか。（複数回答可）



【クロス集計】

単位：％

	調査数（人）	エレベーターの設置	ホームの拡幅・増設	混雑緩和のための設	駅周辺の歩行の安全	駅前広場を広くする	その他	特にない	無回答
全 体	232	48.7	24.6	53.9	63.4	10.3	5.6	3.9	
性 別									
男 性	101	41.6	30.7	60.4	66.3	9.9	6.9	2.0	
女 性	98	55.1	21.4	54.1	64.3	11.2	5.1	3.1	
年 代 別									
20 代	23	69.6	30.4	56.5	69.6	8.7	4.3	0.0	
30 代	31	48.4	32.3	71.0	51.6	19.4	0.0	0.0	
40 代	39	23.1	20.5	48.7	53.8	10.3	17.9	5.1	
50 代	40	42.5	27.5	57.5	80.0	15.0	2.5	5.0	
60 代	58	53.4	17.2	53.4	74.1	6.9	6.9	0.0	
70 代 以上	38	60.5	28.9	42.1	44.7	2.6	0.0	13.2	
家 族 形 成 期 別									
“就学前家族”	75	49.3	28.0	64.0	57.3	13.3	4.0	0.0	
“就学中家族”	49	38.8	18.4	36.7	63.3	12.2	14.3	8.2	
“就学後家族”	94	51.1	25.5	55.3	71.3	7.4	3.2	4.3	
居 住 地 区 別									
東 地 区	36	33.3	22.2	50.0	52.8	2.8	13.9	11.1	
西 地 区	46	45.7	26.1	58.7	47.8	6.5	8.7	6.5	
富岡地区(全体)	89	52.8	27.0	52.8	76.4	13.5	2.2	0.0	
富岡地区(企業団地)	10	80.0	40.0	60.0	50.0	40.0	0.0	0.0	
富岡地区(千福が丘)	26	46.2	3.8	42.3	61.5	7.7	7.7	0.0	
須山地区	10	30.0	20.0	50.0	70.0	50.0	0.0	0.0	
深良地区	47	57.4	21.3	55.3	59.6	6.4	4.3	4.3	

自殺対策について

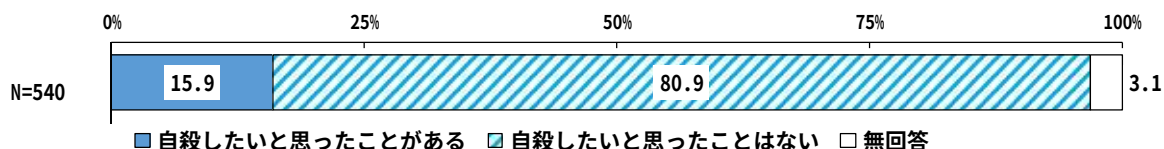
(32) 自殺したいと考えた経験について

「自殺したいと思ったことがある」が 15.9%、「自殺したいと思ったことはない」が 80.9%だった。

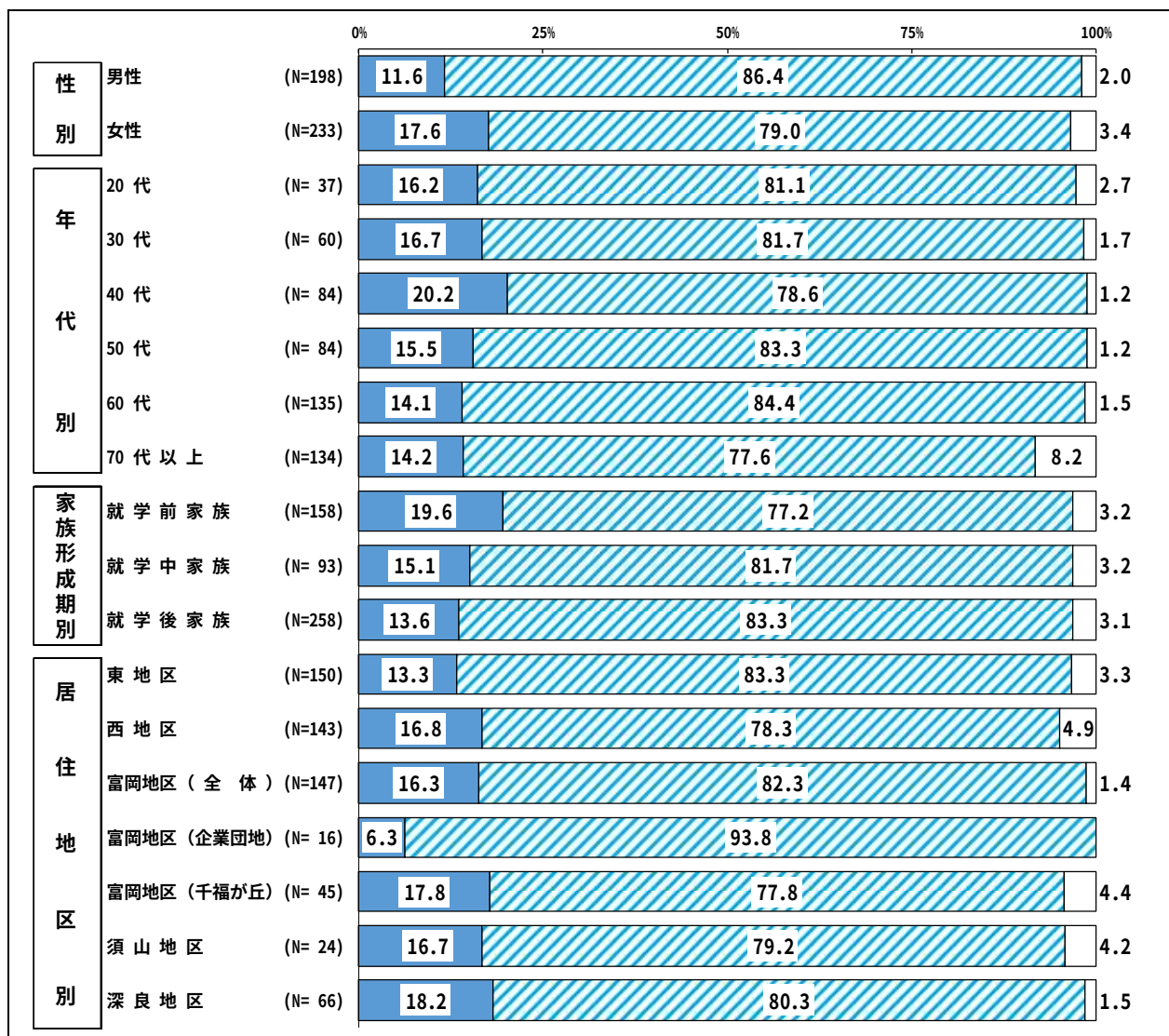
年代別で見ると、「自殺したいと思ったことがある」が最も多いのは 40 代だった。また、家族形成期別で見ると、“就学前家族”から“就学後家族”にかけて、「自殺したいと思ったことがある」が少なくなっている。

問 32：あなたはこれまでの人生のなかで、本気で自殺したいと思った経験はありますか。

(単一回答)



【クロス集計】



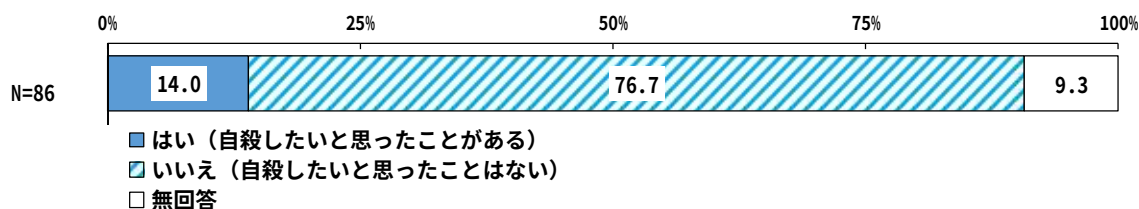
(33) 最近1年以内に自殺したいと考えた経験について

「はい（自殺したいと思ったことがある）」が14.0%、「いいえ（自殺したいと思ったことはない）」が76.7%だった。

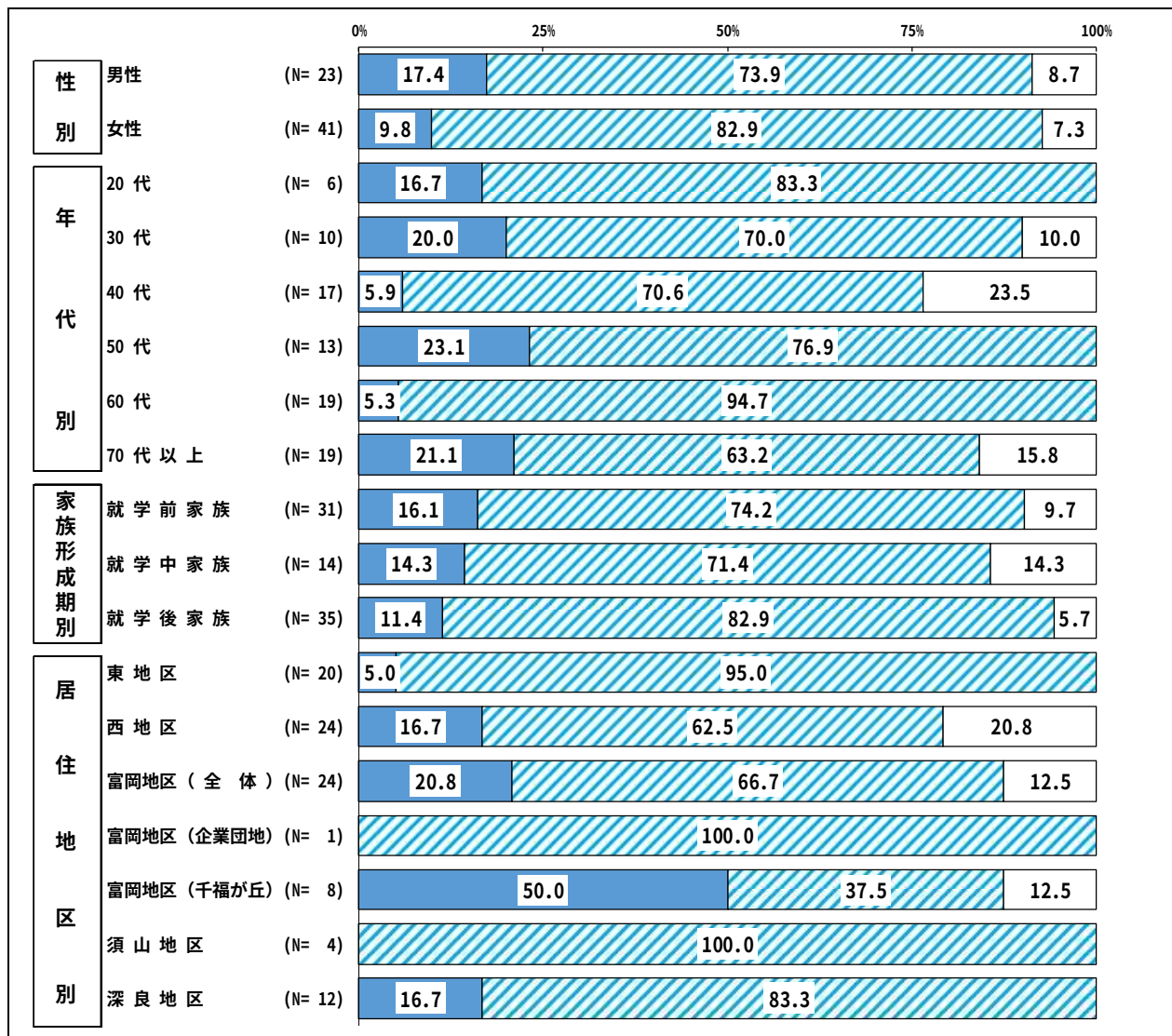
クロス集計の結果は、以下の図の通り。

問 33：【問 32 で「自殺したいと思ったことがある」を選んだ方】

あなたは最近1年以内に自殺したいと思ったことがありますか。（単一回答）



【クロス集計】



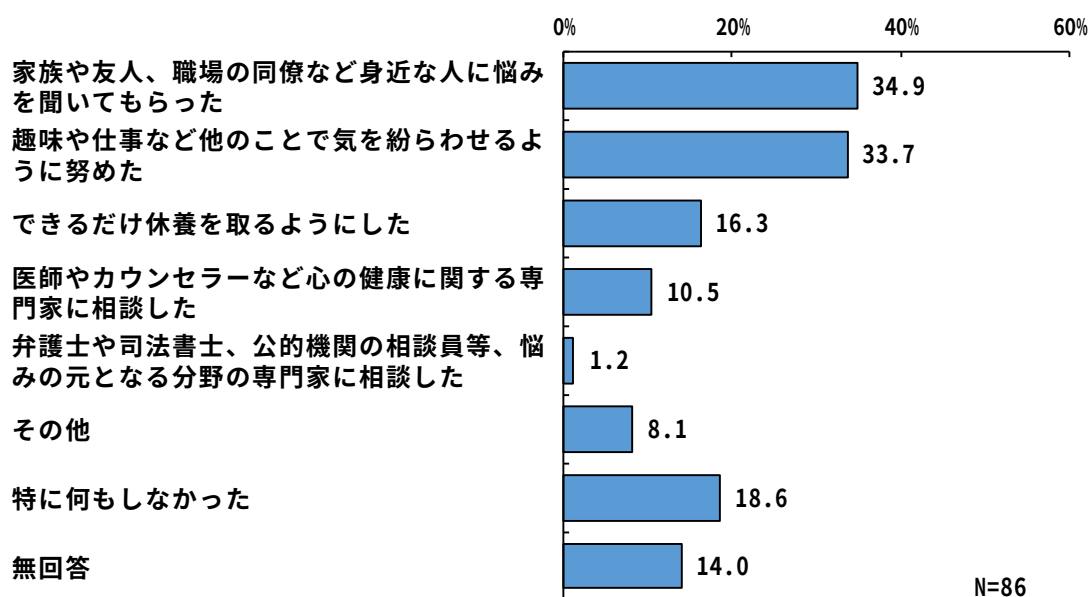
(34) 自殺したいと考えた時の乗り越え方について

「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」34.9%、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」33.7%が多く、共に3人に1人の割合となった。以下、「できるだけ休養を取るようにした」16.3%、「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」10.5%と続いた。

クロス集計の結果は、次ページの集計表の通り。

問 34：【問 32 で「自殺したいと思ったことがある」を選んだ方】

そのように考えたとき、あなたはどのようにして乗り越えましたか。(複数回答可)



【クロス集計】

単位：％

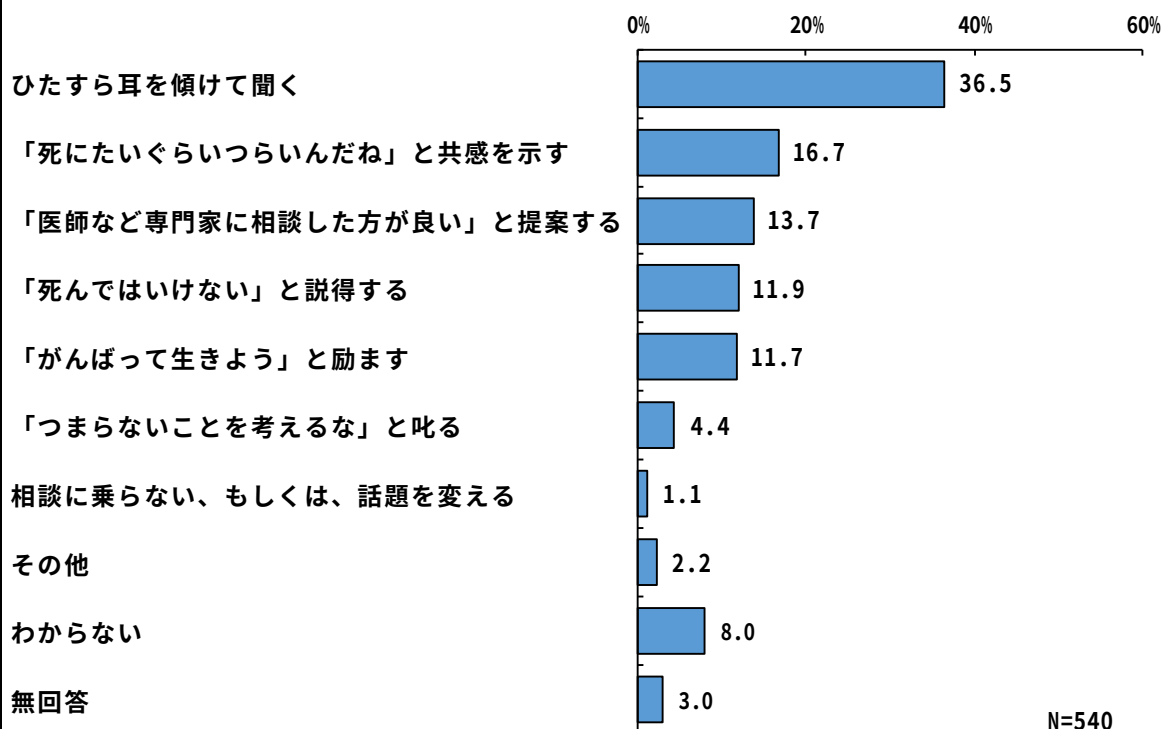
	調査数（人）	家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった身	医師やカウンセラーなどに心の健康に関する専門家に相談した	相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	弁護士や司法書士、公的機関の専門家に相談した	できるだけ休養を取るようにした	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	その他	特に何もしなかった	無回答
全 体	86	34.9	10.5	1.2	16.3	33.7	8.1	18.6	14.0	
性 別										
男 性	23	21.7	4.3	0.0	34.8	39.1	8.7	8.7	21.7	
女 性	41	39.0	14.6	0.0	12.2	34.1	9.8	22.0	7.3	
年 代 別										
20 代	6	50.0	16.7	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0	16.7	
30 代	10	40.0	10.0	0.0	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0	
40 代	17	23.5	5.9	0.0	5.9	29.4	0.0	35.3	17.6	
50 代	13	30.8	7.7	0.0	23.1	38.5	7.7	7.7	0.0	
60 代	19	26.3	10.5	5.3	10.5	31.6	10.5	15.8	21.1	
70 代 以 上	19	47.4	5.3	0.0	5.3	36.8	0.0	26.3	21.1	
家 族 形 成 期 別										
“就学前家族”	31	35.5	3.2	0.0	22.6	38.7	6.5	16.1	12.9	
“就学中家族”	14	21.4	14.3	0.0	7.1	28.6	0.0	21.4	21.4	
“就学後家族”	35	34.3	14.3	2.9	14.3	25.7	11.4	20.0	14.3	
居 住 地 区 別										
東 地 区	20	35.0	10.0	0.0	10.0	15.0	5.0	25.0	15.0	
西 地 区	24	41.7	8.3	0.0	16.7	50.0	8.3	12.5	8.3	
富 岡 地 区 (全 体)	24	25.0	8.3	0.0	16.7	33.3	16.7	29.2	16.7	
富 岡 地 区 (企 業 団 地)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
富 岡 地 区 (千 福 が 丘)	8	25.0	12.5	0.0	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5	
須 山 地 区	4	25.0	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	
深 良 地 区	12	41.7	16.7	8.3	8.3	25.0	0.0	8.3	16.7	

(35) 身近な人から「死にたい」と打ち明けられた時の対応について

「ひたすら耳を傾けて聞く」36.5%が最も多かった。以下、「『死にたいぐらいつらいんだね』と共感を示す」16.7%、「『医師など専門家に相談した方が良い』と提案する」13.7%、「『死んではいけない』と説得する」11.9%、「『がんばって生きよう』と励ます」11.7%と続いた。

クロス集計を見ても、全ての分析軸の分類で「ひたすら耳を傾けて聞く」が最も多かった。性別で見ると、2番目に多かった項目は、男性は「『死んではいけない』と説得する」であるのに対し、女性は「『死にたいぐらいつらいんだね』と共感を示す」だった。

問 35：あなたは、もしも身近な人から「死にたい」と打ち明けられたとき、どう対応するのが良いと思いますか。(複数回答可)



【クロス集計】

単位：％

	調査数（人）	相談に乗らない、もしくは、話題を変える	「死んではいけない」と説得する	「つまらないことを考えるな」と叱る	「がんばって生きよう」と励ます	「死にたいぐらい辛いんだね」と共感を示す	「死にたいぐらい辛いんだね」と共感を示す	「死にたいぐらい辛いんだね」と共感を示す	「死にたいぐらい辛いんだね」と共感を示す	「死にたいぐらい辛いんだね」と共感を示す	「死にたいぐらい辛いんだね」と共感を示す
全 体	540	1.1	11.9	4.4	11.7	16.7	13.7	36.5	2.2	8.0	3.0
性 別											
男 性	198	1.0	17.7	5.6	11.6	14.6	17.2	30.3	1.0	9.1	2.0
女 性	233	0.4	9.0	3.9	10.7	18.9	8.6	45.1	3.4	6.4	2.6
年 代 別											
20 代	37	2.7	10.8	0.0	13.5	27.0	5.4	37.8	2.7	2.7	5.4
30 代	60	1.7	8.3	1.7	5.0	16.7	13.3	51.7	6.7	5.0	0.0
40 代	84	0.0	7.1	1.2	4.8	19.0	10.7	51.2	2.4	10.7	0.0
50 代	84	0.0	11.9	0.0	6.0	26.2	11.9	38.1	1.2	10.7	1.2
60 代	135	0.7	16.3	7.4	14.8	15.6	14.8	26.7	1.5	9.6	3.7
70 代以上	134	2.2	12.7	9.0	18.7	7.5	16.4	28.4	1.5	6.0	6.0
家 族 形 成 期 別											
“就学前家族”	158	1.3	10.1	2.5	11.4	18.4	11.4	38.6	1.3	8.9	3.8
“就学中家族”	93	0.0	9.7	1.1	6.5	14.0	15.1	51.6	4.3	6.5	0.0
“就学後家族”	258	1.2	14.3	7.4	13.2	16.3	12.4	29.8	1.6	8.5	3.9
居 住 地 区 別											
東 地 区	150	1.3	14.7	0.0	11.3	14.7	18.0	38.7	2.0	6.0	2.7
西 地 区	143	0.7	10.5	3.5	14.0	20.3	13.3	35.7	0.7	7.0	4.9
富岡地区（全体）	147	0.0	11.6	7.5	6.8	15.0	13.6	40.8	4.8	9.5	1.4
富岡地区（企業団地）	16	0.0	6.3	12.5	6.3	0.0	6.3	56.3	0.0	12.5	0.0
富岡地区（千福が丘）	45	0.0	11.1	6.7	2.2	22.2	22.2	40.0	11.1	8.9	2.2
須山地区	24	0.0	12.5	16.7	20.8	16.7	8.3	20.8	0.0	8.3	4.2
深良地区	66	4.5	9.1	6.1	13.6	16.7	7.6	30.3	1.5	12.1	1.5

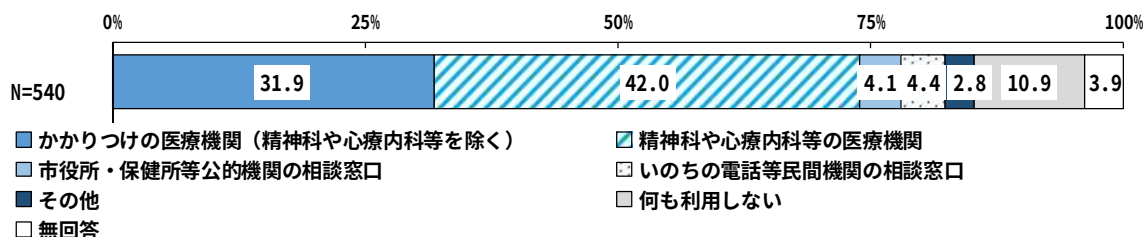
※問 35 は、調査票では単一回答の設問として出題したが、複数回答をした回答者が多かったため、回答をそのまま反映させて集計した。

(36) 「うつ病のサイン」に気づいたときに利用したい専門の相談窓口について

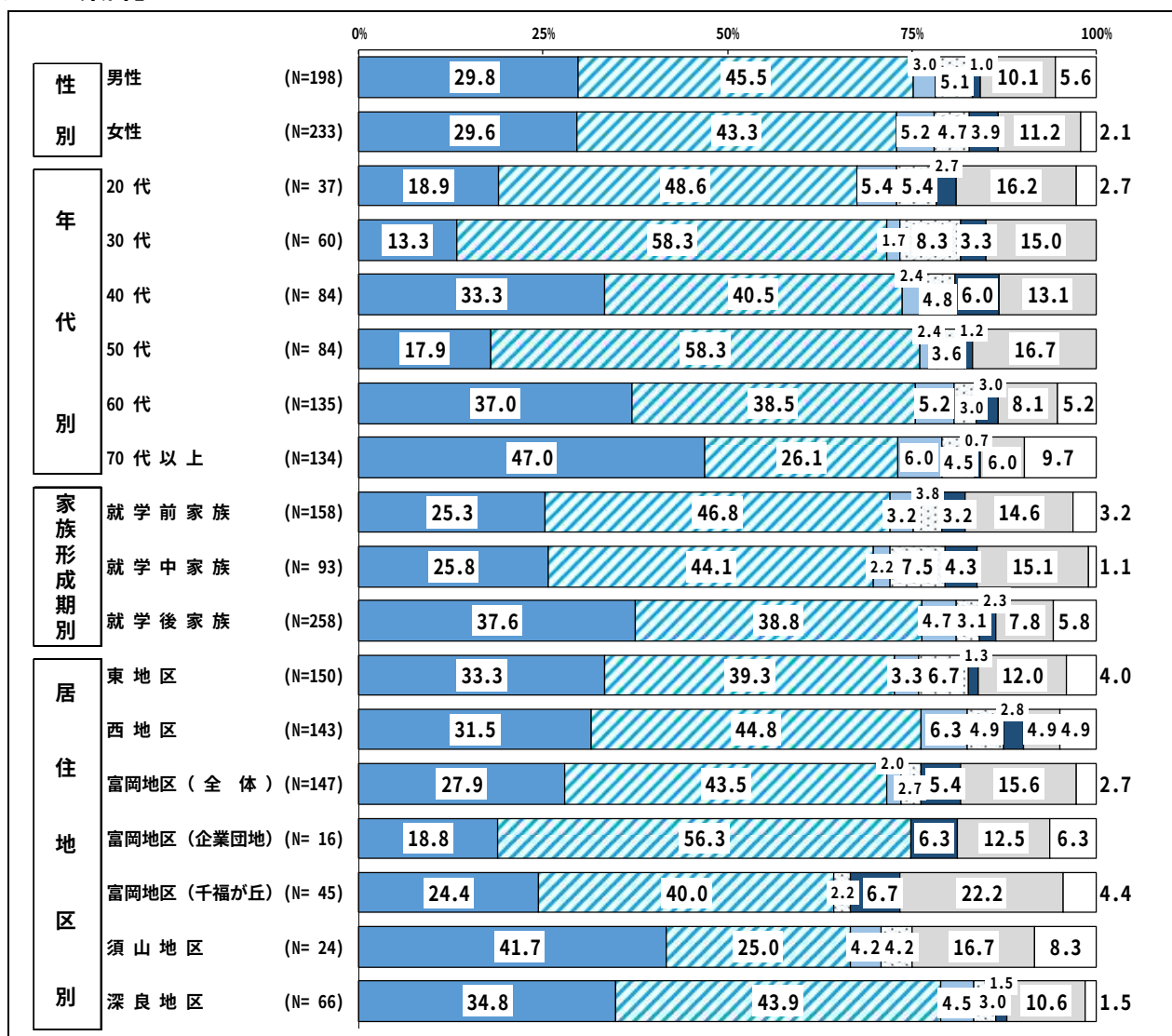
「精神科や心療内科等の医療機関」42.0%と「かかりつけの医療機関（精神科や心療内科等を除く）」31.9%が多く、共に3割を超えた。

年代別で見ると、30代・50代は「精神科や心療内科等の医療機関」が半数を占めた。また、70代以上は「かかりつけの医療機関（精神科や心療内科等を除く）」が他の年代よりも多かった。

問 36：もし仮に、あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、以下の専門の相談窓口のうち、どれを利用したいと思いますか。（単一回答）



【クロス集計】



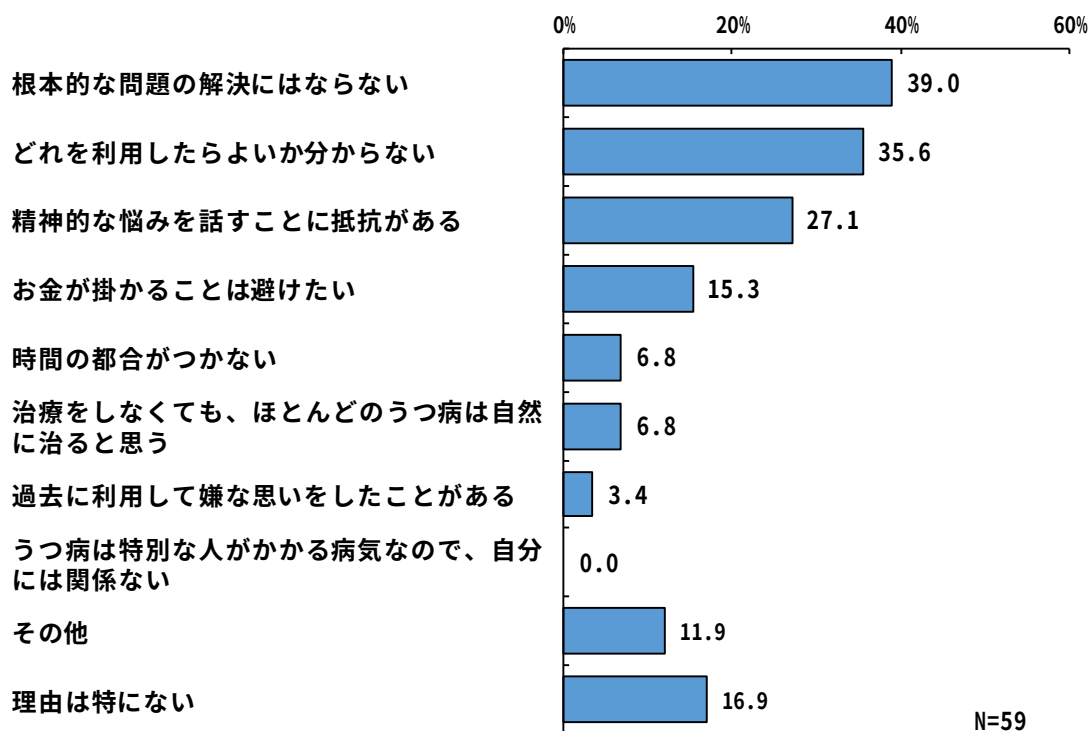
(37) 専門の相談窓口を利用しない理由について

「根本的な問題の解決にはならない」39.0%が最も多かった。以下、「どれを利用したらよいか分からない」35.6%、「精神的な悩みを話すことに抵抗がある」27.1%、「お金が掛かることは避けたい」15.3%と続いた。「理由は特にない」も16.9%を占めた。

クロス集計の結果は、次ページの集計表の通り。

問37：【問36で「何も利用しない」と答えた方】

何も利用しないのはなぜですか。（複数回答可）



【クロス集計】

単位：％

	調 査 数 （ 人 ）	お 金 が 掛 か る こ と は 避 け た い	精 神 的 な 悩 み を 話 す こ と に 抵 抗 が あ る	時 間 の 都 合 が つ か な い	ど れ を 利 用 し た ら よ い か 分 か ら な い	過 去 に 利 用 し て 嫌 な 思 い を し た こ と が あ る	い 根 本 的 な 問 題 の 解 決 に は な ら な い	う つ 病 は 特 別 な 人 が か か る 病 気 な の で 、 自 分 に は 関 係 な い	う つ 病 は 自 然 に 治 る と 思 う	治 療 を し な く て も 、 ほ と ん ど の	そ の 他	理 由 は 特 に な い
全 体	59	15.3	27.1	6.8	35.6	3.4	39.0	0.0	6.8	11.9	16.9	
性 別												
男 性	20	20.0	25.0	10.0	40.0	5.0	40.0	0.0	10.0	20.0	15.0	
女 性	26	11.5	23.1	0.0	30.8	3.8	42.3	0.0	7.7	11.5	15.4	
年 代 別												
20 代	6	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7	
30 代	9	22.2	33.3	22.2	33.3	11.1	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1	
40 代	11	9.1	18.2	0.0	18.2	0.0	27.3	0.0	0.0	27.3	36.4	
50 代	14	14.3	21.4	14.3	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3	7.1	
60 代	11	9.1	27.3	0.0	36.4	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1	18.2	
70 代 以 上	8	12.5	50.0	0.0	62.5	12.5	50.0	0.0	37.5	0.0	12.5	
家 族 形 成 期 別												
“就 学 前 家 族”	23	13.0	26.1	8.7	26.1	4.3	43.5	0.0	4.3	17.4	13.0	
“就 学 中 家 族”	14	28.6	28.6	14.3	42.9	0.0	42.9	0.0	0.0	7.1	21.4	
“就 学 後 家 族”	20	10.0	30.0	0.0	40.0	5.0	30.0	0.0	10.0	10.0	15.0	
居 住 地 区 別												
東 地 区	18	5.6	22.2	11.1	38.9	0.0	27.8	0.0	5.6	5.6	33.3	
西 地 区	7	0.0	42.9	0.0	42.9	0.0	71.4	0.0	14.3	0.0	0.0	
富 岡 地 区 (全 体)	23	30.4	21.7	8.7	39.1	0.0	34.8	0.0	0.0	21.7	8.7	
富 岡 地 区 (企 業 団 地)	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
富 岡 地 区 (千 福 が 丘)	10	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	30.0	20.0	
須 山 地 区	4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	
深 良 地 区	7	0.0	28.6	0.0	28.6	28.6	71.4	0.0	28.6	0.0	14.3	

設問中のその他の回答

各設問の選択肢のうち、「その他」の記入欄に寄せられた意見を取りまとめたものを掲載。

属性4：子どもの段階

※数が非常に多いため、代表的な回答のみを記載。

- 社会人。
- 結婚している。
- 既婚。
- 会社員。（など、子どもの職業）
- 主婦。
- 成人。
- 37 歳。（など、子どもの年齢）

属性5：世帯状況

※数が非常に多いため、代表的な回答のみを記載。

- 4 世代。
- 孫と2人で暮している。
- 4 人と曾祖母。
- 義兄夫婦と4人暮らし。
- 姪夫婦と同居。
- 老人ホーム入所。
- 本人と長男の嫁。

（7）各フロアの改善について ① 1 階

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ● 受付の機械化によるスマートさ。 | 【男性/20-24 歳/東】 |
| ● 順番呼び出しの方法の改善。 | 【男性/50-54 歳/深良】 |
| ● 市民課の順番（機械化）。 | 【女性/50-54 歳/富岡（企業団地）】 |
| ● 受付番号の呼び出し（掲示板）。 | 【女性/60-64 歳/西】 |
| ● 便利（市民課の表示板）。 | 【女性/65-69 歳/西】 |
| ● ナンバーディスプレイが良い。 | 【男性/65-69 歳/西】 |
| ● 窓口での対応が格段に良くなったと感じます。 | 【女性/30-34 歳/富岡（千福が丘）】 |
| ● 職員の対応が、とても良い。 | 【女性/60-64 歳/富岡（その他）】 |
| ● 対応がよかった。 | 【女性/70 歳以上/東】 |
| ● まだ慣れていないので初めはとまどった。 | 【女性/35-39 歳/西】 |
| ● 普通になった。 | 【 /65-69 歳/東】 |

（8）理想的だと思われるフロア

- | | |
|-------------------|----------------|
| ● 職員さんに声をかけやすい環境。 | 【女性/20-24 歳/西】 |
| ● 職員との距離感。 | 【女性/35-39 歳/西】 |

- 素早い対応。 【男性/20-24 歳/深良】
- ハード面よりも丁寧な対応を希望します。 【男性/45-49 歳/西】
- あいさつ、対応の仕方、軽い動き、行動の早さ。 【 /70 歳以上/富岡（千福が丘）】
- 効率的。 【男性/45-49 歳/東】
- 市職員のホスピタリティ。 【男性/50-54 歳/深良】
- 職員全員が笑顔であいさつ。 【男性/55-59 歳/富岡（その他）】
- 職員の机上が整理されていない。 【男性/65-69 歳/東】
- 市民課。 【 /65-69 歳/東】
- 見ていない。 【男性/55-59 歳/深良】

(11) スマートフォン（スマホ）の主な使用目的について

- カメラ。 【女性/20-24 歳/東】
- ナビ。 【男性/25-29 歳/富岡（その他）】

(13) 裾野市の愛着や誇りを感じるところについて

- 生まれ育ったところだから。 【女性/25-29 歳/深良】
- 生まれ育った場所なので。 【女性/35-39 歳/富岡（千福が丘）】
- 私が育った町、思い出のある町。 【女性/50-54 歳/富岡（その他）】
- 長年過ごした時間がある 【 /55-59 歳/東】
- 住み慣れている。 【男性/55-59 歳/東】
- 生まれ育った郷土だから。 【女性/65-69 歳/東】
- 産まれてからずっと住んでいるから。 【 /70 歳以上/須山】
- 新幹線へのアクセス。東名・新東名も近く好立地である点 【男性/20-24 歳/東】
- 東西どちらへも行ける場所。ほどよい自然。 【女性/35-39 歳/西】
- 東京・名古屋のほぼ真ん中で便利。御殿場・三島・沼津の真ん中で便利。 【女性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】
- アクセスの良さ。 【男性/65-69 歳/富岡（その他）】
- 富士山。 【 /45-49 歳/西】
- 富士山。 【女性/ /東】
- すそのん。 【女性/30-34 歳/西】
- 職場があるため。 【男性/45-49 歳/西】
- 住めば都。 【男性/45-49 歳/西】
- 教育充実 市講師の多さ。 【女性/50-54 歳/深良】
- ニュースで目にするような自然災害が、今の所、起きていないところ。場所によっては要注意な所もあります。 【女性/60-64 歳/西】
- 市の職員が市民の目線で物事に当たってくれる。 【男性/65-69 歳/東】
- 小さな町らしく落ち着いている感じ。 【男性/70 歳以上/富岡（千福が丘）】

- 年間の温度の差がなく最高です。山形県出身なので気候や富士山が家の中から見え、観光地で最高です。 【女性/70 歳以上/西】
- 自衛隊。一流の企業のある市です。この 20 年何の変化もなく、他の市町村に抜かれています。それが残念です。 【 /70 歳以上/富岡（千福が丘）】
- 高校生まで医療が無料。 【 / /富岡（千福が丘）】

(15) 裾野市に愛着や誇りを感じていない理由について

- 十里木別荘地に居住しているため、須山地区の区にも所属していない。 【男性/60-64 歳/須山】
- 近隣市町村と比較して、不便で劣っていると感じる部分が多く、逆に秀でている部分がない。 【男性/25-29 歳/富岡（その他）】
- 以前の所に比べて良い所が少ない（ソフト・ハード面共に）。 【女性/35-39 歳/西】
- 不便。 【 /50-54 歳/西】
- 居住地が市町境のため、市の行事に参加できない。夜間になるとタクシー以外交通手段がなくなる。 【 /65-69 歳/西】
- 交通の便の悪さ。 【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 買物に市外に行かなければならない道路アクセスの悪さ。 【男性/65-69 歳/西】
- お店もない、おしゃれじゃない、何もない、病院が少ない（皮膚科・眼科）。 【女性/ /富岡（その他）】
- 中学生になってから引っ越してきた。 【男性/35-39 歳/須山】
- 子どもの頃から住んでいるが、公園の整備、数、トイレなど全くかわったと思えない。 【女性/35-39 歳/東】
- 自治会の束縛が多すぎる。 【男性/45-49 歳/深良】
- 地区のムダな行事。運動会等。 【 /60-64 歳/富岡（その他）】
- 住んでいる人が閉鎖的な思考の人が多い。 【女性/65-69 歳/深良】
- 特に理由はない。 【女性/40-44 歳/東】

(16) 裾野市に愛着や誇りを持つために、満足度を上げるべき点について

- 道路。 【女性/55-59 歳/西】
- 高齢になるにしたがい、車からはなれるため交通の便を良くしてほしい。 【 /65-69 歳/西】
- 遊べる公園がなさすぎる。 【女性/40-44 歳/西】
- 公園の整備。 【 /65-69 歳/東】
- 例えば、スプレー缶を捨てる際の穴あけや、沼津のようなスーパーの袋をゴミ袋に転用できることなど、日々の生活活動の小さな部分が前時代的で、アナログなままの部分が多く、不便で面倒。全国的な大企業と、その他の地場企業との乖離が大きすぎる。 【男性/25-29 歳/富岡（その他）】
- 商業施設が充実していない。隣の長泉はどんどん開発されていくのに… 【男性/35-39 歳/富岡（企業団地）】

- 地域行事の減少。【男性/45-49 歳/深良】
- 駅近くで温水プールなどの施設。【 /70 歳以上/西】

(18) 地域活動や NPO 等の活動への参加について ②地域ボランティア活動に参加している

- 小学校。【女性/45-49 歳/富岡（千福が丘）】
- 小学校の図書ボランティア。【女性/50-54 歳/東】
- 朝の挨拶運動。【男性/70 歳以上/西】
- 8020 のお手伝い。西地区サロン。西小サロン。【女性/70 歳以上/西】
- みまもり隊。西小 PTA。【女性/70 歳以上/西】
- フラダンスであいの郷など訪問。【女性/50-54 歳/深良】
- フラダンスのサークルでの慰問。【女性/55-59 歳/東】
- 地区サロン。【女性/65-69 歳/西】
- サロン。【女性/70 歳以上/東】
- 近所の神社の掃除を月に 1 回行っています。【女性/45-49 歳/富岡（その他）】
- 自分の地域の清掃ボランティアに参加。【 /60-64 歳/西】
- 会社で行っている年 2 回の市ゴミ拾い。【男性/65-69 歳/東】
- フラワーロード（?）。【男性/55-59 歳/富岡（その他）】
- ふれあい上宿事務局。【 /65-69 歳/西】
- 今里地区協議委員。【 /65-69 歳/富岡（その他）】
- 裾野市生涯学習 For you。【男性/70 歳以上/富岡（その他）】
- みのり会・花の会。【女性/70 歳以上/富岡（その他）】
- バザー等の手伝い。【 /70 歳以上/西】

(18) 地域活動や NPO 等の活動への参加について ③NPOに参加している

- みどり作業所。【女性/35-39 歳/深良】
- 里山会公文名ファイブ。【男性/40-44 歳/東】
- NPO 静岡県防犯アドバイザー協会・あぶトレ・防犯教室小学校。【男性/65-69 歳/西】
- きゃべつクラブ。【男性/65-69 歳/深良】

(18) 地域活動や NPO 等の活動への参加について ④その他の活動・団体に参加している

- 婦人会・みのり会。【女性/65-69 歳/深良】
- 婦人会。【 /70 歳以上/東】
- 老人会。【女性/70 歳以上/須山】
- 老人会。【女性/70 歳以上/深良】
- 郷友会・老人会・ふれあい宿。【 /70 歳以上/西】
- シニアクラブ 70 歳以上。【女性/70 歳以上/富岡（その他）】

- バスケットボール。【 /25-29 歳/富岡（その他）】
- 婦人バレーボールクラブ。【女性/45-49 歳/東】
- グランドゴルフ・おどり。【 /70 歳以上/東】
- 女性消防団 06 会。【女性/40-44 歳/富岡（企業団地）】
- 女性部。【 /45-49 歳/西】
- 福祉会・文化協会。【女性/55-59 歳/富岡（千福が丘）】
- 自社のボランティア活動等。【男性/55-59 歳/富岡（その他）】
- 氏子総代会。【男性/60-64 歳/西】
- 須山囃子保存会・トヨタ連。【男性/60-64 歳/須山】
- よみきかせボランティア。【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 某大学講師、ママさんコーラス伴奏 etc.。【女性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】
- 郷友会。【男性/65-69 歳/西】
- 裾野市食生活健康推進会。【女性/65-69 歳/富岡（その他）】
- 海外友好協会。【 /65-69 歳/富岡（その他）】
- ニューカウンセリング団体・ヨガ団体。【 /65-69 歳/西】
- 裾野市書道連盟理事、民生委員で副会長（西地区）。【 /65-69 歳/西】
- 区の協議員（道路等）。【男性/70 歳以上/富岡（その他）】
- 介護家族の会のスタッフとして。【女性/70 歳以上/深良】
- 安全協会。【男性/70 歳以上/富岡（千福が丘）】
- 地区自治会。【男性/70 歳以上/西】
- ふれあいサロン。【 /70 歳以上/東】

(19) 地域活動や NPO 等の活動に参加していない理由について

- 自分自身の健康状態が良くない。【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 高齢のため。【女性/65-69 歳/西】
- 高齢のため。【男性/70 歳以上/西】
- 高齢。【男性/70 歳以上/西】
- 高齢のため。【女性/70 歳以上/東】
- 高齢の為。【女性/70 歳以上/西】
- 年齢的。【 /70 歳以上/東】
- 高齢だから。【 /70 歳以上/東】
- 高年齢で…【 /70 歳以上/東】
- 高齢のため。【 /70 歳以上/西】
- 高齢。【 /70 歳以上/西】
- 高齢と病気の為。【 /70 歳以上/西】
- 体調を崩しているため。【女性/40-44 歳/西】
- 体が弱い。【男性/50-54 歳/富岡（その他）】

- 病気。【女性/65-69 歳/東】
- 参加したいが、病気がちなので不可。【男性/70 歳以上/西】
- 健康が理由。【男性/70 歳以上/富岡（千福が丘）】
- 病気の為。【 /70 歳以上/東】
- 体調がすぐれない。【 /70 歳以上/西】
- 身体の調子が良くない。【 /70 歳以上/須山】
- 最近、健康を害している。【 /70 歳以上/深良】
- 骨折通院中。【 /65-69 歳/東】
- 身体が不自由で参加したいができない。【男性/70 歳以上/西】
- 年で足腰が悪いため家族が出ている。【女性/70 歳以上/東】
- 体が不自由。【女性/70 歳以上/富岡（千福が丘）】
- 体が不自由なため。【 /70 歳以上/富岡（その他）】
- 数年前までは親の介護と仕事・子育てと同時進行の為又、自分自身の体調不良もあった為。【女性/60-64 歳/西】
- 主人が要介護のため時間がない。【 /70 歳以上/深良】
- 妻が参加している。【男性/70 歳以上/深良】
- 参加する方法がわからない。【女性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】
- 仕事以外は、自分の時間にしたい。【男性/35-39 歳/須山】
- 飲食業の為、人と付き合う暇がないので。【男性/70 歳以上/東】
- 若い時に参加していた。【男性/50-54 歳/富岡（千福が丘）】
- 強制的に参加させられて嫌だ。（婦人会会員）【 /50-54 歳/須山】
- 参加していたが、考え方が全く違ったので…【女性/55-59 歳/東】
- 定年退職後の休息期間。【男性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】
- 車運転できないため。【 /65-69 歳/西】
- 人との対話が苦手。【男性/70 歳以上/西】
- いじめ有。【女性/70 歳以上/東】
- 以前裾野マラソン大会のボランティアに行きましたが、働いている人と働いていない人の差がありすぎて嫌になりました。何で市の人はいすに座ってふんぞり返っているのですか？こりました。【女性/ /富岡（その他）】

(20)「まちづくり」に参加したいか

- 参加はしたいのですが、ちょっと体の不自由な所もあり迷惑をかけたくないという。【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 元気になれば…。【 /65-69 歳/東】
- 参加したいが、体力に自信なし。【男性/70 歳以上/西】
- 参加したいが、病気がちなので不可。【男性/70 歳以上/西】
- 体力的にできない。【男性/70 歳以上/富岡（千福が丘）】

- 体が動かせない。【 /70 歳以上/東】
- 体調不調のため。【 / /東】
- 老人の為。【 /70 歳以上/東】
- 高齢の為。【女性/70 歳以上/西】
- 高齢者なので思わない。【女性/70 歳以上/富岡（その他）】
- 障害があるので、行動範囲には制限される。【女性/65-69 歳/西】
- 新入社員であり、今は仕事で手一杯である。将来的には少し思う。【男性/20-24 歳/東】
- 忙しくて参加は厳しい。【 /50-54 歳/富岡（千福が丘）】
- 参加できない。【男性/50-54 歳/富岡（その他）】
- そのうちかわりたい。【女性/35-39 歳/西】
- 内容による。【男性/45-49 歳/西】
- 自分に出来ることがあればその時考える。【女性/70 歳以上/東】
- まちづくりの会の内容が自己満足の世界。【 /65-69 歳/東】
- 趣味をしている。【女性/70 歳以上/西】

（21）どのような形で「まちづくり」に参加したいか

- 環境整備（花壇づくり）等があれば手伝いたい。【女性/55-59 歳/東】
- 地区の清掃とか花壇の花づくり。現在実施しています。【男性/65-69 歳/東】
- 気軽に意見を述べられる形での参加。【女性/35-39 歳/西】
- 不便なところを改善、市民の声を聞く。【女性/45-49 歳/西】
- 芸術・文化向上また健康に関すること。【女性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】
- 地域共用。【女性/70 歳以上/西】
- 参加してみたいが、仕事が忙しい。【女性/45-49 歳/東】
- 運営側に参加したい気持ちはあっても、経済的事情で不可能。【男性/50-54 歳/富岡（千福が丘）】
- 数年前に、ヒザを痛めている為、迷惑をかけない範囲で。【女性/60-64 歳/西】

（23）協働によるまちづくりを進める上で重要な主体について

- 個々の意識を高めるための諸施策。【男性/45-49 歳/西】
- 自治会を構成する住民の経済状況。【男性/50-54 歳/富岡（千福が丘）】
- それぞれの分野の代表で構成されるメンバー。【男性/65-69 歳/富岡（その他）】
- 担当の課がリーダーシップを取ること。【 /65-69 歳/富岡（その他）】
- 市の職員の方が率先してボランティアに行き、働く所を見せれば、皆もついて行くと思います。【女性/ /富岡（その他）】
- 行政が自信がないから、市民をまき込みたいのか？【 /65-69 歳/東】
- わからない。自分の生活でもう目いっぱいと考えられない。【 /65-69 歳/富岡（千福が丘）】

(24) 協働して取り組む必要性の高い分野について

- ワークライフバランス改善。【男性/25-29 歳/ 】
- 市外からの転入増加のための整備よりも、市民のサービス満足度を上げることを優先してほしい。【男性/25-29 歳/富岡（その他）】
- 障がい者雇用。【男性/45-49 歳/西】
- 裾野は子供の遊べる公園がなさすぎる。【女性/ /富岡（その他）】

(25) 協働によるまちづくりのために市民ができることについて

- 文化・芸術に関する、特に音楽分野で喜び・感動・癒し・楽しさを感じる。【女性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】
- まちづくり団体のメンバーにならなくても、意見やアイデアを提案できる場があれば、随時行えると思う。【男性/25-29 歳/富岡（その他）】
- アンケートなどの返送。【男性/45-49 歳/西】
- 草刈り、清掃などに参加できる。【男性/70 歳以上/深良】
- できない。【男性/50-54 歳/富岡（その他）】
- 仕事上、申し訳ありませんが生活しているだけなので…。【男性/70 歳以上/東】
- 必要性は理解しているが参加できない。【男性/70 歳以上/西】
- 参加したいが、できません。【女性/70 歳以上/東】

(26) 協働によるまちづくりのために区（自治会）ができることについて

- 現状の自治会活動は、地域の発展を目指すというより、自治会そのものを維持するための組織となっており、無駄が多すぎる。結果、特に若い世代や、区外から転入してきた住民などから敬遠されている。自分自身も、強制的に参加させられているという意識が強く、タイミングさえ合えば、区外、もしくは、市外にすぐにでも出ていきたいと思わされている。【男性/25-29 歳/富岡（その他）】
- 住民に近い自治会が、住民の生活での問題点・改善を希望している点を吸い上げ、行政や企業と共有することで、まちづくりに活かす。【女性/30-34 歳/富岡（企業団地）】
- 目標をかかげても、景気低迷の折、格差が生まれており、若者は生活費を稼ぐのが精一杯であり、全般的に余裕がないと物事が、はかどらないように思います。【女性/60-64 歳/西】
- 若者を多く参加させる。【女性/65-69 歳/東】
- 区の仕事をこれ以上増やさないで欲しい、市でやって欲しい。【女性/ /富岡（その他）】

(27) 協働によるまちづくりのために行政がすべきことについて

- 企業との協働推進。市内の企業に勤務する市民も多いと思いますので、企業との連携を図ることが市民生活改善のために重要であると考えます。【男性/25-29 歳/ 】
- 具体的な、「田園未来都市」の構想の開示と発信。【男性/50-54 歳/西】

- 自治会やまちづくり団体よりも強い権限を持って、リーダーシップを発揮し、多少強引にでも行政が旗を振って進めていくべきだと思う。 【男性/25-29 歳/富岡（その他）】
- 協働の目的・活動等・地域住民に対して説明し、今後の活動等を発表する。 【男性/40-44 歳/富岡（千福が丘）】
- 行政側の強力な指導（予算も含め）が必要。 【 /60-64 歳/西】
- 市の職員が率先して動いて欲しい。 【女性/ /富岡（その他）】

（31）岩波駅を便利に使うために必要なものについて

- 送迎で自家用車使用が多い駅なので、車の臨時駐車場を近隣に設置する。 【男性/35-39 歳/須山】
- 送迎用の駐車場。 【女性/45-49 歳/須山】
- 駐車場。 【男性/50-54 歳/富岡（千福が丘）】
- 駐車場。 【女性/50-54 歳/富岡（その他）】
- 利用者の為の駐車場が欲しい。 【男性/55-59 歳/富岡（その他）】
- 駐車場が必要。 【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 送迎の車の駐車スペースを広く。 【 /70 歳以上/須山】
- 駅周辺の道がせまい、バスが通るには小さいロータリー。 【女性/45-49 歳/西】
- 送迎が混雑して危ない。 【 /50-54 歳/須山】
- 終電を遅くする。 【男性/30-34 歳/西】
- 便数の増加 【男性/35-39 歳/富岡（企業団地）】
- 洋式トイレがほしい。 【男性/25-29 歳/富岡（企業団地）】
- トイレがせまい。使用しやすくしてほしい。 【女性/30-34 歳/富岡（企業団地）】
- トイレの改善。和式から洋式へ。 【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- バス・タクシー等の充実。 【 / /富岡（千福が丘）】
- 駅前の活性化。 【男性/35-39 歳/東】
- 売店・コンビニがほしい。 【女性/35-39 歳/富岡（企業団地）】
- 沼津駅のような駅前。 【男性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 売店。 【女性/50-54 歳/深良】
- 便数を多くする。 【女性/65-69 歳/深良】
- 現在の入り口だけでなく、反対側からも入れるようにしてほしい。 【男性/25-29 歳/富岡（その他）】
- 深良駅の新設。 【男性/40-44 歳/西】
- エスカレーターの設置。 【女性/40-44 歳/須山】
- 1F にする。階段が危ない。 【女性/50-54 歳/深良】

（34）自殺したいと考えた時の乗り越え方について

- 仕事を辞めた。 【男性/25-29 歳/富岡（その他）】

- 入院した。【女性/35-39 歳/東】
- 自ら命を絶つことで悲しむ人が居ることに気づいた。【男性/50-54 歳/西】
- 自分自身に言い聞かせた。もし自殺したら、残された人がどうなるかと考えてやめた。【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 前向きになれる本を何冊も読んだ。【女性/ /富岡（その他）】
- 10 代の多感な時期。本を読み乗り切れた。【女性/65-69 歳/西】
- ペットの存在。【 / /富岡（千福が丘）】

(35) 身近な人から「死にたい」と打ち明けられた時の対応について

- 話を聞いたうえで解決策と一緒に考える。【女性/20-24 歳/富岡（千福が丘）】
- 当事者の話を聞き、「今後生きていくために何をしたら良いのか？」と一緒に考え提案し方向性を決める。【男性/55-59 歳/富岡（その他）】
- 死にたいと思った理由は聞きたいと思う。【女性/35-39 歳/富岡（千福が丘）】
- 理由を聞く。【 /70 歳以上/深良】
- 相談にのって一緒にいてあげる。【女性/40-44 歳/富岡（その他）】
- とにかく側にいる。【女性/30-34 歳/富岡（千福が丘）】
- 何もせずできるだけ一緒にいる時間を増やす。【女性/40-44 歳/東】
- まずよく話を聞いて、死ぬ気があれば何でもできることや、もっと苦しんでいる人もいることを考えるように話すが、病気なら医者任せの方が良い。【女性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】
- 人により違うと思う。その人の性格によって対応を変えたい。【男性/35-39 歳/東】
- 死ぬまで生きる事をすすめる。【 /65-69 歳/東】

(36) 「うつ病のサイン」に気づいたときに利用したい専門の相談窓口について

- 職場のナース等に相談。【男性/30-34 歳/西】
- 家族、友人、職場の相談窓口。【女性/20-24 歳/西】
- 夫に相談するか、親に相談する。【女性/40-44 歳/富岡（その他）】
- 家族。【女性/40-44 歳/深良】
- 友人や近い人に相談する。【女性/50-54 歳/西】
- まず、家族に話すと思う、でも無いと思う。【女性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】
- とりあえず身近な人に聞いてもらう。【女性/65-69 歳/東】
- 自分の性格上ボケになる事はあってもうつ病になることはないと思う。【女性/40-44 歳/富岡（その他）】
- 自分で感じる症状・見てわかる症状ならお寺、身体に出る症状ならかかりつけの医療機関に行く。【 /65-69 歳/富岡（その他）】
- 自分にとって、何を利用するべきか判断できないと思う。【女性/45-49 歳/西】
- 自分自身が分からないと思うので。【 / /東】

(37) 専門の相談窓口を利用しない理由について

- うつ病ではない他の病気を疑った上で、とりあえず、市販の風邪薬等を服用すると思う。
【男性/25-29 歳/富岡（その他）】
- うつ病のサインで受診したらほぼ1年中病院に行かなくてはならない。
【男性/40-44 歳/富岡（その他）】
- おそらく何もする気が起きないから。
【女性/40-44 歳/富岡（千福が丘）】
- 悩みを相談しても、理解してもらえないことが多い。
【女性/40-44 歳/須山】
- 社会復帰できなくなると困る。（履歴が残り、悪用される等）
【男性/50-54 歳/富岡（千福が丘）】
- 家族（主人）に相談する、話をする、聞いてもらう。
【女性/55-59 歳/東】
- 自分のことは自分です。
【男性/65-69 歳/富岡（千福が丘）】

自由意見

調査票の最後に設けた自由意見記入欄に、市民の皆さまから寄せられた提案・意見を取りまとめた。頂いた提案・意見は主なテーマごとに分類した。

《子育て・教育・生涯学習》

- 今住んでいる近くに公園がありません。あっても整備されておらず、草が生えていたり、遊具があまりない公園です。子どもが自由に走ったり、遊んだりできる公園がもっとできればよいと思います。【女性/20-24 歳/東】
- 他の市からも来られるような支援センターや商業施設を作るなどするともっと活気があふれる街になると思います。【女性/20-24 歳/東】
- 小さな子供が遊べる屋内外の施設が欲しいです。年中利用できる支援センターがない。【女性/35-39 歳/西】
- 子育て中のママさんたちが遊ぶところ、なかなかありません。わざわざ長泉や御殿場などきれいで整備されている公園に行くことが多くとても残念だなと思います。中央公園なんかならないのでしょうか。【女性/40-44 歳/西】
- 運動公園のすべり台が大きいすべり台のみになってしまいましたが、以前のように小さいすべり台も増設してほしいです。幼児は大きい物では怖がります。【女性/55-59 歳/富岡（千福が丘）】
- 長泉町のウエルピアのような施設があって子供から高齢者までが気軽に利用できる施設を作してほしいです。【女性/55-59 歳/富岡（千福が丘）】
- 公園も必要。【女性/60-64 歳/東】
- 裾野は富士の方みたいに公園などが少なすぎる。もっと公園を増やしたりしたらどうですか？犬などと一緒に散歩ができたり子供達が外で遊べたり出来る所を作してほしい。【 /60-64 歳/東】
- 他の市は子供が遊べるきれいな公園がたくさんあるのに裾野市には見当たりません。【女性/ /富岡（その他）】
- 裾野市に移住してくる人が増加しているが、幼稚園が問題。西幼稚園に園児が偏っている。西幼稚園の近くにもう一つ必要だと思う。【女性/25-29 歳/西】
- 保育園に入りやすいようにしてください。安心して子供を産みたいです。【女性/25-29 歳/ 】
- 待機児童（保育園）の問題は解消されているのでしょうか？【女性/35-39 歳/西】
- 幼・保の臨時職員の多さに不安を感じます。能力のある人がたくさんいるのに、正規になる機会がなく、待遇も悪いのでこれから働こうと思う人は少なくなると思います。実際、他市町の方が給料・福利が良いので、そちらに移る人が多数いて、これからも増えると思っています。【女性/45-49 歳/西】

- 高齢化が進行の中で、高齢者に対する取り組みを行うことは大切であるが、将来の裾野市が周囲の市町と良い意味で差をつけて、健全な行政と安心の市民サービス、豊かな生活を実現する為には、子育て、教育といった若い世代に対する施策を今にも増して行う必要があると考える。1つ1つの施策を単発で行うのではなく、市全体に広く周知され市民自ら行動（協力）したくなるような情報発信やきっかけ作りを市（行政）が積極的（保守的思考にとらわれない）に長いスパンで取る必要があるだろう。私も裾野市の将来を他人任せにせず、自ら積極的に考えて、協力したい。

【男性/20-24 歳/東】

- 私は1歳の子を育てる母親です。裾野に引っ越してきて、もうすぐ2年が経ちますが、住むのには困らない街だと思います。自然が多くあるのも魅力的です。しかし、子育てをする者として、子育てイベントを増やしたり、子育てをするママ達が交流できる場を設けたり、自然の中で安全に遊べる（水あそび・川あそび）場所を作ったりするともっと良いなと思います。

【女性/20-24 歳/東】

- 将来的に子どもが欲しいが、妊娠や子育てでどのような支援を受けることができるか分からない。回覧等で様々な制度が知れるとありがたい。

【女性/25-29 歳/西】

- 子育て支援のサークルが多数あるのに知っている人が少ないように感じる。もっと知ってもらえるといいのと思う。

【女性/35-39 歳/西】

- 子育て中のお母さん方が裾野市でとても頑張っているのを最近知りました。もう少し市のサポートや、告知などがあると良いなと思います。

【女性/40-44 歳/西】

- 子供に関する制度等の充実。（教室とか）

【男性/30-34 歳/富岡（その他）】

- 小学校が遠く、通学も不安です。

【男性/35-39 歳/西】

- 10・20年後の裾野を作るのは子供たち。奥深い教育（学習・教育・スポーツ環境・国際交流など）を希望します。

【女性/40-44 歳/富岡（その他）】

- テレビなどで、学校へのエアコン取り付けのニュースを見ました。裾野市はどうなっていますか？ 暑い中での学習に成果を感じませんが…。教育にいちばんお金をかけてあげて下さい。

【女性/70 歳以上/西】

- スポーツなど土・日曜などに、講師・インストラクターなど招いて教室をしてもらいたい。（バドミントンやバレーボール等、勤務している人でも参加できるように）

【 /45-49 歳/西】

- 地区の公民館等を利用し、住民によるボランティアを行うのはどうでしょうか。下校後の子供達の宿題をみてあげたり、遊んであげたり。退職した教員・保育士・子育ての終わったシニアなど、各自得意な事を教えたり昔ながらのそろばんや本の読み聞かせ、あやとり等に。むずかしい課題もあるでしょうが地区全体で子供達の応援ができたらしかなと思います。

【女性/65-69 歳/東】

- 市民が学ぶ場としての講座に対する予算が少なすぎると感じている。講座を増やすと他講座の回数を減らす。要望がある以上、（市としても PR を充実させる）予算を増やし、市としての講座としての数や回数を増やしてほしい。何に予算を使うのか。魅力ある市は何か。よく考えて下さい。

【 /65-69 歳/西】

《福祉・医療》

- そろそろちゃんとした救急病院が市内にも必要だと感じる。【男性/35-39 歳/須山】
- 二次救急にしっかり対応できるような中核医療施設が欠如している。病院の医師確保等、行政は補助金を出している以上、もっとしっかりと関与して質を向上させるか、大学病院等の誘致を進めるべきと考えます。【男性/50-54 歳/深良】
- 子供に対する手当てや医療補助などかなり優遇されているが働き盛りの人や高齢者への手当てがなく不公平さを感じています。実際、子供手当ては親が自由に使っているのが現実です。もっと公平にして欲しい。せっかくある病院も医者が居なかったり、次々開業され十分に機能出来てない。結局他の地区の病院まで行かなきゃならない。もっと機能する病院にして欲しい。【女性/50-54 歳/東】
- 良い病院が欲しい。市内病院を良くし、市外に行かなくても治療できるようにして欲しい。眼科・耳鼻科が少ない。【 /65-69 歳/東】
- 病院の医療の充実を考えて下さい。年配の方々が困っています。【男性/70 歳以上/西】
- 高齢者対策として、病院はもっと法律を守った親切な施設にしてもらいたい。この施設が裾野市のイメージを壊している。阿波踊りに精を出すくらいなら介護に力を注ぐよう指導をしてください。【男性/70 歳以上/西】
- 高齢者対策が充実してきているのは確かですが…介護を仕事にしている人間には、全体的に配慮が薄いと思います。働いている人間のために、これからの高齢化社会のために良くしてもらいたいと切に願います。（税金等の緩和等）【男性/30-34 歳/深良】
- 決して中心部？とは言いがたい、裾野駅・市役所周辺ばかりきれいにしないで、他の福祉などにもっと予算を投じてほしいです。本当に喜ぶのは誰か。疑問です。【男性/35-39 歳/西】
- 医療費が高すぎるのではないのでしょうか？今まで1割でしたが、収入により3割になり驚きました。市の方へ言っても国（厚労省）が決めたからしょうがないと思いますがひどすぎると思います。元へ戻して頂きたいと思います。【 /70 歳以上/富岡（企業団地）】

《商業施設・企業誘致》

- お店のアクセスは良く、助かっています。【女性/25-29 歳/西】
- 商業施設、公園、飲食店を増やしてほしい。現状では上記施設が少なくどこも混雑してしまっている。【女性/30-34 歳/富岡（その他）】
- 震災の時に感じたが、商業施設が少ないため市内に物資が少ないと思った。買占めがあったのかもしれないが、店が少ない分、物自体が少ないのでは。工業の誘致もいいが商業施設の充実化も大切だと感じた。【女性/40-44 歳/富岡（その他）】
- 県外から裾野市へ転入して、20 年になります。女性ですので、毎日の食料品やその他の買い物が出る店舗が少しでも増えて欲しいのですが、あまり変化がなく、さみしいです。【女性/45-49 歳/富岡（その他）】
- バイパス（246 号線）沿い、インター通りがさびしい。御殿場市のように店が増えてほしい。【女性/50-54 歳/富岡（その他）】

- さびれすぎ。まず道路整備をし、コストコなどの商業施設を作るべき。人が集まらなければ、活性化しない。 【男性/55-59 歳/西】
- 裾野市は隣町の長泉町に比べて、開発が進んでいないように思う。商業施設・飲食店が少なく、市外へ行く人が多いように思う。若者が多く住みたくなる街づくりを望みます。 【女性/55-59 歳/富岡（千福が丘）】
- 商業施設を充実してほしい。 【男性/60-64 歳/東】
- 大型店舗・レストランなどが少ないので、裾野市内で行ける・済ませることができると良い。 【女性/60-64 歳/東】
- 市内に、食事のできる店とか、洋服店とか少ないので、できたら、うれしいです！ 【女性/60-64 歳/西】
- 企業の誘致を積極的に行い雇用の促進を進める。収入が安定し法人税、住民税が増え、市が豊かになり観光施設や福祉が良くなる。 【男性/65-69 歳/西】
- 御殿場市内には大型店が多くあり、ついつい日常品買物は御殿場市に行ってしまうが、裾野市内にも魅力ある大型店の誘致と連動した定住人口を増やしてほしい。 【男性/65-69 歳/富岡（その他）】
- 広大な土地を利用した、大型のショッピングモールの計画。 【男性/65-69 歳/富岡（その他）】
- ショッピングセンター・公園など他地区からもたくさん来てくれる様な所がほしい。実際、私も裾野市ではあまり買い物をしない。 【 /70 歳以上/西】
- 生活でいま不便を感じているのが、この辺に、衣類・日用雑貨などの店がなく、わざわざ三島の方まで買い物に行かなくてはならないことです。ぜいたくな悩みですか？でも、そうしたお店が出来れば住み良くなり、人口も増えていくのでは？ 【女性/65-69 歳/深良】
- 裾野市内には新しい店ができない。だから人も集まってこない。長泉→御殿場へと裾野を通り過ぎてしまっている。駅前開発も全然進んでいないのでは。駅前通りも全く元気がない、50 年前私たちが移り住んできた時節と変わっていない。これでは新しい店も来ないのでは？…もっと、もっと人が集まる町づくりにしていかななくてはと思います。三島の町並みを参考にしてもいいですよ。10 年であんなに変わりました。裾野市は今何をどうしたいのか、もっと、もっと頑張ってください。そして、市民にもわかりやすくして下さい。 【女性/70 歳以上/富岡（その他）】
- ランチに行くにも、他の市に行かないとお店がありません。 【女性/ /富岡（その他）】

《駅と周辺》

- 裾野駅周辺整備を早く進めてほしい。 【女性/20-24 歳/西】
- 裾野駅前の整備を早急にして欲しい。 【男性/35-39 歳/東】
- 裾野駅前のパッと広がる明るさがほしい。 【男性/70 歳以上/西】
- 裾野駅は 20 時過ぎに降り立つと暗くてタクシーもない。 【男性/70 歳以上/西】

- 岩波駅と裾野駅のトイレを和式から洋式に替えて欲しい。歳をとって、ヒザや股関節が痛くて困っています。トイレの使い方を書いた、外国人向けの説明書が貼ってありますが、この前、裾野駅のトイレを見たら、汚れていて、もし観光に来た人が入ったら、汚い町だと思われてしまうとても残念です。私自身、足が痛いので、トイレには入りませんでした。
【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 岩波駅、混雑時のマナーの悪さ（歩行者の安全を守る為、歩道橋や信号機の設置はできないか）
【女性/45-49 歳/須山】
- 岩波駅前の整備を。
【女性/50-54 歳/深良】
- 岩波駅にもエレベーターを設置してください。私は一步一步左足だけで上っています。大変なことです。
【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 駅前開発よりもっと先にやる事は沢山あるはず、一旦白紙に戻して考え直すべき。財政が厳しいなら尚更のこと。
【男性/40-44 歳/西】
- 駅前開発。約 10～15 年前に立ち退きを実施したのに、跡地が宅地になっていて驚いた。商業施設を作るのではなかったのですか？
【女性/40-44 歳/西】
- 駅前開発…住宅ばかり建っていて、商店等は目立たない。御殿場駅前のにぎやかさ、長泉なめり駅前のきれいな所の一部でも駅前にできれば良いのにな…と思います。
【女性/55-59 歳/東】
- 駅前再開発はどうなるのか。やっていることがよくわからない！
【男性/60-64 歳/東】
- 駅周辺の利便性が悪い。車がないと生活できない。深良駅を新設し、その周辺に公共施設をまとめる（図書館・市役所・体育館・警察署など）
【女性/45-49 歳/須山】
- 駅に人がいない（祭り以外人が来ない）
【女性/50-54 歳/東】
- 駅前が、にぎやかになってほしい。
【女性/55-59 歳/東】
- 駅前のメインストリート（？）の活気のなさが、わびしい。三島・御殿場の間で魅力がないと感じる。買い物は市内ではほとんどしない。
【女性/55-59 歳/東】
- 新道通り商店街を整備していますが各商店は営業を続けていくつもりがありますか？せっかく大金を使ってきれいにしてもシャッター通りになったら意味がありませんよね。昔から新道で買い物をしてもいい思い出がないので…。すいません、余計なことを書いてしまいました。
【女性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 駅前の整備拡張をしたのに個人の店がバラバラで統一感が全くない。何のための整備か疑問。大型店の誘致とかの努力を市の方でもすべきだ。
【男性/70 歳以上/東】
- 裾野市の駐車場がないので不便です。以前は駅近くにあったので助かりました。少々使用料をとっても、あると安心して車を停めることができます。事業用地がたくさんありますがもっと有意義に使ってほしいです。
【男性/70 歳以上/東】
- 駅周辺で（20～30 分）歩いての場所に、いこいの場所がなく、観光に、世界遺産などの喜びを表している物もない。（人を迎えるような心が感じられない）
【 /70 歳以上/西】

《公共交通》

- 交通の便に関して。市役所と福祉保健会館を移動したいと考えた時に、バスや電車で行くのが不便。バス・電車の本数が少ない上、施設に案内もない。（もし、案内がどこかに書かれてあるとしたら、わかりにくい。）福祉保健会館に行く際、市のHPを調べたが、地図しか載っておらず（又は、探しきれず）、岩波駅方向から公共交通機関で行く方法が分からない。市民が車を所有していない場合についても、考えて頂きたい。
【女性/30-34 歳/富岡（企業団地）】
- 東京方面へのバスは充実しているのに、なぜ名古屋方面へのバスや公共交通機関は少ないのでしょうか。
【男性/35-39 歳/富岡（企業団地）】
- 公共交通機関が少ないため車を使わざるを得ない。気軽に掛けたらより良い。
【女性/35-39 歳/西】
- 車を運転しない人が便利に生活できると良いです。今は、車で移動するので、不便を感じませんが、高齢になり運転できなくなったら考えると不安です。
【女性/50-54 歳/深良】
- 車が運転できなくなったらどうしようかと今から不安。（バス停は遠い、便は少ない、ルートは市内ばかり）
【女性/55-59 歳/東】
- 市街地から離れるほど、バスの利用が必要だと思います。タクシーを使いたくても毎月高額になってしまうためあまり使えません。バスで出掛けたくても、帰りのバスが良い時間がないので使えません。これから将来高齢化が進んでも、車なしではとても不便な生活になってしまうので、運転に自信が無くなってきても、車が手離せなくなる方も多くなってしまいます。市民全てが裾野市で安全で安心して生活できるよう、より、公共の交通面の充実が必要だと思います。
【女性/40-44 歳/東】
- 裾野市は、基本的に住環境はとても良いのですが、一時的にではなく永住を考える時、あまりにも不便です。将来の通学、生活の利便性を考えるとやはり他市への転出をまず考える人がほとんどでしょう。公共の交通が不便すぎ、時刻や経路がほとんどわからないため、利用する気が起きません。車に頼らない交通網の整備、生活に便利な地区の住宅地への転用を進めていかない限り、他市への人口の流出は止まらないと思います。
【女性/40-44 歳/富岡（企業団地）】
- すその一は誰も利用していないので、即時に廃止すべき。税金のムダ使いなのでやめてほしい。
【男性/45-49 歳/東】
- 市のバスも停留所がなくなり何十年も前から車がなければ生活出来なくなっている。これから歳を重ね不安であるが家を建ててしまったので他に行く事も出来ない。書き上げればきりが無いが、多少でも何とかなら期待を込めてメールします。
【女性/50-54 歳/東】
- バスを呼子まで来てほしい。（すその一？）
【女性/50-54 歳/富岡（その他）】
- 移動手段に不便を感じている人は多いと思うのですが、コミュニティバスを目にする時、ほとんど乗客がいません。何か良い方法はないのでしょうか？
【女性/55-59 歳/東】
- 千福が丘に在住しています。バスの利用者が少なく、バスがなくなりそうです。限界集落でもないのに残念です。千福が丘は下水道も自活で頑張っており、同じ税金を納めています。どうか行政の力で、下水道・交通手段を考えて下さい。
【女性/55-59 歳/富岡（千福が丘）】
- 公共バス等に関しては、自治会に任せるのではなく、行政が何とかすべきなのは…。
【女性/55-59 歳/富岡（千福が丘）】

- 裾野市へ転入して思う事は、市内に飲食店等少なくバスや電車の交通の不便さ、車の運転ができなければ買い物難民になってしまう。自宅横の道路は深夜まで音がうるさくホコリもひどいので外に洗濯物や布団が干せない。若い人に魅力ある町作り、高齢者に優しい医療や介護の充実を希望します。
【女性/55-59 歳/富岡（その他）】
- ほとんど利用されていないバス会社がある。時間帯利用する人が呼んでくる、といった利用方法もあるのかな、と。
【男性/60-64 歳/富岡（その他）】
- 公共機関を利用したい時や買い物の時・高齢になった時、交通の不便さに不安を感じます。一人暮らしが増える昨今、日常生活が不安なく過ごせるよう交通機関・医療等利用できる裾野市を希望します。
【女性/65-69 歳/深良】
- 沼津駅の高架については早く推進市から脱退して正義感を示すべき。
【男性/70 歳以上/西】
- ヘルシーパークの往復バスの件ですが、無料ではなく 1 人 100 円でも運賃を払えば、バスの何かの足になるのでは。
【女性/70 歳以上/富岡（その他）】

《道路》

- 速くやりかけの道路を完成して欲しいです。
【男性/25-29 歳/東】
- 穴が開いている市道や私道が多すぎる（道路が汚い）。雑草が生えすぎて、道を走っていると当たるので早く刈ってほしい。
【女性/50-54 歳/東】
- 道路がいつまで経っても整備されない。遅すぎる。隣の長泉町はとても早く、どんどん整備され、町が活性化していつにないのに。渋滞が多く、危険。主要道路でも右折ラインがない。
【女性/55-59 歳/西】
- とにかく道路状況が悪い。車・タイヤが傷む。整備補修しても、すぐに掘り返すから、継ぎはぎだらけ…。イヤになる。
【女性/55-59 歳/富岡（その他）】
- 市道が、全体的に白線が消えている。とくに区の中の狭い道路の一旦停止の線が消えていて、危険である。早急に対処すべきだと思います。
【男性/65-69 歳/東】
- 歩道が狭い道が多く、ベビーカーで移動しづらい。特に旧 246。
【女性/30-34 歳/西】
- 道路（旧 246）と駅前の整備を。
【女性/50-54 歳/深良】
- 幹線道路（旧 246 号線）の右折レーンの設置による渋滞の解消。
【男性/65-69 歳/西】
- 旧 246 から駅方面、市役所、キミサワ方面への右折車線を早急に整備すべき。
【男性/70 歳以上/西】
- 西地区の通学路の安全を見直してほしい。運転手や子供達が危険に感じる所があるように思います。
【女性/35-39 歳/西】
- スクールゾーン・通学路の道幅の確保。大橋病院から西中学へ行く道は、朝も夕方も子供達が車を避けて歩いています。可哀想です。
【 /45-49 歳/西】
- アンケートの実施ありがとうございます。数年前転入し、朝夕の道路渋滞に驚きました。特に、深良上原や裾野 IC 入口・深良南堀等です。対策を考えられていると思いますが、ぜひ解消に向けて継続検討・実施をよろしくお願いします。
【男性/30-34 歳/東】
- 8:00 前進入禁止の場所があり車で行けない。
【男性/45-49 歳/東】
- 道が狭い。
【男性/45-49 歳/東】

- 裾野市内に限らないが国道 246 号線の合流加速車線に駐車している大型車をよく見かける。裾野圏ではあたりまえの光景かもしれないが、県外から来てとにかく驚いた。いつも危険だと思っている。加速してスムーズかつ安全に合流するための車線だと思っていたが違うのか。止める車が悪いとは思うが、国道 1 号線を富士方面から走り 246 号線を通して御殿場の方まで走ったときに理由がわかった気がした。富士の道の駅を通り過ぎた後、小山町まで道の駅がない。大きな工場が多いというのに納品にくる大型車が止める施設が市内に無い。ある意味やむなく止めているのではないかと思った。なので、警察の方に取り締まりを強化してほしいという話ではない。いろいろ制約もあるのかもしれないが、広く商業施設を兼ねそろえた道の駅のようなものがあると、危険な路駐も減り物資も市内に豊富に、誘致する施設にもよっては市内にお金をもっと落ちるようになるのではないかと感じた。我が家も残念ながら、市外での買い物がよくある。大型車も利用できる駐車場、商業施設の充実化、ぜひともこの二点を検討してほしい。 【女性/40-44 歳/富岡（その他）】

- 側溝に蓋がない。 【男性/45-49 歳/東】
- 市全体が暗い。街灯・防犯灯を増やしてほしいです。 【女性/55-59 歳/東】
- 車の運転の事も不安です。できなくなった時は、タクシーを使えば良いと思う事もありますが、心配です。周りの道路、公園の清掃整備の年間回数がだんだん減ってきている様に思えます。木や草が伸び放題で、車を運転していても危ないと感じる事がよくあります。そして見た目もとても悪いです。裾野市として恥ずかしく思えます。周りを見てください。

【女性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】

- 裾野市は軽自動車を止めるのに道（自分の敷地ではない所）に止めてもいいことになっていますが、私の所は、家の周りの道に 5 台、駐車しており、家から車を出すのに困っています。御殿場市の様に、軽自動車も道に出してはいけないようにして欲しい。

【女性/60-64 歳/富岡（その他）】

- 深良用水までの道が汚い。友人を案内したが、遺産登録しただけだと言われました。用水祭りの目的・意図がわかりません。 【女性/65-69 歳/深良】
- 生活通勤通学等に市道・用地を利用して、サイクリング専用道路の建設・整備。 【男性/70 歳以上/西】
- 地域の道路が狭いので工事をしたいと思います。 【 /70 歳以上/東】

《公共施設・土地》

- 市営プールの整備をしてほしいです。 【女性/40-44 歳/西】
- 公共の図書館やプールなどが無い。 【女性/55-59 歳/西】
- 裾野市は財力があつた時にも、市民プールは 50 年も前のまま、他の市は温水プールもありとても残念です。もっと市民の事を思う行政をお願いします。 【女性/55-59 歳/富岡（千福が丘）】
- 裾野市営のプールを、室内で 1 年中子供達も入れるプールを作ってほしいです（泳げるプール）。 【女性/55-59 歳/富岡（千福が丘）】
- ゴミの収集場所が資源ステーション等と異なるのが不便です。資源ゴミは常設してほしい。 【女性/35-39 歳/西】
- ゴミ収集所が遠い。（不燃ゴミ・リサイクル） 【男性/45-49 歳/東】

- 市役所に関して。子供関係の手続きをする際、内容によって福祉保健会館に行かねばならず、不便。市役所の窓口でまとめて済ませられるようにしてほしい。
【女性/30-34 歳/富岡（企業団地）】
- 何かあった時に市役所のどこに連絡したら良いか分からない。今現在も、放送の機器が止まったまま。（3 年前から）
【 /50-54 歳/須山】
- 運動公園に久々に行ったら芝・植木がだらしなかった。
【男性/30-34 歳/富岡（その他）】
- 現在、宅地を探しているが、裾野市に魅力的な宅地がないため長泉や御殿場、さらには神奈川県に広げて土地を探し中。ただ、魅力的な宅地を開拓する予定が裾野市にあるとも聞いている。将来的に宅地になるエリアやその開発内容をできるだけ早く情報発信してほしい。
【男性/30-34 歳/富岡（その他）】
- 富沢に住んでいます。地区の資源ゴミを、当番で夜、外に 2 時間も立ちっぱなしで、冬など寒くても関係なくゴミの捨て方を見ると聞きました。時代で、核家族が増えていく中、子育て世代は、父は仕事、母は幼い子供を残してそんな当番には行けません。他の市町村は、無人で、資源ゴミを収集し、業者に頼んで持って行ってもらう所が多い中、これからの時代にそぐわない伝統は、若人の意見も取り入れて良い方向へ変わって欲しいです。
【男性/35-39 歳/西】
- 息子が小学 3 年で、裾野市の事を調べています。「裾野市でみんなにオススメしたいところ」と聞かれても、正直思い当たらず、とても残念でした。私自身も小さな頃から裾野市で暮らしておりますが、公園の整備など、全く変わっていない事が残念に思いました。親になってみて、公園に行く機会が増えましたが、トイレの設備の不十分さにだんだん市外の公園へ行くようになりました。親子で安心して清潔に遊べる場所が少ないと思います。公園整備も子育て支援の一つではないでしょうか？子どもを育てやすい地域であってほしいです。
【女性/35-39 歳/東】
- 深良地区 市街地調整区域について。青年層（20 代）は、進学・就職で市外に出て戻る人が少ない状況。調整区域のため若い世代の転入もなく、子供がだんだんいなくなっている。残るのは年寄りばかり。高齢者対策しても、現状の年寄がいなくなれば、次の世代がいなくなるため、将来につながらない。子供が増える環境を作るためにも、新婚の若い世代が増える施策が必要。
【男性/40-44 歳/深良】
- 山が多い裾野。山の地主の方または市・区が山の手入れをちゃんとできる様。今後どのような災害があるかわからない状況で、持っているだけの山、荒れ放題の山林は、裾野の魅力を半減させているし住むのは怖いという方が多いです。
【女性/55-59 歳/東】
- ベンチなども増やしてほしい。
【女性/60-64 歳/東】
- 市街化区域内の住宅建設が進まない要因は、隣接道路に面しない土地活用が出来ない状況だからだと思います。行政が道路計画を立て、地区住民説明をし、袋地の利用を促進することにより住宅建設（土地利用）が進むと思われます。学校周辺地域から実施することにより効果的（需要がある）と思われます。財政難ですが、将来的に基盤整備（街路整備、ミニ区画整理（駅西以外））する事により将来の裾野市の未来があると思います。学校周辺（深良、富岡、須山）の調整区域の住宅活用ができないのは市街地区域の活用が進まないためです。行政の対応が急務だと思います。
【男性/65-69 歳/富岡（その他）】
- 農地の宅地転用の規制を緩め、ゆとりのある、広々とした、誰でも住みたくなるような町作りの提案。
【男性/65-69 歳/富岡（その他）】

- 西地区に住んでいますが、市内の他中学校に比べ校舎のつくり、施設が西中はあまりにも劣る。水道は仮設増設、階段は他校よりも狭い。校舎二棟なのに給食用リフトが1つしかない。来訪者に職員玄関がわからないなど、とにかくひどいと思います。さらに運動場が3カ所に別れ、管理が大変だと思う。
【 /65-69 歳/西】

《市職員・市議会議員》

- 福祉会館に相談があつて行ったら、男性職員の対応がとても不親切でした。もっと障害者に寄り添える人の方が良いと思います。
【女性/40-44 歳/富岡（その他）】
- 不登校児や家族に対応する職員は、もっと専門性や人間性を重視するべきです。元教員＝子供の専門家 ではありません。上からものを言うことでは、誰も救われません。誰のためかを、真剣に考えてください。
【女性/45-49 歳/西】
- 相変わらずカウンターの所に行っても誰も出て対応しに来てくれない。誰かが行くだろう的な感じが見え見え。こちら側が声を掛けないと対応してくれないなんてお役所的な所は昔のままで変わらない。
【 /50-54 歳/須山】
- 市民協働が嫌いな市役所の課長、部長が多く居る。頑張っているのは若い子ばかり。駅前開発、川、市民協働と全てが中途半端。やるならとことんやってほしい。
【男性/40-44 歳/西】
- 市職員（管理職）は自信を持って、積極的に行動を起こしてもらいたい。できない言い訳ばかり言わないで。事なかれ主義は無くしてもらいたい。
【 /65-69 歳/深良】
- 日頃は私達の為にご指導頂きありがとうございます。今後もよろしくお願い致します。
【男性/70 歳以上/須山】
- 県・市議会議員・市職員が多すぎ、税金ムダ使い…
【女性/70 歳以上/東】
- 議員の方をお願い致します。駐車場から、市役所館内に入る前に横断歩道があります。どんなに忙しくても、斜め横断、又は歩道でない所から飛び出さないようにしましょう。（手本を見せて下さい）
【 /70 歳以上/深良】

《地域振興》

- 私自身も東京まで新幹線通勤しているため、裾野市でのいわゆる「田舎暮らし」は心地よい。しかし、コンセプト「田園未来都市」の「田園」と、「東京から 100km 圏内の特別な田舎」の「田舎」が結びついて「田園＜田舎」というイメージが先行しているように思える。「田舎」は、「都会」の反対語であり、場合によってはネガティブキーワードになりやすい。どうせなら「田園未来都市」というポジティブキーワードを生かし、例えば「東京から 100km 圏内の田園未来都市 裾野市」とされてはいかがか？
【男性/40-44 歳/西】
- 裾野市と言ったら、これ!と言った、誇れるもの・象徴がない。インパクトがある、人を惹き付ける何かが必要に思います。
【男性/50-54 歳/富岡（その他）】
- 裾野市をもっとアピールできる“物作り”を頑張っていたきたい。
【女性/55-59 歳/東】
- 温泉を利用した副産物が出来ないか考えたらどうですか。幾つかあると思います。観光施設や雇用の促進になります。
【男性/65-69 歳/西】

- 市内の公園、お寺、神社、史跡、景勝地等を市民の憩いの場として利用できるように整備し、市民が市内を自分たちの庭のように感じられるような都市（ガーデンシティー）になればいい。

【男性/65-69 歳/西】

《広報活動》

- 広報すそのについてくるヘルシーパークの無料券を 1 人分ではなく 1 世帯分にしてほしい。
【男性/35-39 歳/東】
- 広報を一軒一軒配布するのが負担です。web 配信または、公共施設などのスタンドに置くなどしてほしい。
【女性/40-44 歳/西】
- 広報紙は月に 1 回または 2 か月に 1 回でよい。（配布する区長・編集者の負担・内容・費用等を考えると、月 2 回の必要は全くない）この様に考えている住民は大変多いので、是非アンケートを取るなどして、（意識の）実態を把握し善処してほしい。
【男性/60-64 歳/東】
- 現在、毎月 2 回の広報が配布されているが、1 月 1 回に変更できないでしょうか。広報と一緒に配布される資料で、文化センターの利益を目的としたイベントの開催のパンフレットも含む。
【男性/65-69 歳/東】
- ワンルームのアパートに住んでいて地域との交流がないため少し不安です。広報紙なども回って来ないので、どこへ行けばもらえるか知りたいです。駅とかに置いてもらおうと助かります。
【女性/65-69 歳/東】
- HP が見にくいです。少ないながらも飲食店があるのですから、もっとたくさん HP に載せるべきです。各地区の夏祭りなども HP に UP し、出店で買い物をしてもらい、お金を落としてもらう。佐野原神社は年越し以外にも行事があるので、HP に UP してほしいです。HP の部分は、他の形で市民に広告してほしい(パソコンない人用に)。仕事をしていると、朝・夕・夜の有線放送などは聞けません。新聞に入っている広報すそのも見ますが、～があったという報告が多いです。これからやる行事を地区ごとに分けて見やすくしたら良いと思います。とにかく、宣伝がとても下手だと思っています。もっと市民を動かしてほしいです。映画のロケに使ってもらっても、その後のアピールが何も出来てない。
【女性/45-49 歳/東】
- 広報無線、音量を最小にしても音が大きすぎるため、人のいない部屋に移した。そのため、ほとんど毎日の放送は聞けない（聞いていない）状態。もう少し微調整ができると良い。
【男性/60-64 歳/東】
- 水が塚公園は裾野市内にある公園なのに裾野市の観光資料、パンフレットなどがあまり置いてありません。実に寂しい限りです！私は、夏季シーズン中、水が塚公園で保全協力金徴収の活動を続けています、近くの温泉など尋ねられてもパンフレットが見当たらないような気がします。森の駅にあるパンフレット susono style にも記事が見当たりません。もっと観光に力を注いでも良いのでは？
【男性/65-69 歳/須山】
- 市の広報は、多くの住民に伝わっていません（アパート・二世帯分離家族・住民票を移していない人・自治会に入っていない人・新聞を取っていない人・インターネットやスマホなどを利用していない人など）。何らかの方法で、裾野市の行政・活動を 10 代から知る方法を検討する必要があるかと思っています。「協働」に期待。
【女性/65-69 歳/西】

- 諸々の企画が優れているが、PRの方法をひと工夫すれば、市民にもっとアピールできると思う。
【男性/70歳以上/西】
- メディアに対して情報発信が少ない。三島には負けるにしても沼津や他の市町に劣っているという印象が強い（色々な方からの意見）。もっとにぎわいを創出すべき、それが裾野駅前再開発とは違う。いくらきれいに区画整理してもそこに住んでいる人しか恩恵はなく、市が潤うことはありえない。
【男性/70歳以上/西】

《自然環境》

- 川などは多少綺麗になっているが、下水に繋いでない家がありまだ不十分。裾野市は田舎なのに、綺麗な水に住む魚などがあまり見られない。
【男性/40-44歳/西】
- 川の護岸工事をする前はカワセミやカモが飛んで来ていましたが、川がきれいになったら、来なくなってしまった。もう少し、生き物にも優しい環境を保護してほしい。
【 /45-49歳/西】
- 植林（フナやドングリ）活動を盛んに、温暖化ストップ。
【 /45-49歳/西】
- 沼津市生まれの自分にとって、裾野市の豊かな自然とを感じるころは、その溪流・溪谷にあります。
【男性/70歳以上/深良】
- 富士山の地元、裾野～少し離れると河川が汚い。聞くと予算がない…と。
【女性/70歳以上/東】

《この調査について》

- 調査への協力は前向きです。ただ、内容が何につながるのかが伝わらないと意味があるのか疑問に感じてしまいます。
【男性/40-44歳/西】
- 市役所のフロアについては、一度は見たが、その後どのようなになったか（アフター）がわからないので、回答しようがない。
【男性/50-54歳/東】
- この調査の紙は個人がわからないようなことは書いてありますが、IDの紙を切り取れるようにしてほしい。パソコン・スマートフォン・携帯で回答がしたい人だけにIDをその都度教えるのはいかがでしょうか。
【女性/60-64歳/富岡（その他）】
- 私の所にはいろいろな調査が届きます。選ばれての事とは思いますが、全然そんなことしたことなどないと言う方が多いです。みなさんの意見を聞くためにも、他の人にも調査票が回った方がいいのではないかと思います。
【男性/70歳以上/富岡（その他）】
- この様なアンケートを各戸に送付して、市民の意見を聞いてくださる事は大変ありがたいことです。私は現在、85歳になり色々とお世話になっております。近所の方々とも楽しく、親切にいただいております。週1回以上、私の家で麻雀をやっております。時が経つのも忘れる楽しい一刻です。もう少し、老人の交流が出来る施設や催しがあればと思います。
【 /70歳以上/東】
- 真面目に回答しない方が多いと思います。
【男性/40-44歳/西】
- 答えにくい質問が多いです。
【女性/65-69歳/西】
- 質問があまり適切でなく答えがよく分からない箇所がありました…
【女性/70歳以上/東】

- 70 歳以上になると目も悪くなっていますのでこれからアンケートは大変ですのでよろしくお願いします。【 /70 歳以上/東】

《行政全般》

- 私は裾野市街より御殿場域域に住んでおり、勤務先も御殿場市にあるが、市指定のゴミ袋が裾野市内でしか販売されていないのが不便。他の市町村は、市外でも入手できているようなので、改善してほしい。【男性/25-29 歳/富岡（その他）】
- 裾野市に引っ越してきたのに裾野市の建築会社でないと新築の補助金が出ないのは裾野市だけ。三島・長泉・函南・沼津は出ます。納得いきません。住民税、払いたくありません。裾野市民ならではの特典・優遇がないような気がします。全てにおいて、一生裾野に住み続けたいと思うように今後に期待しています。お願いします。【女性/25-29 歳/西】
- 近所のねこ（大量に飼っている家がある？）がアパートの駐車場にたくさんいて、糞尿、においに困っている。【女性/25-29 歳/西】
- 野良猫の避妊去勢手術の助成金は非常に助かりました。【女性/35-39 歳/西】
- ふるさと納税の返礼品を充実させて収入を増やす試みをもっとするべきである。【男性/35-39 歳/東】
- 阿波踊りのお祭りもあり、様々なことを企画してくださっていますが、市民のマナーの意識が低いことを残念に思います。踊り手の方が道路を踊り歩いているのに、お構いなしに歩行者がズケズケと並行して歩いている姿は踊り手の方に失礼だと見ていて思います。企画には、細かい配慮をお願いしたいです。【女性/35-39 歳/東】
- 最近豪雨災害が各地で起きていますが、裾野市の対策は大丈夫でしょうか？【女性/35-39 歳/西】
- 依京寺と景が島はすごく珍しいスポットだと思うので、封鎖中のトイレ、川のゴミ、安全性を見直して、裾野市以外の人にも来て欲しいです。【女性/35-39 歳/西】
- 娯楽施設に高齢者が増えている気がします。明らかに年金で暮らしているとわかる人もいます。年金をパチンコ・ゲームセンターで使うぐらいならもっと生活が苦しい人に回すべきだと思います。パチンコやゲームセンターで、遊べるほど個人資金があるなら年金受給は必要ないのではと思います。一度、調査されてはいかがでしょうか？【 /35-39 歳/東】
- PTA 活動が負担です。戦後の専業主婦をイメージして作られた組織なので、今のライフスタイルに全く合っていない。働く母親がそのことを言うとカドが立つので、行政からも PTA 組織のあり方を、各学校で見直すように提案してほしい。【女性/40-44 歳/西】
- 裾野市内在住の障がい者雇用率が低迷しており、市内にある就労支援事業所の活用を薦めます。具体的にはベルシティ内のハローワークのパートバンクにも、障がい者雇用相談を設けてもよいかと思っています。ぜひご検討お願いします。【男性/45-49 歳/西】
- 土地調査か何かの件で、何十年前に亡くなった親宛に封書が来た時には驚いた。死亡届を出して除籍しているのに…馬鹿かと思った。信じられない。普通は所帯主とかでしょう。そんな仕事をされては困ります。【 /50-54 歳/須山】

- 財政難が露見している。思い切った改革をしないと潰れるのは必至である。もっと知恵を出して、本気で取り組んで欲しい。市長の意気込みが市民には見えない。他市の取り組みや斬新な改革など参考に、市民の士気が上がるような改革をして欲しい。特色もなく、素通りされる町になってしまっているのは残念。
【男性/55-59 歳/西】
- 「シビックプライド」とか「協働」など、聞いた事がなく、“もしかしたら広報などに掲載されていたのかもしれない”と感じ、自分が日頃からあまり市政にも関心がなく、生活しているな！と改めて感じました。自分に危機感を持たないと、関心は生まれません。今後も同様だと思うが、このようなアンケートや何かのキッカケで考え方や関心・意識・興味が変わっていくものだと思います。このアンケートを作成し実行したのは裾野市企画部で仕掛けをする事で興味のない人も関心を持つので今後もいろいろな仕掛けをして欲しいと思います。企画部は裾野市の仕掛人であって下さい。よろしくお願い致します。
【男性/55-59 歳/富岡（その他）】
- 将来が不安。人口は減る一方、若者は残らない。バスの本数は減る、そのうち車も運転できなくなる、買い物にも行けなくなる（買い物難民）、ガソリンスタンドもなくなった、野生動物（シカ・イノシシ）は増える一方…自分たちは何とか頑張って地元に残っても、これじゃ若者が残るはずない。
【男性/60-64 歳/須山】
- 裾野市は隣の長泉町に負けている、遅れをとっているように思えてとても残念です。知り合いの中には、裾野市は、このままで良いのでは？という意見の方もいますが、とにかく、将来を担う若者や子供たちが裾野市に住んで、生活できなくては、ダメだと考えます。1つの事を決めるにあたり、意見が、まとまらないこともあり、ましてや「まちづくり」は多くの苦労や、経費もかかります。多勢の意見がまとまることは、とても難しく、でも、市職員や市・県の議員の皆様が、モタモタせず、使命と強く心に刻んで、市民を引っばってほしいのです。他人事に考えていては、税金は、誰の為にあるのか？です。本当にたいへんなことと思いますが、「一丸」となって、立ち向かってほしいのです。頑張れ、裾野市！一丸となれ！
【女性/60-64 歳/西】
- 少子化対策（人口減少）。若者の流出防止とUターンの奨励→市内企業との連携（若者の就職活動支援）。
【 /60-64 歳/西】
- 以前住んでいました清水町に比べて水道代がとても高いと感じます。
【 /60-64 歳/西】
- 行政はひと・もの・ことに視点を置いて行うべきだと思う。住む人が幸せを感じる行政とは何か、高齢者・子ども全てのひとにとって、裾野市には魅力ある行政があるのか、ものやことを充実させ、ひとを呼び住みたいと思えるような裾野市になってほしい。
【 /65-69 歳/西】
- 高齢者が水中歩行や軽い運動をしたくても裾野市はするところがない。自助努力して健康を維持するようもっと力を入れてください。
【男性/70 歳以上/西】
- 市としての体裁が整っていない。市長と議員の奮闘がないのでもっと本気で市政に力を入れるべき。
【男性/70 歳以上/西】
- なぜ特定の事業者が様々な市の役を頂いているのですか？いつまでも談合体質は変わりませんね。
【 /70 歳以上/東】

- 生活環境について。南小学校南側、水窪伊豆島田地区において、コウモリが異常に発生し、夕暮れ時になると恐ろしい数が低空を飛び回っており、何軒もが、家の中に入られ恐怖と防御対策に毎日神経をすり減らしております。屋根や軒下に集団で糞を大量に残して行き、衛生面にもよくなく、又気持ちが悪く毎日がコウモリの問題になっております。河川沿いの木の伐採、河川の整備、民家の庭木の手入れ等により環境による防御対策の指導を、積極的にお願いをしたい。

【 /70 歳以上/西】

《その他》

- サファリパークの裾野市民無料日を1月以外にも設定して欲しい。1月では雪のため車で行けないこともある。
【男性/35-39 歳/東】
- 核家族、共働きが殆ど、高齢者だけの世帯が多い中で、色々と不便さを感じる。千福が丘においては、おそらくあと10年もしたら高齢者が大半を占める地域となるが、あまりにも利便性が悪い。昼間も殆ど、家にいない。夜勤などもあり、ゴミ出しにはとても不便。少しお金がかかってもいいので、分別とか、もう少し楽にしてほしい。ある程度のルールの中で、もう少し、緩和できるところ、本当の意味で生活しやすい環境を整えてほしい。

【女性/40-44 歳/富岡（千福が丘）】

- 職場は市外（私の場合は御殿場）、かかりつけ医も市外（職場近く）、子どももいない夫婦の為、裾野市の行政が今一つ見えてこず、恩恵も受けていないのでは…と感じているのが実状です。私自身も、もっと市政について興味・関心を持たなければ…と思いました。

【女性/40-44 歳/須山】

- 転勤・進学等で複数の町で暮らしたが、裾野市ほど暮らしづらいと感じる町はないと思うし、会社等で地元の話になると、自治会での負担の多さに驚かれ嫌がられる。
【男性/45-49 歳/深良】
- 会社員の通勤時の歩行マナーの悪さ（歩道を歩かない）
【女性/45-49 歳/須山】
- 自分はいろいろなところで歌と一緒に歌わせていただいています。歌を歌うことは脳の活性化や肺の機能を高め気持ちを前向きにしたり、いいことがいっぱいあります。まだ子供が高校生なので、できる範囲でお手伝いさせていただけたらと思っています。そのようなお仕事をさせていただけたらまたありがたいです。
【女性/50-54 歳/西】
- 不景気の世の中、無駄なことは省いて、合理的に市の広報を月に1回にするとカリサイクル活動・婦人会の衣類のリサイクルの回数をもう少し増やし、使えるものはお互いに再利用していくことが必要だと思います。合理的な生活見直しについて皆さんの知恵を広めてゆくことが大事だと思います。
【女性/60-64 歳/東】
- 今は、仕事を続けていますが、やめた時の事を考えると、不安になります。近くに、楽しく生活する場所が見当たりません。地域活動も、何があるのか全然わかりません。その情報が入ってきません。
【女性/60-64 歳/富岡（千福が丘）】
- 人と人・人と町、まずはそこから考えてほしいです。アパート・マンション・近所あいさつもないので普通になっているのが残念です。あいさつをして返ってこないと寂しくなります。

【 /60-64 歳/東】

- 市民人口の減少対策と若者の活躍出来る街造り。

【男性/70 歳以上/東】

- 私自身もうつ病に主人が亡くなってから何回か経験して本当に困りますが福祉会館で丁度、心の病気の講座があり担当してくださった保健師の方に先生を紹介していただき本当に助かりました。最初は本当に主人が亡くなり死んでしまいたい気持ちで毎日毎日悩み、暗い日々でしたが今はなんとか1年に1回くらいうつ病状態になりますが先生のおかげ様でなんとか乗り切っています。ボランティアも、気を強く持って皆さんと接して頂ければと思い皆さんのお役には立ちませんが行かせていただいて本当にありがたいと思っています。【女性/70歳以上/西】
- 少子・高齢化、障がい者の中であって、地区活性化に一番役立つのは、ポニー牧場の建設。小学校上級者が下級者に教える形でポニー牧場を運営する。大人は見守るメリット、不登校生の受け皿、生命の尊さを子供同士で認め合う（人間性の確立・豊かな感性）。障がい者に役立つ（ドイツではホースセラピーが有名）。団塊世代の経験を活かし老人と子供のコラボを実現できる。生きがい、ワクワク感につながり、市民が健康になる。子供を大切にするマチの印象は子育て世代を刺激し、転入が期待できることだ。既に東京ハーモニーセンター幹部が水元公園で50年以上実施。ハーモニーセンター幹部に住民がいる。この事は色々な場で発言したが、「うさぎじゃだめか？」と皆反応しない。この事が今の裾野の「田舎感覚」「変化がにぶい」問題点である。杉並区で育った私は、急速に進む都市化の中で「ポニー牧場」の大切さを強く感じている。（急務である）【 /65-69歳/西】
- 年齢を重ねて参りますと、いつの間にか若夫婦に少しずつお世話になる事が出て参ります。自分に出来る事は極力頑張って身体の事を考えながら少しでも家族のお役に協力したいと考えて動いております。健康で明るくと只今の所考えて暮らしている心づもりです。【女性/70歳以上/西】
- 市民にわかりやすい日本語で説明してもらいたい（日本人なんだから）。例えばシビックプライド（郷土愛）。市民の大多数の方はこのことば（シビックプライド等）は知らないのではないのでしょうか。裾野市さん独自の見識を持ってもらいたい。シビックプライドなんて訳のわからないことばなんか使わないでもっと市民にわかりやすい、そして親しみやすいやさしいことばをこれから使っていただけるように切に希望します。【女性/70歳以上/富岡（企業団地）】
- 裾野市も長泉町のような住み良い活気のある町になるようにしたい。どうすればよいのか市で考えてほしい。千福が丘は交通の便も悪く、空き家も多いように思う。この対策はどうすればよいのか！【女性/70歳以上/富岡（千福が丘）】
- 老人の為、活動より協力しかできません。【 /70歳以上/東】
- 沼津に出かけた時、空店のサロンに入りました。たくさんのお年寄が楽しく過ごしていました。コーヒーを飲みながらお話を聞いていました。一人暮らしの老人の生きがいの場所だとか裾野にもサロンがあればいいなと思いました。ご検討してください。【 /70歳以上/西】
- 裾野で生まれ、育った身分です。現在の住まいは、北部方面の区に住んでいます。高齢にはなりますが、当地方においては、何十年か前、芝生を盛んに生産していましたが、時代の流れと共に需要がなくなり現在は、収入はゼロと云っても過言ではありません。田畑の管理は個々やっていますが、中には、サラリーマンの様な方の持ち分は荒れ放題で隣地の迷惑になっている場所を見受けられるので一度行政の方に下見をお願いしたいと思っています。また、区内の住民が集まって話し合う機会すらありません。今後の方針についてなんとか行政の力で話し合いの場をもうけて頂けたら有難いと思って一筆書かせていただきました。【 /70歳以上/富岡（その他）】

- 裾野マラソン大会のボランティアを頼まれて行きましたが、大会の運営の人から、やって当たり前、お疲れ様の一言もなく、友達がボランティアに行った時は汗だくですごく忙しい所に行かされ、倒れそうになったそうです。そこは、二人しか人がいなく人の配分も考えた方が良くと思います。役員らしき男の人達がイスに座ってふんぞり返り談笑していたのを見て、もう二度とボランティアを頼まれても行きたくないと皆言っています。時間も長いし人はいないし、仕事は大変だし、体を壊しそうでもう行きたくありません。市のボランティアと聞いただけでゾッとします。

【女性/ /富岡（その他）】

- がんばって下さい！！ 【男性/20-24 歳/深良】
- 若い人を呼べるような発展した町ではないので何とかしてほしい。 【女性/25-29 歳/東】
- 魅力的な町をお願いします 【男性/45-49 歳/富岡（千福が丘）】
- 魅力を感じる裾野市にして頂きたいです。お願い致します。 【女性/45-49 歳/西】
- 子育てを終えたら、県外へ転出したいとも考えています。10 年後、裾野市何か良くなったね、ずっと住んでもいいね、と思える町づくりを期待しています。よろしくお願いします。

【女性/45-49 歳/富岡（その他）】

- 市の若さ、活性化に期待します。 【男性/65-69 歳/西】
- 裾野市民でも、他の市の方でも、来て良かったという「まち」にしてほしいですね（喜んでもらえる事）。 【 /70 歳以上/富岡（千福が丘）】
- 裾野市を良い町にしていきましょう。 【 /70 歳以上/深良】

平成 29 年度裾野市市民意識調査
調査票

まちづくりにあなたの声を！

平成 29 年度 裾野市市民意識調査 ご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃より裾野市政に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

裾野市では現在、『「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦』というまちづくりのコンセプトをもとに各種の施策を進めております。

市民のみなさまの意見を広く取り入れ、市民と行政が一体となったまちづくりを実現するため、本年度も「裾野市市民意識調査」を実施することといたしました。この調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から無作為に抽出した1,000の方に回答をお願いしています。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは決まっています。

また、調査結果は広報紙、市のホームページに掲載し、諸施策推進のための基礎資料として活用させていただきます。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

調査の回答は、記入済の調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れてご投函いただくか、インターネット回答（裏面参照）により、**8月4日（金）**までにご回答をお願いいたします。

平成 29 年 7 月

裾野市長 高村 謙二

調査票 記入上の注意

1. 宛名のご本人がご回答ください。
2. ご記入は、鉛筆または黒のボールペンをお使いください。
3. ご回答は、指示の数だけ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。
4. 「その他（ ）」を選択する場合や「（具体的に： ）」の欄にご記入する場合は、番号に○をつけ、（ ）の中に具体的にご記入ください。
5. 調査票の最後にある記入式回答の には、直接ご記入ください。
6. 返信用封筒には、この調査票を三つ折にして封入し、ご投函ください。

※このアンケートについて、不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

裾野市企画部企画政策課 電話 995-1804

この調査は、

- ① 郵送回答（この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒にて送付）
 - ② インターネット回答
- のどちらかの回答方法を選べます。

※インターネット回答の場合は、右記の ID を入力し、ご回答ください。

（この調査によって、個人が特定されることはありません。）

（ID ラベル貼付欄
74.25mm × 42.0mm）

- インターネット回答は、パソコン、スマートフォン・タブレット端末、携帯電話のいずれかで、次の URL 又は二次元バーコードからアクセスしてください。

① パソコン



<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/dform.do?acs=29ishiki>



② スマートフォン・タブレット端末



<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/sform.do?acs=29ishiki>



③ 携帯電話



<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/iform.do?acs=29ishiki>



お知らせ

平成 29 年度裾野市みらい会議 を開催します！

テーマは、「田園未来都市と*シビックプライド」です。
*5 ページ下部参照

日時 平成 29 年 8 月 27 日（日）14：00～16：00

場所 裾野市生涯学習センター 学習ホール他

★申込み不要ですので当日直接会場へお越しください。



意見交換の場イメージ

詳細は、広報すその 8 月 1 日号や、市ウェブサイトなどでご案内します。

市民と行政が一丸となったまちづくりを目指しています。ぜひご参加ください。

最初に、あなた自身やご家族のことについてお聞きます。

・すべての項目について、当てはまる番号を○印で囲んでください。(それぞれ○は1つずつ)

①性別	1. 男性	2. 女性
②年齢	1. 20歳～24歳 4. 35歳～39歳 7. 50歳～54歳 10. 65歳～69歳	2. 25歳～29歳 5. 40歳～44歳 8. 55歳～59歳 11. 70歳以上
③結婚の有無	1. 結婚している(事実婚を含む) 2. 結婚したが、死別・離別した(今は独身) 3. 結婚していない(独身)	
④子どもの段階 (一番下の子どもの年齢でお答えください)	1. 子どもはいない 3. 小学生 5. 高校生 7. 学校教育修了	
⑤世帯状況	2. 小学校入学前 4. 中学生 6. 専門学校・短大・大学・大学院に在学 8. その他()	
⑥居住地区	1. 1人暮らし 3. 親と子(2世代) 5. その他()	
⑦居住歴	2. 夫婦のみ 4. 祖父母と親と子(3世代)※敷地内同居含む	
	1. 東地区 4. 富岡地区(千福が丘) 7. 深良地区	
	2. 西地区 5. 富岡地区(3・4以外) 8. わからない(具体的に:)	
	3. 富岡地区(企業団地) 6. 須山地区	
	1. 生まれてからずっと住んでいる 2. 生まれは市内だが、一時、転出したことがある 3. 県内の他市町から転入してきた:()歳頃 4. 県外から転入してきた:()歳頃	

裾野市の市政全般についてお聞きます。

問1 あなたは裾野市の政策全体についてどの程度満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している	2. まあ満足している
3. 普通	4. やや不満である
5. 不満である	6. わからない

問2 あなたは裾野市が行っている取り組みや生活環境についてどのように感じていますか。下の表の1～26 までの各項目について、あなたの生活における「満足度」と「重要度」それぞれについてお答えください。(項目ごと〇は1つずつ)

	満足度						重要度		
	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満		とても重要	重要	なそれほどでも
記入例：河川や水路の整備状況	1	②	3	4	5		①	2	3
1 公園などの身近な緑地の環境整備	1	2	3	4	5		1	2	3
2 鉄道やバスの便利さ	1	2	3	4	5		1	2	3
3 まちなみや自然の景観の美しさ	1	2	3	4	5		1	2	3
4 誰もが平等に情報を受け取ることができる(広報紙・無線、ホームページ、メールなど)環境	1	2	3	4	5		1	2	3
5 空気や河川の水のきれいさ	1	2	3	4	5		1	2	3
6 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ	1	2	3	4	5		1	2	3
7 河川や水路の整備状況	1	2	3	4	5		1	2	3
8 市街地・駅周辺部で快適に暮らせるまち	1	2	3	4	5		1	2	3
9 市が行う「健康づくりプログラム」の充実感	1	2	3	4	5		1	2	3
10 市が行う「高齢者に対する施策」の充実感	1	2	3	4	5		1	2	3
11 小・中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取り組み	1	2	3	4	5		1	2	3
12 生涯学習センター・公民館で市が行う「学習プログラム」の充実度	1	2	3	4	5		1	2	3
13 音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの文化に触れる機会の多さ	1	2	3	4	5		1	2	3
14 市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	1	2	3	4	5		1	2	3
15 厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化	1	2	3	4	5		1	2	3
16 市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度	1	2	3	4	5		1	2	3
17 幹線道路や生活道路の整備	1	2	3	4	5		1	2	3
18 地域や団体などの活動への支援	1	2	3	4	5		1	2	3
19 バス路線や便数	1	2	3	4	5		1	2	3
20 病院、かかりつけ医による医療	1	2	3	4	5		1	2	3
21 安心・安全で快適な住環境	1	2	3	4	5		1	2	3
22 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5		1	2	3
23 生涯学習センター・公民館を拠点とするサークルや教室などの生涯学習活動	1	2	3	4	5		1	2	3
24 市民の健康づくりへの支援	1	2	3	4	5		1	2	3
25 身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ	1	2	3	4	5		1	2	3
26 文化センター・図書館などの整備や市民文化の振興	1	2	3	4	5		1	2	3

問3 あなたはこれからも裾野市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. どちらかといえば住み続けたい |
| 3. いずれは他の地域に転出したい | 4. 他の地域に転出したい |
| 5. わからない | |

問4 あなたはワークライフバランス(仕事と生活の調和)について知っていますか。
(○は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 具体的に内容まで知っている |
| 2. なんとなく知っているが、詳しくは知らない |
| 3. 聞いたことはある |
| 4. 聞いたことがない |

問5 あなたはご自分の健康についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 大いに健康 | 2. まあ健康 |
| 3. あまり健康ではない | 4. わからない |

問6 あなたはこの1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上、散歩・ストレッチ等の軽運動を含む)をどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日(週に6~7回) | 2. 週に4~5回 |
| 3. 週に2~3回 | 4. 週に1回 |
| 5. 週に1回未満で、月に1回以上 | 6. 月に1回未満で、年に1回以上 |
| 7. ほとんどスポーツや運動をしていない | |

市役所各フロアの改善効果についてお聞きします。

【裾野市は現在、市役所内を改善しています(整理・整頓を含む)。】

問7 市役所フロア(1階~3階)についてお聞きします。

あなたはどのように感じられましたか。また、「1. よくなった」と答えた方は、どのような点がよくなったと思いますか。各フロアについて、それぞれお答えください。

【1階】(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. よくなった | 2. 変わらない |
| 3. 悪くなった | 4. 見ていないのでわからない |

→ 【よくなった点】(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 明るくなった | 2. 広くなった |
| 3. きれいになった | 4. 見通しがよくなった |
| 5. 職員との距離感が近くなった | 6. その他() |

【2階】（○は1つ）

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. よくなった | 2. 変わらない |
| 3. 悪くなった | 4. 見ていないのでわからない |

→ 【よくなった点】（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 明るくなった | 2. 広くなった |
| 3. きれいになった | 4. 見通しがよくなった |
| 5. 職員との距離感が近くなった | 6. その他() |

【3階】（○は1つ）

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. よくなった | 2. 変わらない |
| 3. 悪くなった | 4. 見ていないのでわからない |

→ 【よくなった点】（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 明るくなった | 2. 広くなった |
| 3. きれいになった | 4. 見通しがよくなった |
| 5. 職員との距離感が近くなった | 6. その他() |

問8 どのようなフロアが理想的だと思いますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 明るい | 2. 広い |
| 3. きれい | 4. 目的場所がわかりやすい |
| 5. 統一感がある | 6. キッズスペースがある |
| 7. 気軽に行ける | 8. その他() |

スマートフォン（スマホ）の利用についてお聞きします。

問9 あなたはスマートフォン（スマホ）は利用していますか。（○は1つ）

- | |
|--------------------------------|
| 1. スマートフォン（スマホ）を利用している |
| 2. フィーチャーフォン（いわゆるガラケー）のみ利用している |
| 3. いずれも使用していない |

→ 問10 【問9で「1. スマートフォン（スマホ）を利用している」を選んだ方にお聞きします。
あなたが主に使用しているスマホは以下のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

- | | | | |
|------------------|--------------|------------|----------|
| 1. iOS端末（iPhone） | 2. Android端末 | 3. Windows | 4. わからない |
|------------------|--------------|------------|----------|

→ 問11 【問9で「1. スマートフォン（スマホ）を利用している」を選んだ方にお聞きします。
あなたの主な使用目的は何ですか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 通話 | 2. メール（LINE等含む） |
| 3. ゲーム | 4. ネットの閲覧 |
| 5. スケジュールの管理や生活便利アプリ | 6. その他() |

裾野市へのシビックプライド（郷土愛）についてお聞きします

問 12 あなたは裾野市に愛着や誇りを感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても感じている | 2. 少し感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. まったく感じていない |

→ 問 13 【問 12 で「1. または 2.」（愛着や誇りを感じている）を選んだ方にお聞きします。
あなたは裾野市のどのようなところに愛着や誇りを感じていますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 生活環境 | 2. 住民の人柄 |
| 3. 豊かな自然 | 4. 歴史ある遺産 |
| 5. その他（ ） | |

→ 問 14 【問 12 で「1. または 2.」（愛着や誇りを感じている）を選んだ方にお聞きします。
問 13 で選んだ項目を市外の方にPRできますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|---------|
| 1. できる | 2. できない |
| 3. どちらともいえない | |

→ 問 15 【問 12 で「3. または 4.」（愛着や誇りを感じていない）を選んだ方にお聞きします。
あなたが愛着や誇りを感じていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 裾野市出身ではない | 2. 住民になってから期間が短い |
| 3. 自慢できるもの（場所や環境）がない | 4. 住環境がよくない |
| 5. その他（ ） | |

→ 問 16 【問 12 で「3. または 4.」（愛着や誇りを感じていない）を選んだ方にお聞きします。
あなたは裾野市の何の満足度が上がると、愛着や誇りを持てると思いますか。
（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 生活環境（商業施設・交通の便等）の充実 | 2. 地域のコミュニティの充実 |
| 3. 有名な観光施設（資産） | 4. 働く場の充実 |
| 5. 安全・安心な住環境 | 6. 福祉（子育てや障がい者・高齢者）の充実 |
| 7. 豊かな自然 | 8. その他（ ） |

問 17 あなたは「シビックプライド」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. よく知っている | 2. だいたいのことは知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、意味はよく知らない | 4. まったく知らない |

※「シビックプライド」とは、自分の住んでいるまちをより良い場所にするために、自分自身が関わっているという自負心や郷土愛のことをいいます。

問 18 あなたは地域活動やNPO等の活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 自治会活動・消防団活動に参加している | |
| 2. 地域ボランティア活動に参加している(具体的に: |) |
| 3. NPOに参加している(団体名: |) |
| 4. その他の活動・団体に参加している(具体的に: |) |
| 5. 特に参加していない | |

→ 問 19【問 18で「5. 特に参加していない」を選んだ方にお聞きます。】

参加していない(できない)理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しい | 2. 地域と関わりたくない(面倒くさい) |
| 3. 興味がない | 4. どんな活動があるかわからない |
| 5. その他(|) 6. 特にない |

問 20 あなたは市民自らが行動する「まちづくり」に参加したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. とても思う | 2. 少し思う |
| 3. あまり思わない | 4. まったく思わない |
| 5. その他(|) |

→ 問 21【問 20で「1. または2.」(まちづくりに参加したいと思う)を選んだ方にお聞きます。】

どのような形で参加したいと考えますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 企画・立案 | 2. 運営担当(実施) |
| 3. 魅力の発信(広報・情報発信) | 4. イベント等への参加 |
| 5. その他(|) |

市民協働によるまちづくりについてお聞きます。

問 22 あなたは「協働」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. よく知っている | 2. だいたいのことは知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない | 4. まったく知らない |

※協働とは、区(自治会)、NPOや市民活動団体、企業、学校、行政等が協力し、地域づくりや公共課題の解決に取り組むことをいいます。

問 23 あなたは協働によるまちづくりを進める上で重要な主体はどれだと思いますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 区(自治会) | 2. 地区(東・西・富岡・須山・深良) |
| 3. NPOや市民活動団体 | 4. 企業 |
| 5. 学校 | 6. 行政 |
| 7. その他(|) |

問 24 あなたは協働して取り組む必要性が高い分野はどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 高齢者福祉分野 | 2. 子育ての支援や児童福祉分野 |
| 3. 青少年育成分野 | 4. 学校教育の支援など教育分野 |
| 5. 地域の衛生保持や保健分野 | 6. リサイクルやごみ問題に関する分野 |
| 7. 自然保護や環境保全分野 | 8. 消費生活に関する分野 |
| 9. まちづくりや地域活性化に関する分野 | 10. 文化や芸術に関する分野 |
| 11. スポーツや健康づくりに関する分野 | 12. 防災対策や災害救援の分野 |
| 13. 防犯や地域の安全対策の分野 | 14. 男女共同参画に関する分野 |
| 15. 人権や平和に関する分野 | 16. 国際協力に関する分野 |
| 17. その他 () | |

問 25 協働によるまちづくりを進めていく上で、市民(あなた)はどのようなことができますか。
(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 市民同士の交流の場に参加する |
| 2. まちづくりに関する研修や講演会等に参加する |
| 3. 自治会活動や市民団体の活動に参加する |
| 4. 市の政策決定や計画づくりに、意見やアイデアを提案する |
| 5. 市民活動団体を組織し、地域課題の解決にあたる |
| 6. その他 () |
| 7. わからない |

問 26 協働によるまちづくりを進めていく上で、区(自治会)はどのようなことができるとい
ますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 住民同士が交流できる機会を設ける | 2. 自治会への加入を積極的に推進する |
| 3. 地域の課題を地域で解決する | 4. 自治会の活動や事業に関する情報を発信する |
| 5. 自治会の計画づくりや事業実施にあたり、住民が意見表明できる機会を設ける | |
| 6. その他 () | |
| 7. わからない | |

問 27 協働によるまちづくりを進めていく上で、行政はどのようなことをすべきだと思いますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 協働に関する方針や計画を提示する | 2. 区(自治会)と行政の関係を見直す |
| 3. 市民活動への活動補助などの支援を講ずる | 4. 市民・団体間の交流や情報交換の機会を設ける |
| 5. 市民活動に役立つ研修やノウハウの指導等を図る | |
| 6. 市の計画や事業について、市民が意見表明できる場を設置する | |
| 7. その他 () | |
| 8. わからない | |

JR裾野駅・JR岩波駅についてお聞きます。

問 28 あなたは裾野駅を利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. よく利用している | 2. たまに利用している |
| 3. あまり利用していない | 4. まったく利用していない |

→ 問 29 【問 28 で「1. ～3. 」(利用したことがある)を選んだ方にお聞きます。】
裾野駅にエレベーターが設置されて、便利になったと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 便利になった | 2. 変わらない |
| 3. わからない | |

問 30 あなたは岩波駅を利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. よく利用している | 2. たまに利用している |
| 3. あまり利用していない | 4. まったく利用していない |

→ 問 31 【問 30 で「1. ～3. 」(利用したことがある)を選んだ方にお聞きます。】
岩波駅を便利に使うために必要なものは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. エレベーターの設置 | 2. 混雑緩和のためのホームの拡幅・増設 |
| 3. 駅周辺の歩行の安全 | 4. 駅前広場を広くする |
| 5. その他 () | 6. 特にない |

自殺対策についてお聞きます。

問 32 あなたはこれまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 自殺したいと思ったことがある | 2. 自殺したいと思ったことはない |
|-------------------|-------------------|

→ 問 33 【問 32 で「1. 自殺したいと思ったことがある」を選んだ方にお聞きます。】
あなたは最近1年以内に自殺したいと思ったことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

→ 問 34 【問 32 で「1. 自殺したいと思ったことがある」を選んだ方にお聞きます。】
そのように考えたとき、あなたはどのようにして乗り越えましたか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった |
| 2. 医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した |
| 3. 弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した |
| 4. できるだけ休養を取るようにした |
| 5. 趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた |
| 6. その他 () |
| 7. 特に何もしなかった |

あなたは、もしも身近な人から「死にたい」と打ち明けられたとき、どう対応するのが良いと思いますか。（〇は1つ）

1. 相談に乗らない、もしくは、話題を変える
2. 「死んではいけない」と説得する
3. 「つまらないことを考えるな」と叱る
4. 「がんばって生きよう」と励ます
5. 「死にたいぐらいつらいんだね」と共感を示す
6. 「医師など専門家に相談した方が良い」と提案する
7. ひたすら耳を傾けて聞く
8. その他（)
9. わからない

以下に挙げた症状を「うつ病のサイン」といいます。

- 自分で感じる症状（気分が沈む、悲しい、イライラする、集中力がない、好きなこともやりたくない、大事なことを先送りする、物事を悪いほうへ考える、決断ができない、自分を責める、死にたくなる）
- 周りから見てわかる症状（表情が暗い、涙もろい、反応が遅い、落ち着きがない、飲酒量が増える）
- 身体に出る症状（眠れない、食欲がない、便秘がち、身体がだるい、疲れやすい、性欲がない、頭痛、動悸、胃の不快感、めまい）

問 36 もし仮に、あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、以下の専門の相談窓口のうち、どれを利用したいと思いますか。（○は1つ）

- | |
|--|
| 1. かかりつけの医療機関（精神科や心療内科等を除く）
2. 精神科や心療内科等の医療機関
3. 市役所・保健所等公的機関の相談窓口
4. いのちの電話等民間機関の相談窓口
5. その他（
6. 何も利用しない |
|--|

9

何も利用しないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

-)

[illegible]

ご回答いただいた本調査票は、そのまま同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、

10